

中栗須
光津島
明島
B B
遺跡
跡(～
2227
包蔵地)

下栗須津島B遺跡(27包蔵地) 中栗須光明B遺跡(22包蔵地)

令和5年度(一)下栗須馬庭停車場線(下栗須工区)社会資本総合整備事業に伴う
埋 藏 文 化 財 発 挖 調 査 報 告 書

理社令 和
藏会5 年
文財成
化(～)下
栗須
發
掘
調
査
事
業
線(一)
下
栗須
告
作工
書(一)



二〇二二年三月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団所

2023

群馬県藤岡土木事務所
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

下栗須津島 B 遺跡(27包蔵地) 中栗須光明 B 遺跡(22包蔵地)

令和5年度(一)下栗須馬庭停車場線(下栗須工区)社会资本総合整備事業に伴う
埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 報 告 書

2023

群 馬 県 藤 岡 土 木 事 務 所
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)全景 西から



下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)全景 東から

序

県道下栗須馬庭停車場線は、中栗須を南北に走る県道藤岡本庄線の中栗須交差点と、下栗須を同じく南北に走る県道藤岡長瀬線の下栗須交差点を東西につなぐ幹線道路です。この間は、道路幅が狭く沿線には工場や病院、中学校もあり、大型車のすれ違いが困難なため、円滑な交通に支障がありました。周辺の住民、通学生たちの安全で円滑な交通空間の確保や地域活性化のために、拡幅工事が計画されました。それに伴い、藤岡市内にある22包蔵地と27包蔵地内を対象として、平成28・30年度、令和5年度に調査を行いました。本書はその発掘調査の成果について「下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)」として報告するものです。

下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)では7世紀から10世紀代の遺構・遺物が発見されています。藤岡市内は『日本書記』に記された安閑天皇2年(535)「緑野屯倉」に関係する緑塹という地名も残っており、平安時代は緑野郡に所属していたことがわかっています。隣接する中栗須邸前遺跡(22包蔵地)などとも関連して、中栗須周辺は中央との関係が深く、緑野郡での中心的存在が想定できる集落であったと考えることができます。

発掘調査から報告書の刊行に至るまで、群馬県藤岡土木事務所、群馬県地域創生部文化財保護課、藤岡市教育委員会文化財保護課および地元関係者の皆様から種々のご指導、ご協力を賜りました。今回報告書を上梓するにあたり、これらの関係者の皆様に心より感謝の意を表し、序といたします。

令和5年12月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理 事 長 向 田 忠 正

例　　言

1. 本書は、令和5年度(一)下栗須馬庭停車場線(下栗須工区)社会資本総合整備(国土強靭化・補正)(防災・安全)(5か年加速化)事業に伴う下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)の埋蔵文化財発掘調査報告書である。

2. 遺跡所在地

下栗須津島B遺跡(27包蔵地)

群馬県藤岡市下栗須404-3、1069-1、1070、1071-1、1072-2・4、字津島1062、1063-1~3、1064、1066-1、1068-1・4、字中原273-1、256-1・4、257-1・3・4、258-1、伊勢塚255-1・3、黒沢東273-1、字光明352-2、371-2・3、374-1・3、375-1、378-1・4・6、字赤土379-1、387-1~4

中栗須光明B遺跡(22包蔵地)

群馬県藤岡市中栗須邸前483-2・5、486-1・2、487-1

3. 事業主体 群馬県藤岡土木事務所

4. 調査主体 公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

5. 調査期間及び調査体制

平成28年度発掘調査

履行期間 平成28年9月1日～平成28年12月31日

調査期間 平成28年10月1日～平成28年10月31日

調査担当 相京建史(専門調査役)

遺跡掘削請負工事 山下工業株式会社

地上測量委託 アコン測量設計株式会社

平成30年度発掘調査

履行期間 平成30年8月1日～平成30年12月31日

調査期間 平成30年9月1日～平成30年10月31日

調査担当 須田正久(主任調査研究員)　間庭 稔(専門調査役)

遺跡掘削請負工事 (有)高澤考古学研究所

地上測量委託 アコン測量設計株式会社

令和5年度発掘調査

履行期間 令和5年4月1日～令和5年7月31日

調査期間 令和5年5月1日～令和5年5月31日

調査担当 飛田野正佳(専門調査役)

遺跡掘削請負工事 有限会社毛野考古学研究所

地上測量委託 アコン測量設計株式会社

6. 調査面積 平成28年度 530.00m²

平成30年度 1246.54m²

令和5年度 107.60m²

7. 整理体制

履行期間 令和5年4月1日～令和5年12月31日

整理期間 令和5年4月1日～令和5年10月31日
整理担当 編集・遺物写真 友廣哲也(専門調査役)
遺構写真 相京建史 須田正久 間庭 稔 飛田野正佳
遺物観察 土師器・須恵器 神谷佳明(専門調査役)
石製品 関口博幸(上席調査研究員・資料統括)
縄文土器 橋本 淳(主任調査研究員・資料統括)
弥生土器 友廣哲也

8. 石材の同定は、飯島静雄(群馬地質研究会)に依頼した。
9. 発掘調査と報告書の作成にあたり、群馬県地域創生部文化財保護課、藤岡市教育委員会事務局のご指導・ご教示をいただいた。
10. 記録資料及び出土遺物は、群馬県埋蔵文化財センターで保管している。

凡　例

1. 本書で使用した座標値および方位は世界測地系(日本測地系2000平面直角座標系第IX系)で示した。方位は座標北を示す。単位はメートルである。
2. 等高線、遺構断面図等に記した数値は海拔標高を指す。
3. 遺構図、遺物図については、各挿図中にスケールを添付したが、原則下記の縮尺で掲載した。また、遺物写真的縮尺は、実測図と同一の縮尺を原則とした。
遺構図：竪穴建物 1/60 窪 1/30 溝 1/60 土坑・ピット 1/40
4. 遺構の掲載は遺構の種別ごとに遺跡全体を通して番号とした。
5. 本書に使用したスクリントーン・シンボルの意味は、以下の通りである。

遺構図 灰 硬化面 粘土 燃土 炭化物 撥乱
土器● 石器▲ 炭化物★

- 遺物図 土器 黒色 煙 灰釉 石器磨面
6. 遺構の数値は全容が計測できないものについては残存値()で示してある。
 7. 本遺跡で確認できた軽石・火山灰は以下の通りである。
浅間As-A 天明3年(1783)
 8. 遺物観察表の表現及び記載法は、以下の通りである。
□：口径 底：底径 高：器高 力：カエリ径 計測値単位 土器：cm 石器：mm 量目：g
 9. 各遺構の土層断面図に記した色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修「新版標準土色帖」によっている。
 10. 本書で使用した地形図は下記の通りである。
国土地理院：地勢図 1:50000 「高崎」(平成24年5月1日を使用)
マッピングぐんま：群馬県地域創生部文化財保護課HP使用

目 次

図版

序

例言

凡例

目次

挿図目次

表目次

写真目次

第1章 調査の経緯と事業の経過	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査に至る経緯	1
第3節 発掘調査の方法	2
1. 調査区と座標軸	2
2. 調査の経過	2
第4節 整理事業の経過	3
第2章 遺跡の地理的歴史的環境	5
第1節 地理的環境	5
第2節 歴史的環境	5
1. 旧石器時代	5
2. 繩文時代	5
3. 弥生時代	7
4. 古墳時代	7
5. 奈良・平安時代	7
6. 中近世	8
第3節 発掘調査区の基本土層	14

第3章 検出された遺構と遺物	
下栗須津鳥B遺跡(27包蔵地)	21
第1節 概要	21
1. 竪穴建物	21
2. 溝	26
3. 土坑・ピット	27
第4章 中栗須光明B遺跡(22包蔵地)	88
第5章 まとめ	89
遺構計測表	90
出土遺物観察表	100

写真図版

報告書抄録

付図

挿図目次

第1図	遺跡の位置(国土地理院1/50,000地形図 「高峰」平成10年12月1日を使用) ······	1
第2図	調査区位置図(マッピングぐんま使用) ······	4
第3図	周辺遺跡分布図(国土地理院1/50,000地形図 「高峰」平成10年12月1日を使用) ······	6
第4図	1区1号基本上層・旧石器トレンチ北壁、1～3号旧石器 トレンチ ······	15
第5図	1区4号・3区5号旧石器トレンチ ······	16
第6図	6区基本上層東壁、7区基本上層東壁 ······	17
第7図	7区基本上層南壁・北壁、8区基本上層西壁 ······	18
第8図	8区旧石器トレンチ東壁、9区基本上層・旧石器 トレンチ ······	19
第9図	10区・11区基本上層 ······	20
第10図	2区1号堅穴建物 ······	28
第11図	2区2号堅穴建物 ······	29
第12図	2区2号堅穴建物掘り方 ······	30
第13図	2区2号堅穴建物掘り方、出土遺物(1) ······	31
第14図	2区2号堅穴建物出土遺物(2) ······	32
第15図	1区3号堅穴建物 ······	33
第16図	1区3号堅穴建物出土遺物 ······	34
第17図	4区4号堅穴建物 ······	34
第18図	4区5号堅穴建物 ······	35
第19図	1区6号堅穴建物 ······	36
第20図	1区7号堅穴建物 ······	37
第21図	1区7号堅穴建物出土遺物 ······	38
第22図	1区8号堅穴建物 ······	39
第23図	1区8号堅穴建物掘り方、出土遺物 ······	40
第24図	4区9号堅穴建物 ······	41
第25図	4区9号堅穴建物掘り方、出土遺物 ······	42
第26図	1区10号堅穴建物 ······	43
第27図	3区11号堅穴建物 ······	44
第28図	5区12号堅穴建物 ······	45
第29図	9区13号堅穴建物 ······	46
第30図	9区14号堅穴建物 ······	47
第31図	9区14号堅穴建物出土遺物 ······	48
第32図	9区15号堅穴建物 ······	49
第33図	7区16号堅穴建物 ······	50
第34図	7区17号堅穴建物 ······	51
第35図	7区17号堅穴建物掘り方、出土遺物(1) ······	52
第36図	7区17号堅穴建物出土遺物(2) ······	53
第37図	7区18号堅穴建物 ······	53
第38図	7区18号堅穴建物掘り方、出土遺物 ······	54
第39図	7区19～21号堅穴建物、20号堅穴建物出土遺物 ······	55
第40図	7区19号堅穴建物出土遺物 ······	56
第41図	9区22号堅穴建物 ······	56
第42図	6区23号堅穴建物 ······	57
第43図	6区24号堅穴建物 ······	58
第44図	6区25号堅穴建物 ······	59
第45図	6区26号堅穴建物出土遺物 ······	60
第46図	6区27号堅穴建物 ······	60
第47図	7区28号堅穴建物 ······	61
第48図	12区29号堅穴建物 ······	62
第49図	10区30号堅穴建物 ······	62
第50図	10区30号堅穴建物出土遺物 ······	63
第51図	6区1・2号溝 ······	63
第52図	1～7号土坑 ······	64
第53図	8～15・17・18号土坑、12号土坑出土遺物 ······	65
第54図	16・19～26号土坑、153号ビット、16号土坑出土遺物 ······	66
第55図	27～32号土坑、190号ビット、27号土坑出土遺物 ······	67
第56図	33～35・37号土坑 ······	68
第57図	1～4・6号ビット ······	68
第58図	5・7～19号ビット、8号ビット出土遺物 ······	69
第59図	20～26・28～32号ビット ······	70
第60図	33～46号ビット ······	71
第61図	47～64号ビット ······	72
第62図	65～83号ビット ······	73
第63図	84～95・98・99号ビット ······	74
第64図	96・97・100～109・111～113号ビット ······	75
第65図	114～128・132号ビット ······	76
第66図	129～131・133～143・150～152号ビット、143号ビット 出土遺物 ······	77
第67図	144～149・154～165・216号ビット ······	78
第68図	166～180・182～185・223号ビット ······	79
第69図	181・186～189・191～199・224号ビット、196号ビット 出土遺物 ······	80
第70図	200～215号ビット ······	81
第71図	217～220・222・226～236・278号ビット ······	82
第72図	237～251・267・268・276・277号ビット ······	83
第73図	252～263・270・273号ビット、254号ビット出土遺物 ······	84
第74図	264～266・269・271・272・274・275・279～283 295号ビット ······	85
第75図	284～290・292～294号ビット ······	86
第76図	道構外出土遺物 ······	87
第77図	出土した縄文土器、弥生土器 ······	88
第78図	中柴須光明B遺跡7区52号土坑 ······	88

表 目 次

第1表	周辺遺跡一覧表 ······	9
第2表	堅穴建物計測表 ······	90
第3表	上坑計測表 ······	92
第4表	ビット計測表 ······	93
第5表	溝計測表 ······	99
第6表	中柴須光明B遺跡(22号蔵地)上坑計測表 ······	99
第7表	遺物觀察表 ······	100

写真目次

PL. 1	1 2区1号窓穴建物 全景 南西から	6 6区23号窓穴建物全景 北西から
	2 2区1号窓穴建物全景 南西から	7 6区23号窓穴建物出土状態 北西から
	3 2区1号窓穴建物振り方全景 南西から	8 6区24号窓穴建物全景 北東から
	4 2区1・2号窓穴建物現状状態 西から	PL. 10 1 6区24号窓穴建物上師器甕(2)出土状態 西から
	5 2区2号窓穴建物全景 南西から	2 6区25号窓穴建物全景 西から
PL. 2	1 2区2号窓穴建物の蔵穴全景 南西から	3 6区26号窓穴建物全景 東から
	2 2区2号窓穴建物土師器杯(6)出土状態 南から	4 6区26号窓穴建物上師器甕(4)出土状態 北東から
	3 2区2号窓穴建物全景 南西から	5 6区26号窓穴建物須恵器甕(7)出土状態 西から
	4 1区3号窓穴建物全景 西から	6 6区27号窓穴建物全景 北西から
	5 1区3号窓穴建物石(6)出土状態 西から	7 7区28号窓穴建物全景 東から
	6 4区4号窓穴建物全景 北から	8 12区29号窓穴建物全景 北東から
	7 4区5号窓穴建物全景 北東から	PL. 11 1 10区30号窓穴建物東部全景 南から
	8 4区5号窓穴建物近接 北東から	2 10区30号窓穴建物西部全景 東から
PL. 3	1 1区6号窓穴建物全景 西から	3 10区30号窓穴建物東部遺物出土状態 東から
	2 1区7号窓穴建物全景 東から	4 10区30号窓穴建物西部遺物出土状態 西から
	3 1区7号窓穴建物振方全景 東から	5 10区30号窓穴建物上師器甕(1)出土状態 北から
	4 1区7号窓穴建物遺物出土状態 西から	6 10区30号窓穴建物上師器甕(5)出土状態 南から
	5 1区7号窓穴建物振方出土状態 西から	7 10区30号窓穴建物遺物出土状態 北から
	6 1区7号窓穴建物土師器甕(7)出土状態 西から	8 6区1号溝全景 西から
	7 1区8号窓穴建物全景 西から	PL. 12 1 1区1号土坑 北から
	8 1区8号窓穴建物土師器杯(3)出土状態 西から	2 4区2号土坑 南から
PL. 4	1 1区8号窓穴建物全景 西から	3 4区3号土坑 北から
	2 4区9号窓穴建物全景 西から	4 2区4号土坑 東から
	3 4区9号窓穴建物前土師器杯(2)出土状態 南西から	5 5区5号土坑 北から
	4 4区9号窓穴建物振方遺物出土状態 南西から	6 5区6号土坑 南から
	5 4区9号窓穴建物全景 西から	7 5区7号土坑 南から
	6 1区10号窓穴建物全景 西から	8 5区8号土坑 北東から
	7 3区11号窓穴建物振方全景 北から	9 5区9号土坑 南西から
	8 3区11号窓穴建物振り方全景 北から	10 5区10号土坑 南西から
PL. 5	1 5区12号窓穴建物全景 南東から	11 5区11号土坑 北東から
	2 9区13号窓穴建物全景 西から	12 6区12号土坑 南から
	3 9区13号窓穴建物振方全景 北から	13 6区13号土坑 北から
	4 9区13号窓穴建物土師器杯(1)出土状態 西から	14 6区14号土坑 北から
	5 9区14号窓穴建物全景 西から	15 6区15号土坑 116号ピット 北から
	6 9区14号窓穴建物防窓穴全景 北から	PL. 13 1 6区16号土坑 西から
	7 9区14号窓穴建物天井石全景 西から	2 6区17号土坑 南から
	8 9区14号窓穴建物近接 西から	3 6区18号土坑、116号ピット 北東から
PL. 6	1 9区14号窓穴建物全天井石除去後全景 西から	4 9区19号土坑 北から
	2 9区14号窓穴建物壠左袖石 西から	5 9区20号土坑 西から
	3 9区15号窓穴建物全景 南から	6 9区21号土坑 東から
	4 9区15号窓穴建物土師器杯(1)出土状態 南から	7 9区22号土坑 北から
	5 9区15号窓穴建物土師器高盤(5)出土状態 北から	8 9区23号土坑 北から
	6 9区15号窓穴建物全景 南西から	9 9区24号土坑 北から
	7 7区16号窓穴建物全景 西から	10 9区25号土坑 西から
	8 7区16号窓穴建物P 1 全景 北から	11 9区26号土坑 西から
PL. 7	1 7区16号窓穴建物 P 2 全景 北から	12 8区27号土坑 南から
	2 7区16号窓穴建物 P 3 全景 北から	13 8区27号土坑遺物出土状態 南から
	3 7区16号窓穴建物遺物出土状態 東から	14 8区28号土坑 南から
	4 7区16号窓穴建物石(6)・土師器杯(1)出土状態 南から	15 8区29号土坑 東から
	5 7区16号窓穴建物遺物(2)出土状態 西から	PL. 14 1 8区30号土坑 西から
	6 7区16号窓穴建物遺物出土状態 東から	2 8区31号土坑 西から
	7 7区17号窓穴建物全景 西から	3 9区32号土坑 北から
	8 7区17号窓穴建物全景 西から	4 9区33号土坑 北から
PL. 8	1 7区18号窓穴建物全景 西から	5 7区34号土坑 北から
	2 7区18号窓穴建物土坑 1 全景 南から	6 9区35号土坑 北から
	3 7区18号窓穴建物土師器杯(1)出土状態 北西から	7 4区1号ピット 北西から
	4 7区18号窓穴建物土師器杯(4)出土状態 北から	8 4区2号ピット 北西から
	5 7区19・20号窓穴建物全景 西から	9 4区3号ピット 北西から
PL. 9	1 7区19号窓穴建物全景 北西から	10 4区4号ピット 南から
	2 7区19号窓穴建物土師器杯(3)出土状態 南から	11 4区5号ピット 南から
	3 7区19号窓穴建物土師器甕(8)出土状態 北から	12 4区6号ピット 北から
	4 7区21号窓穴建物全景 西から	13 4区7号ピット 南から
	5 9区22号窓穴建物全景 北西から	14 1区8号ピット 東から

PL.15	15	1区11号ビット 東から	6	3区83号ビット 北から
	1	1区12号ビット 東から	7	1区84号ビット 東から
	2	1区13号ビット 東から	8	1区85号ビット 東から
	3	1区14号ビット 東から	9	1区86号ビット 北から
	4	2区15号ビット 西から	10	1区87号ビット 東から
	5	2区16号ビット 西から	11	1区88号ビット 南から
	6	2区17号ビット 西から	12	1区89号ビット 北から
	7	2区18号ビット 西から	13	1区90号ビット 東から
	8	2区19号ビット 北から	14	1区91号ビット 東から
	9	2区20号ビット 東から	15	1区92号ビット 東から
	10	2区21号ビット 東から	PL.20	1 1区93号ビット 東から
	11	1区22号ビット 北から		2 1区94号ビット 東から
	12	1区23号ビット 東から		3 1区95号ビット 南から
	13	1区24号ビット 東から		4 1区96号ビット 北から
	14	1区25号ビット 東から		5 1区97号ビット 北から
	15	1区26号ビット 東から		6 1区99号ビット 南から
PL.16	1	1区28号ビット 東から		7 1区100号ビット 東から
	2	1区29号ビット 南から		8 5区101号ビット 南から
	3	1区31号ビット 東から		9 5区102号ビット 東から
	4	1区32号ビット 南から		10 6区103・104号ビット 南から
	5	1区33・34号ビット 南西から		11 6区105号ビット 東から
	6	1区35号ビット 南から		12 6区106号ビット 西から
	7	1区36号ビット 南から		13 6区107号ビット 西から
	8	1区37号ビット 南から		14 6区108号ビット 北から
	9	1区38号ビット 南から		15 6区109号ビット 西から
	10	1区39号ビット 北から	PL.21	1 6区111・112号ビット 北西から
	11	1区40号ビット 北から		2 6区111号ビット 北から
	12	1区41号ビット 東から		3 6区113号ビット 西から
	13	1区42号ビット 南から		4 6区114・115号ビット 南から
	14	1区43号ビット 東から		5 6区115号ビット 南から
	15	1区44号ビット 東から		6 5区117号ビット 北から
PL.17	1	1区45号ビット 東から		7 5区119号ビット 北から
	2	1区46号ビット 北から		8 9区125号ビット 北から
	3	1区47号ビット 北から		9 9区135号ビット 北から
	4	1区48号ビット 北から		10 9区138号ビット 南から
	5	1区49号ビット 北から		11 9区140号ビット 北から
	6	1区50号ビット 東から		12 9区141号ビット 北から
	7	1区51号ビット 東から		13 9区142号ビット 北から
	8	1区52号ビット 東から		14 9区143号ビット 北から
	9	1区53号ビット 東から		15 9区144号ビット 北から
	10	1区54号ビット 北から	PL.22	1 9区145号ビット 北から
	11	1区55・56号ビット 南から		2 9区146・147号ビット 北から
	12	1区57号ビット 南から		3 9区147号ビット 北から
	13	1区58号ビット 南から		4 9区148号ビット 北から
	14	1区59号ビット 西から		5 9区149号ビット 北から
	15	1区60号ビット 西から		6 9区150号ビット 北から
PL.18	1	1区61・62号ビット 北東から		7 9区151号ビット 北から
	2	1区63号ビット 東から		8 9区153号ビット 北から
	3	1区64号ビット 南から		9 9区155号ビット 北から
	4	3区65号ビット 東から		10 9区156号ビット 北から
	5	3区66号ビット 東から		11 9区157号ビット 北から
	6	3区67号ビット 東から		12 9区158号ビット 北から
	7	3区69号ビット 東から		13 9区159号ビット 北から
	8	3区70号ビット 東から		14 9区160号ビット 北から
	9	3区71号ビット 東から		15 9区161号ビット 北から
	10	3区72号ビット 東から	PL.23	1 9区162号ビット 北から
	11	3区73号ビット 東から		2 9区163号ビット 北から
	12	3区74号ビット 東から		3 9区164号ビット 北から
	13	3区75号ビット 東から		4 9区165号ビット 北から
	14	3区76号ビット 東から		5 9区166号ビット 北から
	15	3区77号ビット 東から		6 9区167号ビット 北から
PL.19	1	3区78号ビット 東から		7 9区168・169号ビット 北から
	2	3区79号ビット 東から		8 9区170号ビット 北から
	3	3区80号ビット 東から		9 9区171号ビット 北から
	4	3区81号ビット 東から		10 9区172号ビット 北から
	5	3区82号ビット 東から		11 9区173号ビット 東から

12	9区174号ビット	北から	4	1区2号旧石器トレンチ	西から		
13	9区175・176号ビット	北から	5	1区3号旧石器トレンチ	西から		
14	9区176号ビット	北から	6	2区全量	西から		
15	9区177・178号ビット	北から	7	3区全量	東から		
PL.24	1	9区179号ビット	北から	8	3区5号旧石器トレンチ	南から	
	2	9区180号ビット	南から	PL.29	1	3区5号旧石器トレンチ	南から
	3	9区181号ビット	南から		2	4区全量	東から
	4	9区182号ビット	東から		3	5区中央全景	東から
	5	9区183・184号ビット	北から		4	5区西輸出状況	東から
	6	9区183号ビット	東から		5	5区西全景	東から
	7	9区185号ビット	北から		6	5区東全景	西から
	8	9区187号ビット	北から		7	6区東全景	西から
	9	9区188号ビット	北から		8	6区西、東部全量	西から
	10	9区189号ビット	北から	PL.30	1	6区基本上層西壁	東から
	11	9区190号ビット	北から		2	7区基本上層南壁	北から
	12	9区191号ビット	北から		3	7区全量	西から
	13	9区193号ビット	北から		4	8区基本上層西壁	東から
	14	9区194号ビット	北から		5	8区全量	西から
	15	9区195号ビット	北から		6	9区中央部全量	西から
PL.25	1	8区196号ビット	南から		7	9区基本上層・旧石器トレンチ	北から
	2	8区197号ビット	南から		8	10区全量	東から
	3	8区198号ビット	南から	PL.31	1	10区基本上層・トレンチ	北から
	4	8区199号ビット	南から		2	11区全量	東から
	5	8区200号ビット	南から		3	11区基本上層・トレンチ	南から
	6	8区201号ビット	南から	PL.32	1～3	3号型穴建物出土遺物	
	7	8区202号ビット	南から	PL.33	6～9・13～15号	穴建物出土遺物	
	8	8区203号ビット	南から	PL.34	16～20・23号	穴建物出土遺物	
	9	8区204号ビット	南から	PL.35	24・25・29・30号	穴建物、16～27号土坑、254号ビット、10～	
	10	9区205号ビット	東から	12区	遺構外出土遺物		
	11	8区206号ビット	北から	PL.36	出土した織文上器、弥生上器		
	12	9区208号ビット	北から		中柴洞光明B道路(22号墓地)		
	13	9区212号ビット	北から		1	7区51号土坑	東から
	14	9区213号ビット	北から		2	7区51号土坑	北から
	15	9区214号ビット	北から		3	7区51号土坑	西から
PL.26	1	9区216号ビット	北から				
	2	9区217号ビット	北から				
	3	9区218号ビット	西から				
	4	9区219号ビット	西から				
	5	9区220号ビット	西から				
	6	9区222号ビット	西から				
	7	9区223号ビット	北から				
	8	9区226～228号ビット	北から				
	9	7区230号ビット	南から				
	10	7区231号ビット	南から				
	11	7区232号ビット	南から				
	12	7区233号ビット	南から				
	13	7区234号ビット	南から				
	14	6区235号ビット	西から				
	15	7区248号ビット	南から				
PL.27	1	7区253号ビット	西から				
	2	9区254号ビット	北から				
	3	9区254号ビット	上師器杯(1)	北から			
	4	7区262号ビット	北から				
	5	7区263号ビット	南から				
	6	7区279号ビット	南から				
	7	10区281号ビット	東から				
	8	10区283号ビット	東から				
	9	10区284号ビット	東から				
	10	10区286・287号ビット	北から				
	11	10区288号ビット	東から				
	12	10区289号ビット	東から				
	13	10区290号ビット	東から				
	14	10区295号ビット	北から				
PL.28	1	1区全量	東から				
	2	1区全量	西から				
	3	1区1号旧石器トレンチ	東から				

第1章 調査の経緯と事業の経過

第1節 調査に至る経緯

本書は平成28・30年度・令和5年度一般県道、下栗須馬庭停車場線下栗須工区に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書である。

本道路は、南北走する県道藤岡本庄線中栗須交差点から、同じく南北に並走する県道藤岡大胡線の下栗須交差点までの間(下栗須工区)を東西に繋ぐ、0.9kmに及ぶ道路拡幅事業である。下栗須馬庭停車場線は、群馬藤岡駅路線東の県道藤岡大胡線と交差するため、近年急に大型車の運行が増えている。地元住民と通学のための歩道がなく危険を作り、拡幅工事を行い地元住民の交通の安全と地域間交流を促進するために、平成25年度に開始された事業である。

第2節 調査に至る経緯

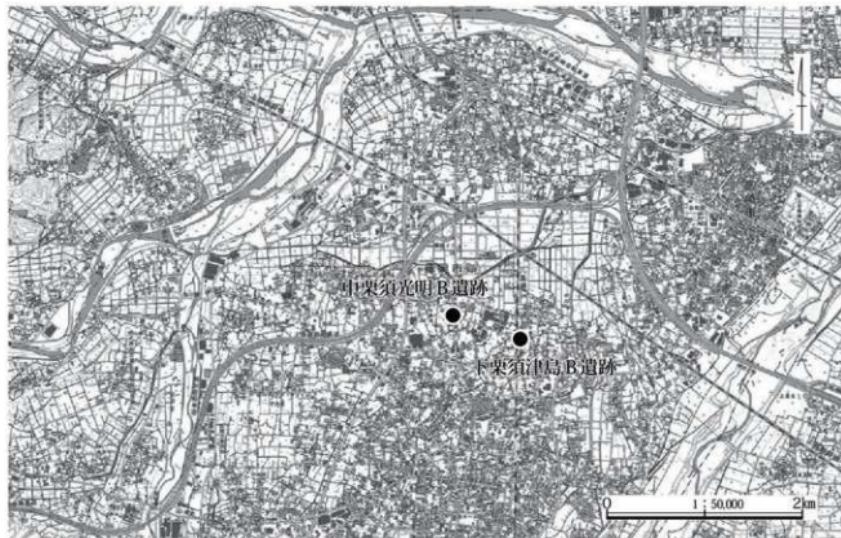
平成28年12月21日文化財保護課は22包蔵地と27包蔵地の確認調査を実施し、堅穴建物等が検出された。

平成29年3月27日文化財保護課は、藤岡土木事務所に遺構が検出されたため発掘調査が必要と通知した。

平成29年11月10日藤岡土木事務所は、22・27包蔵地の文化財保護法94条通知を藤岡市教育委員会事務局文化財保護課(以下藤岡市教委)に提出。藤岡市教委は同日付けで県に進達する。文化財保護課は「発掘調査」を藤岡土木事務所に勧告した。

本調査は藤岡土木事務所の委託により埋文事業団が発掘調査を実施した。

平成30年度調査分は令和4年度に文化財保護課と藤岡市教育委員会の間で検討され、新たに下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)となった。



第1図 遺跡の位置(国土地理院1/50,000地形図「高崎」平成10年12月1日を使用)

第3節 発掘調査の方法

1. 調査区と座標軸

発掘調査対象地は22包蔵地内東部にあたり、27包蔵地の西である。遺跡は藤岡市北部の藤岡台地北縁に位置し、市内の小野地区に接している。標高は約77mを前後する。藤岡大胡線交差点から西に向かい下栗須馬庭停車場線北側に沿い長さ約150m、幅3m~5.5mである。平成28年度は『下栗須津島B遺跡(27包蔵地)』の1区~4区の発掘調査を実施した。下栗須の交差点からJR八高線の東部である。平成30年度調査では、JR八高線東部5~9区の調査と『中栗須光明B遺跡(22包蔵地の残り、本書中7区)』の調査を実施した。発掘調査の範囲は世界測地系(日本測地系2000平面直角座標系第IX系)のX=29105~29305、Y=-66800~67655の範囲に収まる。各々座標軸に従い5mグリッドを設定し、調査を行った。

2. 調査の経過

平成28年度

10月3日 現場作業開始。物品搬入、現地打ち合わせ、発掘範囲図に国家座標を入れ、5mグリッド設定。表土掘削開始。重機は幅が狭いため0.2使用。
10月4日 1区表土掘削開始。3区を掘削土仮置き場にする。2・4区内で遺構確認作業開始。1区3・6・7・8号竪穴建物、2区1・2号竪穴建物、4区4号竪穴建物検出。遺構精査開始。

10月5日 1~4・6号竪穴建物精査継続。

10月6日 精査継続。

10月7日 1区7・8号竪穴建物精査開始、土坑、ピット検出精査。2区1・2号竪穴建物床面検出、確認。4区5・9号竪穴建物精査。

10月11日 1区3・6号竪穴建物掘り方、7・8号竪穴建物精査継続。2区2号竪穴建物窓精査開始。

10月12日 1区3・6号竪穴建物測量、写真撮影。2区2号竪穴建物測量、写真撮影。4区9号竪穴建物写真撮影、測量終了。

10月13日 4区、3区に仮置きした残土で埋め戻し開始。3区の掘削開始。2区竪穴建物写真撮影、測量終了。

10月14日 1区西側の掘削上で2区の埋め戻し開始、1区7・8号竪穴建物精査継続。3区遺構確認、11号竪穴建物確認、精査開始、土坑、ピット確認。

10月17日 雨天作業中止。

10月18日 1区7・8・10号竪穴建物精査継続。写真撮影終了。3区11号竪穴建物写真撮影終了。1・3区旧石器試掘開始。

10月19日 1区7・8号竪穴建物、測量終了。旧石器試掘開始。3区11号竪穴建物、測量終了。

10月20日 1・3区旧石器試掘継続。

10月21日 1・3区旧石器試掘継続、終了。

10月24日 1・3区埋め戻し開始。

10月27日 1~4区埋め戻し終了。

10月28日 機材等撤収開始。

10月31日 調査区全体清掃、現場作業終了。

平成30年度

9月3日 事務所設置準備、現場打合せ。

9月5日 藤岡土木事務所担当、飯森課長、現場担当現地打ち合わせ。

9月6日 事務所設置、発掘機材搬入。5~9区に安全のため単管で柵つくり開始。5区の表土掘削開始。

9月7日 5区遺構確認作業開始。5区内で土坑検出。

9月10日 調査区内繩張り、5区表土掘削。

9月11日 5区土坑等確認。

9月12日 6区表土掘削開始。

9月13日 5区12号竪穴建物検出、精査。6区旧石器確認準備。6区の一部、「遺構無し」を確認。測量、写真撮影後、埋め戻し作業用道路を確保。6区内旧石器確認のためトレンチ掘削開始。

9月14日 6区作業継続。

9月14日 7区表土掘削開始。6区作業継続、1・2号溝検出、精査開始。

9月18日 7区遺構精査開始。

9月20日 8区表土掘削開始。6・7区遺構精査継続。

9月21日 9区表土掘削開始。6・7区遺構精査継続。

9月25日 7区16~21号竪穴建物検出、精査開始。

8・9区遺構確認。6・7区遺構精査継続。

9月26日 6・7区遺構精査終了、測量、写真撮影。

8区土坑、9区13~15号竪穴建物検出。

10月4日 8区土坑精査終了。6区遺構精査終了、遺構測量、写真撮影終了。

10月9日 5～7区埋め戻し開始。8・9区土坑精査継続、竪穴建物精査終了、測量、写真撮影継続。

10月10日 1～9区土坑、ピット精査継続。

10月15日 8・9区旧石器確認作業継続。

10月19日 8・9区土坑、ピット、旧石器確認トレンチ掘り下げ作業継続。

10月22日 8・9区旧石器確認トレンチ掘り下げ作業継続。

8・9区土坑、ピット終了。

10月23日 8・9区旧石器確認トレンチ掘り下げ作業継続。

8・9区土坑、ピット測量、写真撮影。

10月24日 8・9区旧石器確認トレンチ掘り下げ、継続、終了。試掘トレンチ測量、写真撮影終了。

10月26日 全調査終了。8・9区埋め戻し開始。

10月27日 安全柵取り外し。機材撤収準備。

10月28日 発掘機材、単管撤去、事務所撤去開始。

10月31日 発掘調査終了。

11区掘削。

5月22日 10区・11区埋め戻し。

5月23日 12区埋め戻し。

5月24日 10～12区埋め戻し、環境整備。

5月25日 発掘機材整備。

5月29日 埋め戻し終了、周辺環境整備。

5月30日 事務所撤去準備。

5月31日 発掘作業終了。

第4節 整理事業の経過

整理事業は土器接合・復元を行い、並行して図面修正を行った。また出土遺物は写真撮影、実測、トース作業を行った。6月には令和5年度調査分を加えて整理作業を行い、全体のレイアウト、編集作業を行った。

令和5年度

5月1日 事務所設置、調査区バリケート・看板等設置。

11区表土掘削開始。

5月2日 11区表土掘削継続、10区表土掘削開始。

5月8日 10・11区遺構確認。

5月9日 10区遺構確認、竪穴建物、ピット等遺構精査開始。11区遺構検出無し。埋め戻し。

5月10日 12区表土掘削開始。

5月11日 10区30号竪穴建物遺物写真撮影。遺構確認作業。12区29号竪穴建物精査、遺物写真撮影、遺物取り上げ。29・30号竪穴建物遺構測量。

5月12日 10区30号竪穴建物全景写真撮影。調査区全景写真。12区29号竪穴建物測量、写真撮影。

5月15日 10区30号竪穴建物精査。12区29号竪穴建物、土坑等精査継続。

5月16日 10区・12区竪穴建物測量、写真撮影終了。土坑、ピット精査継続。

5月17日 10区30号竪穴建物精査終了。10区全景写真。

5月18日 12区29号竪穴建物精査終了。12区全景写真。



第2図 調査区位置図(マッピングぐんま使用)

第2章 遺跡の地理的歴史的環境

第1節 地理的環境

群馬県は関東平野の北西部にあたり、藤岡市は県の南西部に位置する。藤岡市は烏川と鍋川の合流部と神流川に挟まれた平野地域と鍋川によって開析された山地地域からなる。山地と平野部を区分するように南東から北西に走る断層線「平井断層」がある。平井断層は総延長17km、一般走行N=60°-Wで、吉井町向平付近から藤岡市中原、金井、保美、神流町新宿、児玉町小平を通り、美里町円良田付近へ走る。

市内南西部には関東山地から続く赤久繩山(標高1,522m)、西御荷鉢山(1,286m)等起伏の激しい山が存在し、藤岡市と神流町を東西に隔てている。山地が平野部に臨む付近には標高200m前後の丘陵地(小幡丘陵)がある。平野部は鍋川と神流川の間にある洪積台地(藤岡台地)と北の烏川、鍋川、神流川に囲まれた地域、沖積台地(北藤岡低地)に分けられる。藤岡台地は標高80~150mを測り、南西から北東に向かい緩やかに北藤岡低地に傾斜している。藤岡台地は赤久繩山、西御荷鉢山に源を発した鍋川と上信国境に水源をもつ神流川と支流三名川によって後期更新世後半までに扇状地として形成されたものである。従って藤岡市の地形的特徴は、鍋川の支流鍋川によって開析された山地地形と烏川に合流する鍋川と神流川に挟まれた平野地域からなり、この境は前述の平井断層によって分けることができる。

藤岡台地が鍋川や神流川の扇状地として形成された更新世後半は榛名山が噴火し、八崎軽石層(HP・4.2~4.4万年前)が噴出し堆積した。

藤岡台地の北端は鍋川と鍋川により削り取られ、1~6mの崖や急傾斜地となり、北藤岡低地へ移行する。この低地は西の鍋川と鍋川、北は烏川、東は神流川に囲まれる東西約7.5m、南北約2.5mの氾濫原を形成した。このような氾濫の結果、現在の地形を形成した。

下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)はこの藤岡台地の北端に位置する。

第2節 歴史的環境

藤岡市は旧石器時代、縄文時代以降中近世に至るまで多くの遺跡が発掘調査されている。

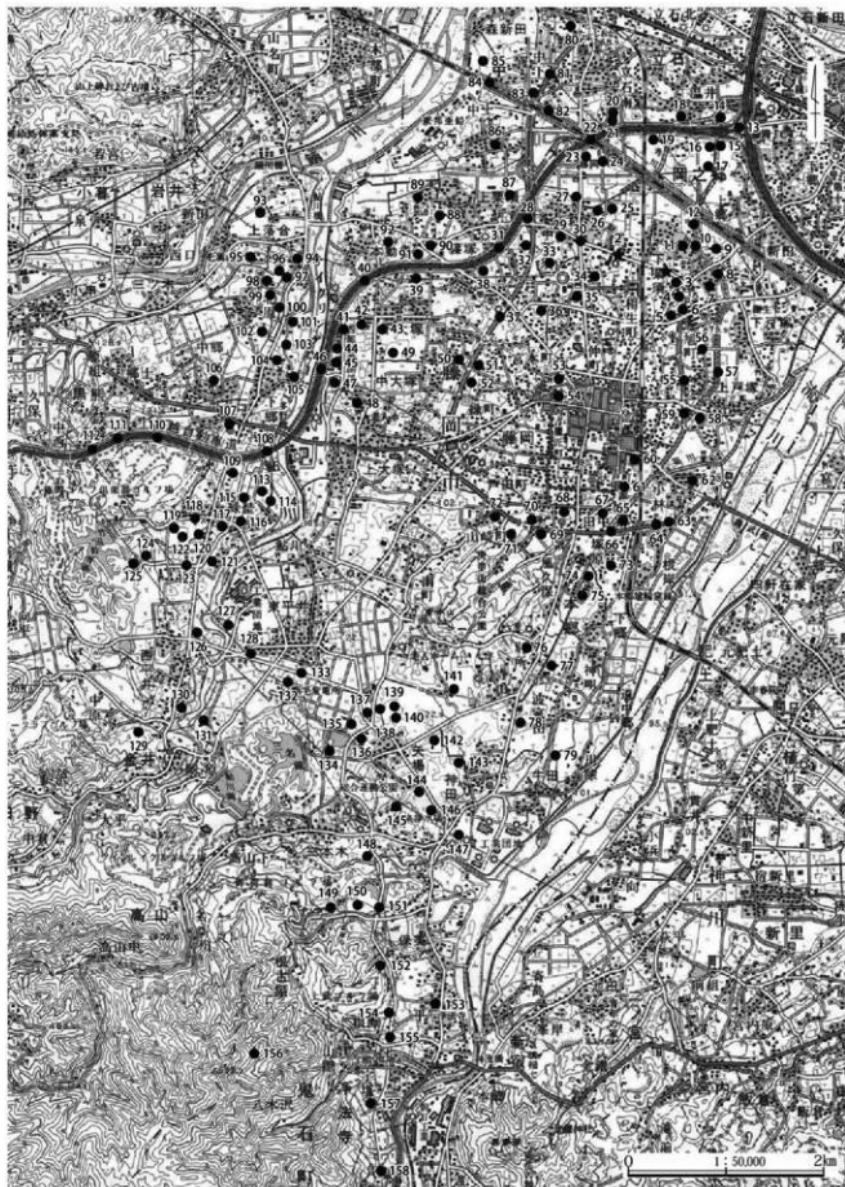
1. 旧石器時代

旧石器時代の遺跡は藤岡市内でも10ヶ所を超えている。なかでも昭和58年に調査された藤岡北山遺跡(70)は西毛地域では初めての大規模な旧石器時代の遺跡である。約3万2~3千年前のAT層下位から台形様石器、ナイフ形石器を主体とする多様な石材を用いた環状ブロック群を検出した。平成3年には藤岡市「みかぼまい館」の建設に伴い発掘調査された藤岡北山B遺跡(71)ではAT2.8~3万年前のローム層中より旧石器時代の文化層が3面確認され、旧石器時代の人々が藤岡市内の庚申山周辺で断続的に生活していたことを確認した。特に北山B遺跡のAT層下位の文化層からは北山遺跡同様のナイフ形石器主体の石器群と環状ブロック群が検出され、この2遺跡の間で石材、石器製作技術、集落形態等の視点から比較検討が可能になり、旧石器時代の研究に重要な資料を提示している。

2. 縄文時代

約1万5千年前から約3千年前までの間が縄文時代である。藤岡市内で最初に発掘調査された縄文時代遺跡は、昭和年代には4ヶ所の遺跡にとどまる。昭和24年光徳寺裏山遺跡で、縄文時代中・後期の竪穴建物が検出されている。昭和32年には坂野縄文遺跡の調査で後期初頭の敷石竪穴建物が検出されている。昭和49年には中大塚縄文遺跡で縄文時代中期柄鏡形の敷石竪穴建物跡が検出され、同年県史跡指定を受け保存されている。

昭和50年代になると、藤岡市内は開発事業が増え、市教育委員会の縄文時代の遺跡の調査が急増した。現在までに40ヶ所を超える発掘調査が行われており、縄文時代の遺跡調査では、草創期から晩期に至る6時期すべての時代の土器が出土している。草創期は下栗須の田島遺跡



第3図 周辺遺跡分布図(国土地理院1/50,000地形図「高崎」平成10年12月1日を使用)

(10)、早期は庚申山丘陵の藤岡北山遺跡、前期は上戸塚の株木遺跡(59)、猿田遺跡(103)、中期は遺跡数が一番多く、藤岡北山遺跡、後期は山間遺跡(69)、薬師裏遺跡(87)では柄鏡形堅穴建物跡が確認され、晚期では中栗須の谷地遺跡(25)から、大量の耳飾りと土偶が出土している。

3. 弥生時代

藤岡市内で特に注目される弥生時代の遺跡は立石地区の藤岡市立小野中学校建設に伴って発掘調査された沖II遺跡(20)である。沖II遺跡では再葬墓において、伊勢湾沿岸地域に出自を持つ条痕文を主体とする水神平系土器とともに大洞系土器の共伴が確認されている。群馬県内での再葬墓は人骨の出土は確認できないが、藤岡市沖II遺跡をはじめ、渋川市南大塚遺跡、押手遺跡、高崎市上ノ久保、安中市注連引原II遺跡が確認できる。これら遺跡は中部高地科野との関係が指摘でき、渋川市、長野原町は吾妻川ルートから、安中市、高崎市は碓冰川ルートを経由したと考えられる。これらの遺跡は中部高地と近接し、群馬県内の弥生土器の出土が前期に上ることが確認されている。藤岡市内の弥生時代前～中期の集落遺跡は少ないが、藤岡市周辺では堅穴建物は注連引原II遺跡の前期の堅穴建物の検出例が注目され、高崎市では中期の周溝墓、堅穴建物が確認されている。弥生時代の末期から古墳時代初頭期の遺跡には藤岡市竹沼遺跡(121)があり、弥生時代の堅穴建物が確認されている。

4. 古墳時代

古墳時代は、弥生時代からの様相を持つ竹沼遺跡があげられる。昭和10年に県下一斎に古墳の分布調査を実施し、「上毛古墳綜覧」をまとめた。この中で藤岡市内の古墳は1198基が確認された。

遺跡数は少ないが古墳時代前～中期の集落は、北東部沖積地、鮎川沿いに確認が集中している。堀ノ内遺跡群は神流川、鎌川、烏川のなかにあり、白石稻荷山古墳(102)、十二天塚古墳(100)の時期に並行している。堀ノ内遺跡群では上戸塚正上寺遺跡(57)の周溝墓は2基確認されたが周溝の一部の確認で明確な前方後方型周溝墓とは認定できないが、堀ノ内遺跡出土の底部穿孔壺と同時期の壺が出土している。上栗須遺跡(32)でも周溝墓が確

認されている。

4世紀代の古墳には、この北部三本木地域の三本木古墳や下栗須の稻荷塚古墳(56)がある。5世紀になると前方後円墳の白石稻荷山古墳が藤岡市街地から約4kmの鮎川左岸に出現し、6世紀になると七興山古墳(95)、戸塚神社古墳(58)、6世紀後半の本郷二子山古墳(73)へとつながり、やがて7世紀の群集墳へと変遷していく。7世紀中葉以降の古墳は継続して築造される。

古墳時代になると堀ノ内遺跡や竹沼遺跡が代表的な遺跡である。

5. 奈良・平安時代

律令制化において群馬県域は上野国に属しており、上野国内には当初の「碓氷・片岡・甘楽・緑野・那波・群馬・吾妻・利根・勢多・佐位・新田・山田・邑楽」13郡であったが、和銅4年(711年)「多胡」の設置で14郡になる。

現在の藤岡市は緑野郡に属していたと考えられている。

奈良時代になると藤岡市内に集落が拡散するが、集落の多くは古墳時代から継続している。下川前遺跡(19)、八反畠遺跡、藤岡境II遺跡(35)、孤穴遺跡、岡の西遺跡(38)、北原遺跡(91)があり、藤岡台地の中に集中していく。

緑野郡では瓦窯が検出されることから緑野郡が瓦供給元になっていた可能性が指摘できる。緑野郡内には7世紀末から8世紀にかけて寺院が造られたと考えられ、緑野郡には緑野寺が、藤岡市鬼石町には淨法寺が造られ、「般若淨土院」「緑野教寺」とも呼ばれていたことが鑑真の弟子道忠禅師の勅願に伝えられている。

淨法寺境内からは、8世紀末の四出・八出蓮華文や重弧文、忍冬唐草文等の瓦が見つかっている。

平安時代になると下日野金井の須恵窯群や今の藤岡市域で多くの須恵器が出土し、藤岡市域が生産・供給地域と考えることができる。また金山瓦窯跡(129)で生産された瓦を7世紀から10世紀にかけて上野国分寺や上植木廃寺、金井廃寺などの寺院に供給していたと考えられる。中栗須邸前遺跡(22包蔵地)(30)1区2号掘立柱建物、2区1号掘立柱建物の2基が検出され、1区2号掘立柱建物は布掘りを持っている。また2区8号堅穴建物から貴重な鉄製の和鍊が出土しているなど、瓦供給に伴う仏教

文化の普及とも連動していることがわかる。

地方には仏教を学び、鎮護国家ではなく、独自な大衆を相手とする仏教を布教していた。

一方で奈良時代の国家的な仏教文化の波及の結果、平城京の仏教勢力が力を持つようになった。桓武天皇は延暦三年(784)平城京を山城の長岡京へ移転したが、様々な理由で断念し、延暦十三年(794)現在の京都の地平安京に再び遷都した。平安時代は貴族の政治体制とされていて、幼帝を攝政し、やがて閥白となる政治体制を藤原一族が独占していた。各地で源氏、平氏等皇族から血を引く武士が勢力をを持つようになり、京の貴族や仏教勢力の荘園が各地に増え、ますます武士社会への変化が胎動する。しかし、律令体制は崩壊には至らず、郡司には地方豪族が任命され、世襲されていく。地方豪族勢力がかつての律令体制を維持していた。

前述のように奈良時代は鎮護国家の名のもとに仏教の布教が大きい。仏教普及の波は上野国の綿野郡にもおよび、在地の識字階級層である豪族たちにも及んだことが、文献にも残っている。

藤岡市域の窯業生産の特徴は、6世紀から埴輪生産の技術を継承し、平安時代を通じて継続する。

古代律令制における農業生産の基盤である条里制遺構も、中大塚の滝前遺跡(45)、滝下遺跡(44)で一町間隔の溝跡が確認され、9世紀前半までは機能していたことが推測される。

また平安時代最末期天仁元年(1108)に浅間山が大噴火を起こし上野国内に大量の火山灰石、火山灰が降下した。現藤岡市内地域にも大きな災害をもたらした。この復旧に伴い多くの開発領主が形成され、荘園が増加していく。

6. 中近世

源賴朝が征夷大将軍として鎌倉に幕府が成立した。鎌倉幕府の成立に伴い上野国内の在地武士団は幕府の御家人化する。上野国は安達氏が守護となり、藤岡市内では高山氏、同じ一族の小林氏が安達氏のもとで勢力を持ち続けた。旧緑豊郡白石村に所在する白石大御堂遺跡(108)は13世紀中頃を中心とした14世紀代まで園地を伴う寺院が検出されている。この寺を建立したのも高山氏か小林氏と考えられ、寺院構造から浄土教の影響をみることができる。15世紀後半には関東管領上杉氏によって鮎川左岸の崖端に位置する平井城(130)を拠点に支配されいく。この時期になると土師食道前遺跡(62)、五町田遺跡(12)、寺前遺跡など各所で火葬墓、土壙墓が作られる。白石大御堂遺跡でも寺院跡の衰退とともに埋葬構造が増え、上栗須寺前遺跡群(31)で検出された大型居館群の廃絶に伴い、同じように墓地化していくことがわかる。また中大塚遺跡(51)、上栗須寺前遺跡、堀ノ内遺跡群、白石大御堂遺跡がある。これらの遺跡は藤岡台地の北端、中川・笹川流域の低台地、鮎川の河岸段丘上に立地している。これらのことからこの周辺が中世以前から長期にわたり集落が継続していたことが理解できる。

その集落を支えた生産基盤である水田経営も行われていたことがわかる。

第1表 周辺遺跡一覧表

No.	遺跡名	所在地	種別	時代	概要	参考文献
1	下栗須津島B 遺跡	藤岡市下栗須	集落跡 包蔵地	奈良・平安	磐穴建物3軒・土坑27基・ピット293基	本報告書
2	中栗須光明B 遺跡	藤岡市中栗須	包蔵地 集落跡		時期不明土坑1基	本報告書
3	下栗須伊勢塚 遺跡	藤岡市下栗須 字伊勢塚	集落跡	縄文 古墳～平安 中世	縄文、古墳～飛鳥・磐穴建物7軒・奈良・平安時代磐穴建物7軒・中世	「下栗須伊勢塚遺跡」(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2010
4	大道南B遺跡	藤岡市下栗須		中世	中世土坑43基	「大道南II D遺跡・大道南B遺跡」藤岡市教育委員会2008
5	大道南II B遺跡	藤岡市下栗須	集落跡	縄文 奈良・平安	縄文時代磐穴建物1軒・奈良・平安時代掘立柱建物1軒・土坑13基・ピット約1500基(B 混多)	「大道南II B遺跡」藤岡市教育委員会2001
6	大道南II D遺跡	藤岡市下栗須		古墳 中世	古墳1基・中世道1条・ピット493基	「大道南II D遺跡・大道南B遺跡」藤岡市教育委員会2008
7	福荷通り遺跡	藤岡市下栗須		縄文 古墳	縄文時代前期・後期包含層・古墳	「年報(8)」藤岡市教育委員会1993
8	円淨道路	藤岡市下栗須 字円淨	集落跡	縄文～平安	縄文時代中期上坑・後期上層片・古墳時代溝・奈良～平安時代磐穴建物・土坑・溝	「藤岡市史資料編 原始・古代・中世」藤岡市史編さん委員会1993
9	植久保遺跡	藤岡市下栗須	集落跡	古墳～平安	古墳時代磐穴建物・溝・奈良～平安時代磐穴建物・土坑・溝	「年報(14)」藤岡市教育委員会1999
10	田島遺跡	藤岡市下栗須	旧石器～縄文 古墳	旧石器から縄文時代草創階削物・礎石・中世道・土坑・ピット・溝	「B 6 中道遺跡・B 7 加樹皆戸遺跡・B 8 五町田遺跡・B 9 田島遺跡・B 10 円淨道路」藤岡市教育委員会1987	
11	神流地区2号 城館址	藤岡市下栗須 字中内手・字 櫛之内	城館址		土塁や堀をめぐらす敷数が複数ある。	「神流地区遺構群(IV)・藤岡市遺跡詳細分布調査報告書一」藤岡市教育委員会1985
12	五町田遺跡	藤岡市下栗須 字五町田	沖積地	縄文～古墳	縄文時代後醍醐包含層・弥生時代上器片・ 古墳時代土坑・溝	「B 6 中道遺跡・B 7 加樹皆戸遺跡・B 8 五町田遺跡・B 9 田島遺跡・B 10 円淨道路」藤岡市教育委員会1987
13	温井遺跡	藤岡市國之郷	集落跡	古墳～平安	古墳時代中期～平安時代磐穴建物・ピット・溝	「温井遺跡」(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1981
14	中道遺跡	藤岡市國之郷	集落跡	古墳～平安	古墳時代磐穴建物・平安時代以降溝	「B 6 中道遺跡・B 7 加樹皆戸遺跡・B 8 五町田遺跡・B 9 田島遺跡・B 10 円淨道路」藤岡市教育委員会1987
15	加樹皆戸遺跡	藤岡市國之郷		縄文～平安	縄文時代中期上坑・ピット・古墳時代溝・ 奈良～平安時代水田址	「B 6 中道遺跡・B 7 加樹皆戸遺跡・B 8 五町田遺跡・B 9 田島遺跡・B 10 円淨道路」藤岡市教育委員会1987
16	岡之台遺跡	藤岡市國之郷	包蔵地	縄文	縄文時代包含層	「年報(5)」藤岡市教育委員会1990
17	岡之台II遺跡	藤岡市國之郷	集落跡	縄文 古墳～奈良・ 平安	縄文時代中期上坑・古墳時代磐穴建物・溝 平安時代磐穴建物・土坑・ピット・溝・鍛冶炉	「年報(3)・(5)・(6)」藤岡市教育委員会 1988・1990・1991
18	岡之郷温井遺 跡	藤岡市岡之郷	縄文 平安	平安時代土坑・ピット・溝		「岡之郷温井遺跡」藤岡市教育委員会2000
19	下川前遺跡	藤岡市立石	集落跡	奈良・平安	奈良時代磐穴建物1軒・土坑1基・ 平安時代磐穴建物5軒・水田	「C 4 小野地区遺跡群発掘調査報告書」藤岡市教育委員会1982
20	沖II遺跡	藤岡市立石字 沖	集落跡	弥生 古墳 平安 中世	弥生時代中期(水神平塚・岩棚山系)土坑約 80基が検出され、そのうち30基に上蓋が埋 設され、6基より火を受けた骨片が出土し、 再埋葬と考えられる。右・左側・上側等出土。 中世の上位2基・溝	「C 11 沖II遺跡」藤岡市教育委員会1986
21	沖遺跡	藤岡市立石字 沖	集落跡	平安	平安時代磐穴建物3軒・溝2条・磐穴状遺 構1基・ピット120基	「C 4 小野地区遺跡群発掘調査報告書」藤岡市教育委員会1982
22	森遺跡	藤岡市森口字 無	集落跡	弥生～平安	縄文時代後醍醐包含層・弥生時代土器片・ 古墳時代磐穴建物・奈良時代磐穴建物・ 平安時代磐穴建物	「森・中I・中II」(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1983
23	龍川遺跡	藤岡市森町字 龍川	包蔵地	縄文	沖積微高地跡に立地。縄文時代中～後期 の包蔵地。	「C 4 小野地区遺跡群発掘調査報告書」藤岡市教育委員会1982
24	小野地区水田 址遺跡	藤岡市大学中 栗須字社宮司 (水田)	生産地	縄文 古墳 平安	縄文時代後醍醐包含層・古墳時代溝・ 平安時代溝	「小野地区水田址遺跡(社宮司B地点)・谷地遺 跡F地点」(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2006
25	谷地遺跡	藤岡市中栗須 字谷地	包蔵地	縄文	縄文時代前期・後期包含層・縄文時代磐 穴建物・配石石棚・理設土器遺物	「C 7 神明北遺跡・C 8 谷地遺跡」藤岡市教育委員会1988
26	中栗須澗川II 遺跡	藤岡市中栗須 澗川	集落跡	縄文 平安	縄文時代磐穴建物30軒・列石・配石・土坑・ 平安時代磐穴建物30軒・墓壙・溝	「中栗須澗川II 遺跡」藤岡市教育委員会1999
27	神明北遺跡	藤岡市中栗須	包蔵地	縄文	縄文時代中期包蔵地・加曾利E III・IV式期	「C 7 神明北遺跡・C 8 谷地遺跡」藤岡市教育委員会1988
28	栗前遺跡	藤岡市中栗須	集落跡	縄文 古墳～飛鳥 奈良	縄文時代中期上坑・ピット・古墳時代磐 穴建物・溝・土坑・ピット・掘立柱建物	「年報(9)」藤岡市教育委員会1994

第2章 遺跡の地理的歴史的環境

No	遺跡名	所在地	種別	時代	概要	参考文献
29	郷戸遺跡	藤岡市中栗須	集落跡	奈良・平安	奈良～平安時代堅穴建物・獨立柱建物・土坑・溝	『年報(5)』藤岡市教育委員会1990
30	中栗須郡前遺跡(22号墓地)	藤岡市中栗須 白山190-2	集落跡	古墳～平安	古墳～奈良・平安時代堅穴建物2軒・堅穴造構5基・獨立柱建物2棟・溝16条・土坑57基・ピット24基	『中栗須郡前遺跡(22号墓地)』(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2020
31	上栗須寺前遺跡群	藤岡市上栗須 寺前	古墳 集落	縄文 古墳～平安 中世	縄文時代後期・古墳～平安時代堅穴建物・古墳時代前期円形周溝造構・中近世溝・土坑・古墳II基は6世紀後半から6世紀の築造	『上栗須寺前遺跡群』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1993 『上栗須寺前遺跡群Ⅱ』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1994 『上栗須寺前遺跡群Ⅲ』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1996
32	上栗須遺跡	藤岡市中栗須 白山・寺前	古墳 集落	縄文～近世	縄文時代の土坑・方形周溝墓、古墳・奈良・平安時代の集落	『上栗須道跡・下大塚道跡・中大塚道跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1989
33	上栗須 A 遺跡	藤岡市中栗須 字大林	集落跡	古墳 平安	古墳～平安時代堅穴建物・獨立柱建物・土坑・ピット・溝・井戸	『上栗須 A 遺跡』藤岡市教育委員会 有限公司 藤岡商業開発2002
34	前原遺跡	藤岡市中栗須	集落跡	奈良・平安	奈良時代堅穴建物、平安時代土坑・溝	『年報(3)』藤岡市教育委員会1988
35	藤岡堺 II 遺跡	藤岡市中栗須	集落跡	奈良・平安	奈良～平安時代堅穴建物・土坑・ピット	『藤岡市史資料編』原始・古代・中世・藤岡市史編さん委員会1993
36	藤岡堀Ⅲ遺跡	藤岡市中栗須	集落跡	奈良・平安	奈良～平安時代堅穴建物・土坑・ピット	『藤岡堀Ⅲ遺跡』藤岡市教育委員会2001
37	下大塚道跡	藤岡市三之丸 東原	集落跡	奈良・平安	奈良～平安時代堅穴建物・布垣を持つ建物・土坑・溝	『上栗須道跡・下大塚道跡・中大塚道跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1989
38	間の西遺跡	藤岡市輝塚	集落跡	平安	平安時代堅穴建物・土坑・墓壙	『藤岡市史資料編』原始・古代・中世・藤岡市史編さん委員会1993
39	原屋敷・原屋敷 B	藤岡市本動堂 字原屋敷	集落跡	古墳 平安 中世	古墳時代堅穴建物・平安時代堅穴建物・製鉄址・土坑・ピット・溝	『山内遺跡Ⅱ』藤岡市教育委員会1994 『年報(10)』藤岡市教育委員会1995
40	福荷屋敷遺跡	藤岡市本動堂 字福荷屋敷	集落跡	縄文 平安 中世	縄文時代中期土坑・平安時代堅穴建物・製鉄炉	『淹前C・福荷屋敷遺跡』藤岡市教育委員会1997
41	淹下B 遺跡	藤岡市下大塚 宇賀田	集落跡	縄文 古墳～平安	縄文時代前期土坑・古墳時代後期堅穴建物・平安時代以降の溝・土坑	D27淹下B道跡・D35淹前D道跡・D34道下B道跡・藤岡市教育委員会1999
42	新堀遺跡	藤岡市下大塚	集落跡	平安	平安時代堅穴建物	『年報(1)』藤岡市教育委員会1985
43	中大塚城	藤岡市中大塚 下郷	城郭跡	戦国	複郭跡・本丸の北・西・南の三方を廻る堀と土塁	『藤岡市道路詳細分布図』(財)藤岡市教育委員会1983
44	淹下道跡	藤岡市中大塚 淹下	集落跡	縄文 古墳	縄文時代堅穴建物・古墳時代後期堅穴建物・古墳時代中期古墳2基	『淹前・淹下』淹前・淹下道跡調査会1988
45	淹前道跡	藤岡市中大塚 淹前	集落跡	縄文 古墳～平安	古墳時代中期方形周溝墓・古墳時代後期堅穴建物・平安時代堅穴建物	『淹前・淹下』淹前・淹下道跡調査会1988
46	淹前 C 遺跡	藤岡市中大塚 淹前	集落跡	古墳 平安	古墳時代後期堅穴建物・平安時代堅穴建物	『淹前 C・福荷屋敷遺跡』藤岡市教育委員会1997
47	淹前 B 遺跡	藤岡市中大塚 淹前	集落跡	中世	中世土坑を検出	D27淹下B道跡・D35淹前D道跡・D34道下B道跡・藤岡市教育委員会1999
48	天神塚古墳	藤岡市中大塚 天神	墳墓	古墳	円墳・人骨出土	『群馬県史資料編』1988
49	平地神社古墳	藤岡市中大塚 宮前	墳墓	古墳	人骨出土	『藤岡市指定遺跡』昭和43年(1968)
50	中大塚 C 遺跡	藤岡市中大塚	集落跡	奈良～平安	奈良時代堅穴建物・奈良～平安時代土坑・ピット・溝	『年報(8)』藤岡市教育委員会1993
51	中大塚道跡	藤岡市街道、 中通地	集落跡	奈良～中世	奈良～平安時代堅穴建物・獨立柱建物・土坑・溝・中世の道	『上栗須道跡・下大塚道跡・中大塚道跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1989
52	中大塚 A 遺跡	藤岡市中大塚	集落跡	奈良～平安	奈良～平安時代堅穴建物・土坑・As-B溝下以前道路状遺構	『年報(6)』藤岡市教育委員会1991
53	浅間神社古墳	藤岡市高崎道 西	墳墓	古墳	円墳・東西43×南北38m、高さ4.5m	『群馬県道跡台帳Ⅱ(西毛編)』1973
54	奥浅間古墳	藤岡市高崎道 西	墳墓	古墳	円墳・東西29×南北23m、高さ4.6m	『群馬県道跡台帳Ⅱ(西毛編)』1973
55	株木 B 遺跡	藤岡市上戸塚	古墳 集落	縄文 古墳～中世	古墳5基・縄文時代堅穴建物4軒・古墳～平安堅穴建物13軒	『株木 B 遺跡』藤岡市教育委員会1991
56	福荷塚古墳	藤岡市下栗須 字福荷前	墳墓	古墳	直径20mの円墳・擬宝珠・直刀・滑石模造品が出土。5世紀前半の築造。	『藤岡市史資料編』原始・古代・中世・藤岡市史編さん委員会1993
57	上戸塚正上寺 道跡	藤岡市上戸塚	集落跡	古墳 平安	古墳時代堅穴建物・古墳・周溝・溝・平安時代水稻田・溝	『上戸塚正上寺道跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1993
58	戸塚神社古墳	藤岡市上戸塚 字熊野	墳墓	古墳	墳丘長53mの前方後円墳。主体部は自然石乱石積の横穴式石室・6世紀後半の築造。	『藤岡市史資料編』原始・古代・中世・藤岡市史編さん委員会1993
59	株木道跡	藤岡市上戸塚 字株木	集落跡	縄文 古墳末～平安	縄文堅穴建物3軒・古墳～飛鳥堅穴建物1軒・奈良時代堅穴建物7軒・平安時代堅穴建物1軒	『B 4 株木道跡』藤岡市建設部・教育委員会1984
60	靈符殿古墳	藤岡市藤岡 461-8	墳墓	古墳	後円部の直径33mの前方後円墳と考えられる。主体部は模様積の横穴式石室・6世紀後半の築造。	『藤岡市史資料編』原始・古代・中世・藤岡市史編さん委員会1993

名	遺跡名	所在地	種別	時代	概要	参考文献
61	讃訪神社古墳	藤岡市藤岡字東裏甲	墳墓	古墳	埴長57mの前方後円墳。主体部の横穴式石室は凝灰岩加工石材を積み上げている。6世紀後半の造築。	「藤岡市史資料編 原始・古代・中世」藤岡市史編さん委員会1993 『東京人類学雑誌』群馬大学1910
62	土師食堂前遺跡	藤岡市小林	集落跡	古墳～平安 中世	古墳～平安時代堅穴建物5軒、中世土壤墓多数	『年報(1)』藤岡市教育委員会1985
63	舞臺道路	藤岡市小林南	集落跡	古墳～平安	古墳前期～平安時代の集落址を検出。	『A 1號ノ内遺跡群一国道254号線道路改良事業に伴う理藏文化財発掘調査報告書』藤岡市教育委員会1982
64	小林古墳群	藤岡市小林・根岸・本郷	墳墓	古墳	神流川左岸に沿って形成された群集墳。150基以上が確認されている。一部は城之内道路跡群として調査されている。古墳時代前期の集落、前方後方形を含む方形周溝墓も検出されている。	「藤岡市史資料編 原始・古代・中世」藤岡市史編さん委員会1993
65	ひょうたん塚	藤岡市本郷塚原321	墳墓	古墳	円墳東西28.7×南北20.5、高さ3m	『群馬県道路台帳II(西毛編)』1973
66	塙原遺跡	藤岡市本郷	集落跡	縄文 古墳	縄文時代前期上坑、古墳時代前段堅穴建物5軒、掘立柱建物2棟、戸井、溝等検出。	『A 1號ノ内遺跡群一国道254号線道路改良事業に伴う理藏文化財発掘調査報告書』藤岡市教育委員会1982
67	本郷尺地遺跡	藤岡市本郷尺地	生産地	古墳	縄文時代遺物包含層、土坑群、古墳時代前期遺物包含層、溝	『本郷尺地遺跡』(財)群馬県理藏文化財調査事業団1987
68	一本松道路	藤岡市外之平	集落跡	縄文～古墳	南に突出する舌状台地状。土師器・須恵器	『群馬県道路台帳II(西毛編)』1973
69	山間遺跡	藤岡市藤岡字山間	包藏地 平安	縄文時代後期堅穴建物、包藏地、水田址	『A 2 藤岡北山遺跡、A 3 山間遺跡、A 6 白坂道南道路』藤岡市教育委員会1987	
70	藤岡北山遺跡	藤岡市藤岡字北山	集落跡	旧石器～平安	堅穴建物4軒	『A 2 藤岡北山遺跡、藤岡市教育委員会1987』
71	藤岡北山B遺跡	藤岡市藤岡字北山	包藏地 集落	旧石器～平安	堅穴建物20軒、土坑1基、墓壙32基。ビット	『藤岡北山B遺跡』藤岡市教育委員会1995
72	白坂道南遺跡	藤岡市山崎		平安 中世	平安時代大溝・土坑、中世土壤墓	『A 2 藤岡北山遺跡、A 3 山間遺跡、A 6 白坂道南道路』藤岡市教育委員会1987
73	本郷二子山古墳	藤岡市本郷字塙原	墳墓	古墳	埴長33mの前方後円墳。主体部は不明。埴輪が採集される。6世紀後半の造築。	『藤岡市史資料編 原始・古代・中世』藤岡市史編さん委員会1993
74	本郷山根遺跡	藤岡市本郷山根	集落跡	古墳～平安	堅穴建物20軒、掘立柱建物1棟。溝3条、土坑10基	『本郷山根遺跡』(財)群馬県理藏文化財調査事業団1988
75	本郷埴輪窯跡	藤岡市本郷字塙原	生産地	古墳	神流川左岸の河岸段丘岸の傾斜を利用して構築されている。2基の窯跡が調査されている。灰原部は宮下1遺跡他として発掘調査が実施されている。	『藤岡市史資料編 原始・古代・中世』藤岡市史編さん委員会1993 『藤岡市東部地区遺跡群Ⅲ』藤岡市教育委員会1991
76	別所堂山古墳	藤岡市本郷字堂山	墳墓	古墳	埴長34mの前方後円墳。主体部は凝灰岩の加工石材を積む。6世紀後半の造築。	『藤岡市史資料編 原始・古代・中世』藤岡市史編さん委員会1993
77	堂山古墳かね塙	藤岡市本郷別所堂山	墳墓	古墳	円墳 29.4×18×3 m	『群馬県道路台帳II(西毛編)』1973
78	神田神明B遺跡	藤岡市神田字能登源	集落跡	古墳～中世	堅穴建物1軒、土坑5基、溝1条	『神田神明B遺跡』藤岡市教育委員会2017
79	川除屋敷遺跡	藤岡市字川除	集落跡	古墳～平安	堅穴建物4軒、堅穴状遺構3基、溝6条、土坑、ビット147基	『川除屋敷遺跡・神田丸沢遺跡・神田谷戸遺跡・神田池田遺跡・神田神明遺跡・神田吼谷(1・B)遺跡』藤岡市教育委員会2012
80	森泉遺跡	藤岡市森字泉	集落跡	近世	弥生・古墳・古墳時代堅穴建物、近世用水路	『藤岡市遺跡群分布図1小野地区』藤岡市教育委員会1982
81	中沖遺跡	藤岡市中町中沖	包藏地 平安	弥生・平安	弥生時代堅穴建物	『藤岡市遺跡群分布図(2009版)』藤岡市教育委員会2009
82	中I遺跡	藤岡市中町中沖	集落跡	古墳～平安	平安時代以降掘立柱建物、土坑、配石土坑、溝、戸井	『森・中I・中II』(財)群馬県理藏文化財調査事業団1983
83	社宮司遺跡	藤岡市中町社宮司	集落跡	平安	平安時代堅穴建物他	『年報(1)』藤岡市教育委員会1985
84	中II遺跡	藤岡市中字中西	包藏地 溝跡	奈良～近世	縄文時代後期削上器片、古墳～奈良時代溝、平安時代火葬骨・掘立柱建物	『森・中I・中II』(財)群馬県理藏文化財調査事業団1983
85	中堤添遺跡	藤岡市中	集落跡	奈良 平安	奈良～平安時代堅穴建物、溝・土坑	『年報(8)』藤岡市教育委員会1993
86	中城	藤岡市中	城館		全体規模東西170m、南北70m、内郭一辺70m規模。小野里氏など地侍の居宅という。	『藤岡市史資料編 原始・古代・中世』藤岡市史編さん委員会1993 『小野西部地区道路群発掘調査報告書』藤岡市教育委員会1990
87	薬師裏遺跡	藤岡市上栗須	集落跡	縄文 平安	縄文時代前期上坑、後期堅穴建物・配石・集石・土坑、平安時代水田址・溝	『藤岡市史資料編 原始・古代・中世』藤岡市史編さん委員会1993 『藤岡市遺跡群詳細分布調査II』藤岡市教育委員会1983
88	大明神遺跡	藤岡市篠塚	集落跡	平安	平安時代堅穴建物・溝	『藤岡市教育委員会1983』
89	西原遺跡	藤岡市篠塚字西原	集落跡	平安	平安時代堅穴建物を検出。	『藤岡市遺跡群詳細分布調査II』藤岡市教育委員会1983
90	下木戸遺跡	藤岡市本郷堂宇	集落跡	奈良～平安	奈良時代堅穴建物、平安時代堅穴建物・掘立柱建物・土坑・溝	『年報(9)』藤岡市教育委員会1994
91	北原遺跡	藤岡市下大塚字北原	集落跡	奈良～平安	奈良～平安時代堅穴建物、土坑	『藤岡市遺跡群詳細分布調査II』藤岡市教育委員会1983
92	本動堂東遺跡	藤岡市本郷堂	集落跡	古墳～平安	古墳～平安時代堅穴建物・溝・ビット	『年報(18)』藤岡市教育委員会2003

第2章 遺跡の地理的歴史的環境

№	遺跡名	所在地	種別	時代	概要	参考文献
93	伊勢塚古墳	藤岡市上落合字岡	墳墓	古墳	直径28mの円墳。主体部は模様積の横穴式石室。6世紀後半から末の築造。	『伊勢塚古墳・十二天塚古墳範囲確認調査報告書Ⅲ』藤岡市教育委員会1988
94	上落合猿田遺跡	藤岡市上落合字猿田	縄文古墳		縄文時代後期土坑、古墳1基を検出。	『市内遺跡』1・藤岡市教育委員会1993
95	七興山古墳	藤岡市上落合字七興	墳墓	古墳	墳丘長146mの前方後円墳。中堤をはさみ二重の周堤が巡る。6世紀前半の築造。	『藤岡市史資料編 原始・古代・中世』藤岡市史編さん委員会1993 『七興山古墳範囲確認調査報告書Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ』藤岡市教育委員会1990・1991・1992 『七興山古墳』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2010
96	平井地区1号墳	藤岡市三ツ木字東原	墳墓	古墳	直径30mの円墳。主体部は凝灰岩の加工石材を積み上げた横穴式石室。單鳳頭彫大刀柄頭彫大刀柄他の副葬品を出土。6世紀後半の築造。	『平井地区1号墳範囲確認調査報告書Ⅳ』藤岡市教育委員会1992
97	皇子塚古墳	藤岡市三ツ木字東原	墳墓	古墳	直径30mの円墳。主体部は凝灰岩の加工石材を積み上げた室構造の横穴式石室。單鳳頭彫大刀柄頭彫大刀柄他の副葬品を出土。6世紀後半の築造。	『皇子塚古墳範囲確認調査報告書Ⅳ』藤岡市教育委員会1989
98	三ツ木東原遺跡	藤岡市三ツ木字東原	古墳集落	古墳	古墳時代盤穴建物、7世紀代の円墳5基を検出。	『三ツ木東原遺跡』藤岡市教育委員会2008
99	白石北原遺跡	藤岡市白石字北原	縄文平安中世	集落跡	縄文時代草創期頭孔器、縄文時代中・後期堅穴建物(3件以上)、平安時代掘立柱建物、中世の溝・壁跡。	『藤岡市史資料編 原始・古代・中世』藤岡市史編さん委員会1993
100	十二天塚古墳	藤岡市白石字猪崎原	墳墓	古墳	長軸36.8m、短軸26.8mの方墳。主体部は碑頭と推定される。6世紀前半の築造。	『伊勢塚古墳・十二天塚古墳範囲確認調査報告書Ⅱ』藤岡市教育委員会1988
101	猿田埴輪堂跡(猿田II)	藤岡市白石字猿田	生産地	古墳	七興山古墳の西方に位置する。古墳時代後期埴輪窯4基・灰原・土坑群	『猿田II遺跡の発掘』志村哲・山田俊輔他 『国立歴史民俗博物館研究報告』120集 国立歴史民俗博物館2004
102	白石稻荷山古墳	藤岡市白石字稻荷原	墳墓	古墳	墳丘長約40mの前方後円墳。主体部に2基の理塚を有する。5世紀前半の築造。	『白石稻荷山古墳範囲確認調査報告書Ⅰ・Ⅱ』藤岡市教育委員会1986・1987
103	猿田遺跡	藤岡市白石字猪崎原	古墳集落	古墳	縄文時代後・中期の堅穴建物、古墳時代中期の堅穴建物と古墳3基を検出。	『藤岡市史資料編 原始・古代・中世』藤岡市史編さん委員会1993
104	江原塚古墳	藤岡市白石字白浦	墳墓	古墳	円墳、26×22×3m、玄室長4m、幅2m	
105	坂越塚古墳	藤岡市白石字白浦	墳墓	古墳	直径15mの円墳とされる。主体部は模様積の横穴式石室。6世紀後半の築造。	『藤岡市史資料編 原始・古代・中世』藤岡市史編さん委員会1993
106	喜蔵塚古墳	藤岡市白石字中郷	墳墓	古墳	直径約25mの円墳あるいは方墳と考えられている。凝灰岩の加工石材を使用した截石切組積の横穴式石室を有する。7世紀後半の築造。	『藤岡市史資料編 原始・古代・中世』藤岡市史編さん委員会1993
107	白石前原遺跡	藤岡市白石字前原	生産地	近世	近世畠を検出。	『F30緑壁押出B道跡』藤岡市教育委員会2001
108	白石大御堂遺跡	藤岡市白石字大御堂	寺院址	平安～中世	13世紀中頃創建の寺院。堅穴建物2軒・掘立柱建物1軒・溝22条・墓跡31基・土坑7基	『白石大御堂遺跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1991
109	薬師原遺跡	藤岡市綠壁字薬師原	集落跡	縄文古墳中世	縄文時代中頃堅穴建物、縄文時代中・後期土坑、古墳時代中頃堅穴建物・P2基・中世掘立柱建物・ピット1列・溝状遺構	『F9薬師原遺跡道路』藤岡市教育委員会1985
110	白石根岸遺跡	藤岡市白石字根岸	集落跡	縄文奈良・平安	縄文時代前期堅穴建物、奈良・平安時代堅穴建物、浅間谷軒石臼水田を検出。	『多比良平野遺跡・白石根岸遺跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1994
111	黒熊栗崎遺跡	高崎市吉井町栗崎・平地	集落跡	縄文・弥生・奈良・平安近世	鰐川右岸の高位段丘面上に位置する。縄文～平安時代の堅穴建物を検出。	『黒熊栗崎遺跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1995
112	黒熊八幡遺跡	高崎市吉井町八幡・徳山	集落跡	縄文奈良・平安	鰐川右岸の中位・高位段丘面上に位置する。縄文・弥生・平安時代の堅穴建物を検出。	『黒熊八幡遺跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1996
113	緑壁氷室遺跡	藤岡市綠壁字氷室	集落跡	縄文弥生～平安	鰐川左岸の沖積地。縄文時代中頃1基。弥生時代中頃1基。氷室・古墳時代中期堅穴建物3軒、古墳・平安時代土坑・ピット多数	『F2緑壁地区氷室遺跡』藤岡市教育委員会1986
114	鎧治谷口遺跡	藤岡市綠壁字鎧治谷口	縄文		鰐川左岸の小規模な段丘面上。縄文時代後期掘石土坑等20基を出土	『F2緑壁地区遺跡群』1・藤岡市教育委員会1986
115	シモ田遺跡	藤岡市綠壁字シモ田	縄文		鰐川左岸の冲積地。縄文時代後期前半の住居状土坑を検出。	『F2緑壁地区遺跡群』2・藤岡市教育委員会1986
116	緑壁中郷遺跡	藤岡市綠壁字中郷	縄文		鰐川左岸の冲積台地。包含層・土坑4基	『F2緑壁地区遺跡群』3・藤岡市教育委員会1986
117	緑壁上郷遺跡	藤岡市綠壁字上郷	旧石器時代後期	縄文	鰐川左岸の冲積台地上。縄文～弥生時代土器・古墳時代中期から後期堅穴建物26軒・平安時代までの堅穴建物、江戸時代屋敷に伴う掘り・排水溝・墓葬状遺構。齊賀代官屋敷跡、水田	『F2緑壁地区遺跡群』4・藤岡市教育委員会1986 『緑壁遺跡群・緑壁上郷遺跡・竹沼跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1997
118	中里遺跡	藤岡市緑壁	集落跡	奈良～平安	鰐川左岸の冲積台地上。奈良時代初期堅穴建物。平安時代前期消失堅穴建物	『F2緑壁地区遺跡群』5・藤岡市教育委員会1986

No	遺跡名	所在地	種別	時代	概要	参考文献
119	五領道跡	藤岡市緑壁字五領	包囲地	縄文	船川左岸。縄文時代前期包含層	「F2緑壁地区遺跡群」[藤岡市教育委員会1986]
120	緑壁島道跡	藤岡市西平井字島	生産地	平安 古墳	船川左岸の冲積台地上。縄文時代晚期土器、古墳時代空穴建物1軒・ピット	「F2緑壁地区遺跡群」[藤岡市教育委員会1986]
121	竹沼道跡	藤岡市緑壁字久保、西平井	集落跡	旧石器～縄文 弥生～平安	旧石器末期の石器、縄文時代中期・弥生時代末期（赤井川系）、古墳時代後期・平安時代空穴建物	「F1 武沼道跡」[藤岡市教育委員会1978] 「緑壁道跡群、緑壁上郷道跡、竹沼道跡」（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団1997
122	大工ヶ谷道跡	藤岡市緑壁字大工ヶ谷戸	集落跡	縄文 奈良・平安 近世	船川左岸の冲積台地上。縄文時代前期土坑・奈良・平安時代空穴建物9軒、近世以降と推定される溝状構造（神社間連造構）を検出。	「F2緑壁地区遺跡群」[藤岡市教育委員会1986]
123	西平井島道跡	藤岡市西平井	集落跡	古墳～中世	古墳～平安時代空穴建物、中世併穴造構・墓壙・暗渠	「年報(7)」[藤岡市教育委員会1992]
124	西平井天神道跡	藤岡市西平井		中世	中世石組み戸跡	「年報(7)」[藤岡市教育委員会1992]
125	西平井八幡道跡	藤岡市西平井	集落跡	古墳 奈良・平安 中世	須恵器窯跡2基、平安時代の空穴建物	「年報(7)」[藤岡市教育委員会1992]
126	西平井久保田代道跡	藤岡市西平井字久保田代	集落跡	縄文 古墳～平安 近世	船川左岸段丘上。縄文時代前期空穴建物1軒、中崩土坑、古墳～平安時代空穴建物・窯跡、近世道状構。	石守 晃「飛石跡跡東平井塚原・官正前・土井下道跡西平井久保田代道跡」（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団1994 「年報12」（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団1993
127	飛石A道跡	藤岡市東平井字飛石		縄文 古墳	縄文時代中期土坑・配石状造構・古墳3基	「藤岡市道跡詳細分布査定(Ⅷ)」[藤岡市教育委員会1988]
128	東平井塚原道跡	藤岡市東平井	墳墓	縄文 古墳 中・近世	縄文時代中後期古墳・古墳周囲・飛石の砕片・近世道状構	「年報9・11」（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団1990・1992 「飛石跡跡東平井塚原・官正前・土井下道跡西平井久保田代道跡」（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団1994
129	金山瓦窯跡	藤岡市金井	生産地	奈良	トンネル式登窯3基確認。上野園分寺瓦を生産。	「群馬県史資料編」2 [群馬県史編纂委員会1986]
130	平井城跡	藤岡市西平井	城館跡	中世	船川左岸の段丘上に本丸が築かれて。現在の西平井の築城地と考えられる。関東管領箱田山上杉氏の居城で、永寧10年(1438)に築城され、天文21(1552)焼失し落城。	山崎一「群馬県古城址研究」下巻 [群馬県文書事業振興会1978] 「藤岡市道跡詳細分布査定(Ⅲ)一平井地区一」[藤岡市教育委員会1984]
131	東平井古墳群 川破地区194～196号古墳	藤岡市東平井	墳墓	古墳	6世紀後半から7世紀にかけて形成された群集墳。時計・飛石・塚原・川前の4支群からなり、300基以上が確認されている。	「藤岡市史資料編 原始・古代・中世」[藤岡市史編さん委員会1993]
132	富士戸II C道跡	藤岡市東平井字富士戸	集落跡	縄文～近世 包囲地	「富士戸II C道跡」[藤岡市教育委員会2012]	「富士戸II C道跡」[藤岡市教育委員会2012]
133	東平井官正前道跡	藤岡市東平井字官正前・猿川	集落跡	奈良・平安 中・近世	藤岡台地の西縁付近に位置する。奈良・平安時代の空穴建物5軒、中世戸口2基、近世窓・土坑・ピット・火葬跡・溝状構造物	「飛石跡跡東平井塚原・官正前・土井下道跡西平井久保田代道跡」（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団1994 「F14藤岡平地区道跡群」[藤岡市教育委員会1995]
134	三木本中道東道跡	藤岡市三木本	集落跡	古墳 平安	古墳時代後期・平安時代の集落	「東京電力東日本新規一部増強に伴う理政文化財発掘調査報告書」[藤岡市教育委員会2004]
135	倉谷戸B道跡	藤岡市矢場字倉谷戸	集落跡	奈良・平安	空穴建物14軒、戸口2基、溝	「矢場神明道跡・倉谷戸B道跡」[財]群馬県埋蔵文化財調査事業団2002 「F14藤岡平地区道跡群」[藤岡市教育委員会2008]
136	倉谷戸道跡	藤岡市矢場字倉谷戸	集落跡	縄文～近世	空穴建物17軒、土坑・戸口・土壤基・溝状構造・ピット	「八王子道跡・打越道跡・倉谷戸道跡・三木本清水戸道跡・八王子下道跡・赤坂道跡」[藤岡市教育委員会1999]
137	矢場三ツ橋II道跡	藤岡市矢場	集落跡	古墳～中世	空穴建物67軒・掘立柱建物・戸口・土坑	「矢場三ツ橋II道跡」（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団2012
138	道上D道跡	藤岡市矢場字道上	集落跡	古墳～平安	溝10条、土坑、ピット	「矢場神明道跡・倉谷戸B道跡・矢場田中道跡・松ノ木道跡・道上D道跡」[藤岡市教育委員会2008]
139	松ノ木田道跡	藤岡市矢場字松ノ木田	集落跡	奈良・平安	空穴建物81軒、戸口8基、溝14条	「矢場神明道跡・倉谷戸B道跡・矢場田中道跡・松ノ木道跡・道上D道跡」[藤岡市教育委員会2008]
140	矢場田中道跡	藤岡市矢場字田中	集落跡	平安	空穴建物204軒・空穴状造構1基・溝63条・戸口7基・土坑37基	「矢場神明道跡・倉谷戸B道跡・矢場田中道跡・松ノ木道跡・道上D道跡」[藤岡市教育委員会2008]
141	常岡城跡	藤岡市神田字常岡	城館跡	戰国	菱形の丘城・土堀・腰曲輪	山崎一「群馬県古城址研究」下巻 [群馬県文書事業振興会1978]
142	神田池田道跡	藤岡市字神田	集落跡	平安	空穴建物5軒・溝9条・土坑・ピット83基・土器・須恵器・灰陶陶器・油・「真」の刻書き土器	「川除原敷裏道跡・神田丸道跡・神田門谷戸道跡・神田池田道跡・神田神明道跡・神田明谷戸B道跡」[藤岡市教育委員会2012]

第2章 遺跡の地理的歴史的環境

No	遺跡名	所在地	種別	時代	概要	参考文献
143	神田丸沢遺跡	藤岡市字神田	集落跡	古墳～近世	竪穴建物15軒、竪穴状構造2基、掘立柱建物2棟、井戸2基、ピット列1条、土坑・ピット287基、扇敷跡、畠、墨書き土器、上師器、須恵器、灰釉陶器	「川原屋敷裏遺跡・神田丸沢遺跡・神田町谷戸遺跡・神田池田遺跡・神田・神明道跡・神田町谷戸B遺跡」藤岡市教育委員会2012
144	矢場前原遺跡	藤岡市矢場字前原	包蔵地 集落跡	旧石器～中世	竪穴建物203軒、竪穴状構造7基、掘立柱建物6棟、棚列状構造6条、溝21条、土坑125基、ピット662基	「矢場前原遺跡」藤岡市教育委員会2006
145	矢場富士山遺跡	藤岡市矢場	集落跡	古墳 平安	古墳時代後期・平安時代の集落	「東京電力中東京幹線一部増強に伴う理藏文化財発掘調査報告書」藤岡市教育委員会2004
146	神田宿遺跡	藤岡市神田字龍源寺	包蔵地 平安	縄文	縄文時代・平安時代包含層	「東京電力中東京幹線一部増強に伴う理藏文化財発掘調査報告書」藤岡市教育委員会2004
147	高橋塚古墳	藤岡市神田字塚間	墳墓	古墳	埴生長24mの前方後円墳。主体部は凝灰質砂岩を使用した六室式石室。6世紀後半の築造。	「藤岡市史資料館」原始・古代・中世・藤岡市史編さん委員会1993
148	三木本清水遺跡	藤岡市三木本字清水	墳墓	古墳	古墳	「E14保美地区遺跡群」藤岡市教育委員会1994
149	南大谷遺跡	藤岡市神田保美南大谷	集落跡	縄文	縄文時代早期土器、前期集落。	「群馬県文化財情報 web 版」群馬県教育委員会
150	平塚台遺跡	藤岡市神田保美平塚台	集落跡	縄文	縄文時代中期の集落。	「群馬県文化財情報 web 版」群馬県教育委員会
151	八王子遺跡	藤岡市神田保美八王子	集落跡	旧石器 縄文 平安	旧石器時代・縄文時代・平安時代集落。	「八王子遺跡・打越遺跡・倉谷B遺跡・三木本清水II遺跡・八王子下遺跡・赤坂遺跡」藤岡市教育委員会1999
152	赤坂遺跡	藤岡市浄法寺赤坂	集落跡	平安	平安時代集落。	「八王子遺跡・打越遺跡・倉谷B遺跡・三木本清水II遺跡・八王子下遺跡・赤坂遺跡」藤岡市教育委員会1999
153	緑野教寺跡	藤岡市浄法寺寺院跡	寺院跡	平安	平安時代寺院。	「鬼石町誌」鬼石町編さん委員会1984
154	塙ノ木遺跡	藤岡市浄法寺塙ノ木	集落跡	縄文 平安	縄文時代中期集落、平安時代の削脚焼型出土。	「群馬県鬼石町赤坂遺跡・塙ノ木遺跡・塙ノ木II遺跡・野栗遺跡・野栗II遺跡」鬼石町教育委員会2004
155	塙ノ木II遺跡	藤岡市浄法寺塙ノ木	包蔵地	縄文	縄文時代中期包含層。	「群馬県鬼石町赤坂遺跡・塙ノ木遺跡・塙ノ木II遺跡・野栗遺跡・野栗II遺跡」鬼石町教育委員会2004
156	三ツ山城跡(根小屋)	藤岡市浄法寺根平	城館址	中世	16世紀の城館址。	「群馬県文化財情報 web 版」群馬県教育委員会
157	字塙遺跡	藤岡市浄法寺塙	散布地	縄文	縄文時代遺物散布地。	「群馬県文化財情報 web 版」群馬県教育委員会
158	八塙遺跡	藤岡市浄法寺塙	集落跡	縄文	縄文時代後期集落、後期敷石住居を検出。	「群馬県文化財情報 web 版」群馬県教育委員会

第3節 発掘調査区の基本土層

下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)は、第2章第1節の記載した通り鮎川と神流川に挟まれた沖積台地上にある。そして遺跡はその台地の北端に位置する。このため遺跡地は常に川の浸食や水没などを受けていることがわかる。

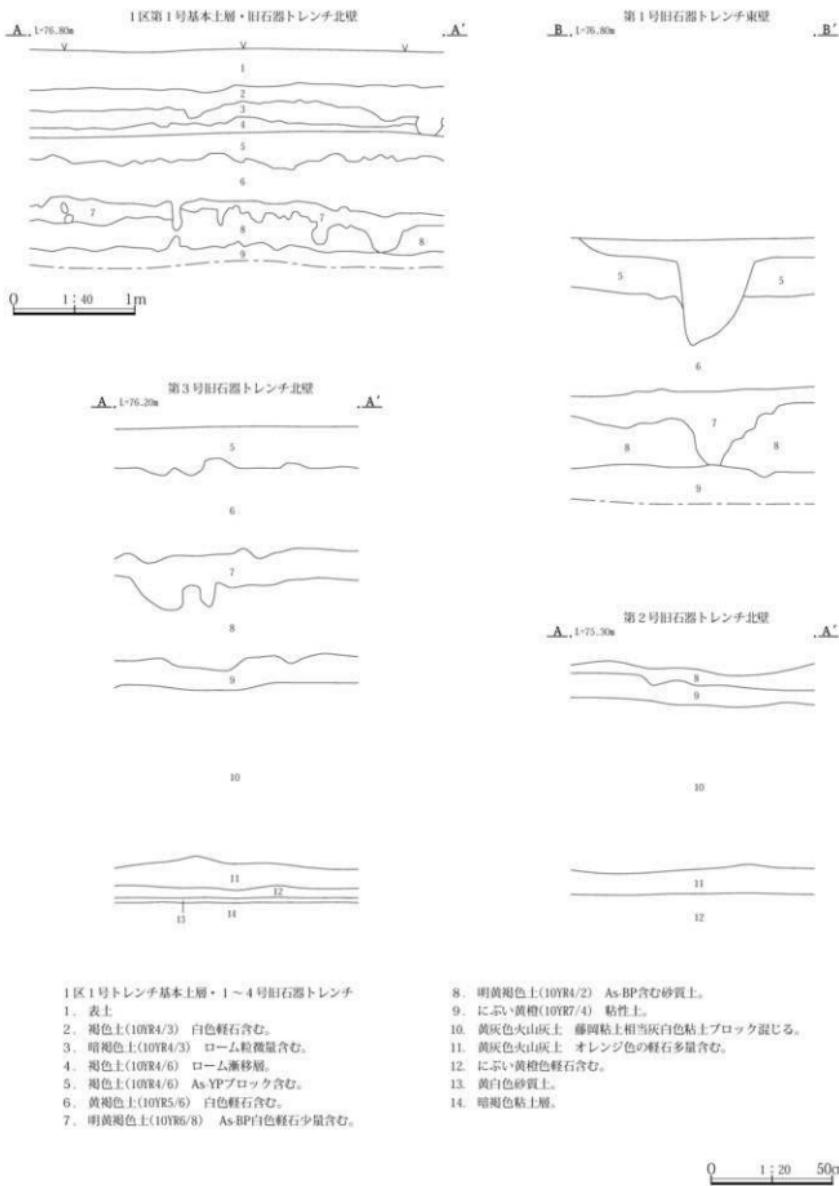
特にローム面の砂質土、小砾が混入している。このため藤岡の地は良質の粘土が取れることでも有名である。古代ではその粘土を使い埴輪や須恵器を生産されてきた歴史がある。

また遺跡地は旧道路があり、民家や建物が立ち並び、

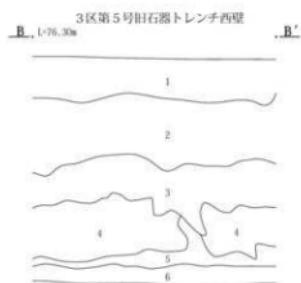
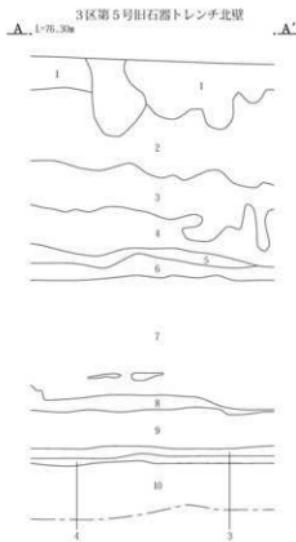
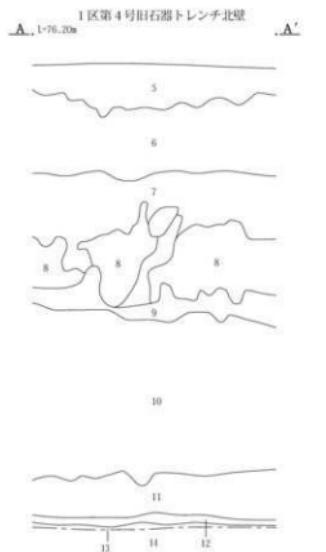
搅乱が多く、畑地であった部分もある。このため群馬の特徴である浅間山や榛名山の噴出火山灰、火山軽石等の堆積も2次堆積が多く、調査地が畑地部分では耕作土の搅乱で混じりっている。今回の調査で明確に確認できた軽石はAs-Aの2次堆積がほとんどである。

ローム土の堆積も同様で、砂質土や小砾がローム土中に確認されている。このため旧地表面の確認や同レベルでの比較対象も意味がなく各調査区の壁断面をそのまま掲載した。図の縮尺は大小あるため同じ掲載規模にするため縮尺が異なっている。

第3節 発掘調査区の基本土層

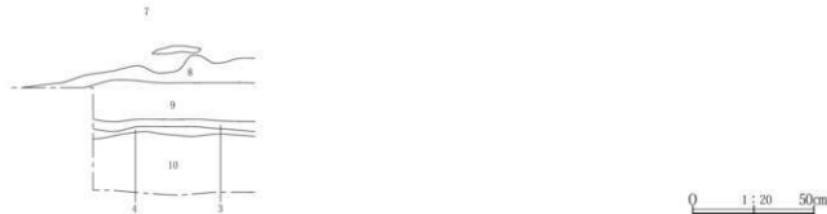


第4図 1区1号基本土層・旧石器トレンチ北壁、1～3号旧石器トレンチ

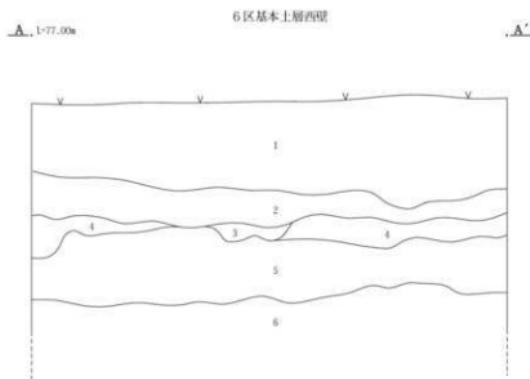


- 3区旧石器トレンチ
 1. 暗褐色土(10YR4/6) As-YPブロック含む。
 2. 黄褐色土(10YR5/6) 白色軽石含む。
 3. 明黄褐色土(10YR6/8) As-BP白色軽石少量含む。
 4. 明黄褐色土(10YR4/2) As-BP含む砂質土。
 5. 淡黄色砂質土 同時層位内に部分的にみられる。
 6. ぶい黄橙(10YR7/4) 粘質土。
 7. 黄灰色火山灰土 磷酸粘土相当、灰白色粘土ブロック含む。
 8. 黄灰色土(2.5YR6/2) 砂質土。
 9. 黄灰色火山灰土 オレンジ色の軽石、火山岩片含む。
 10. 暗褐色粘土層。

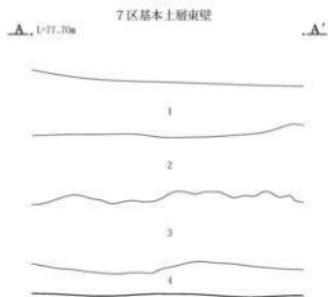
1区4号旧石器トレンチ上層は、第4図と同じ



第5図 1区4号・3区5号旧石器トレンチ



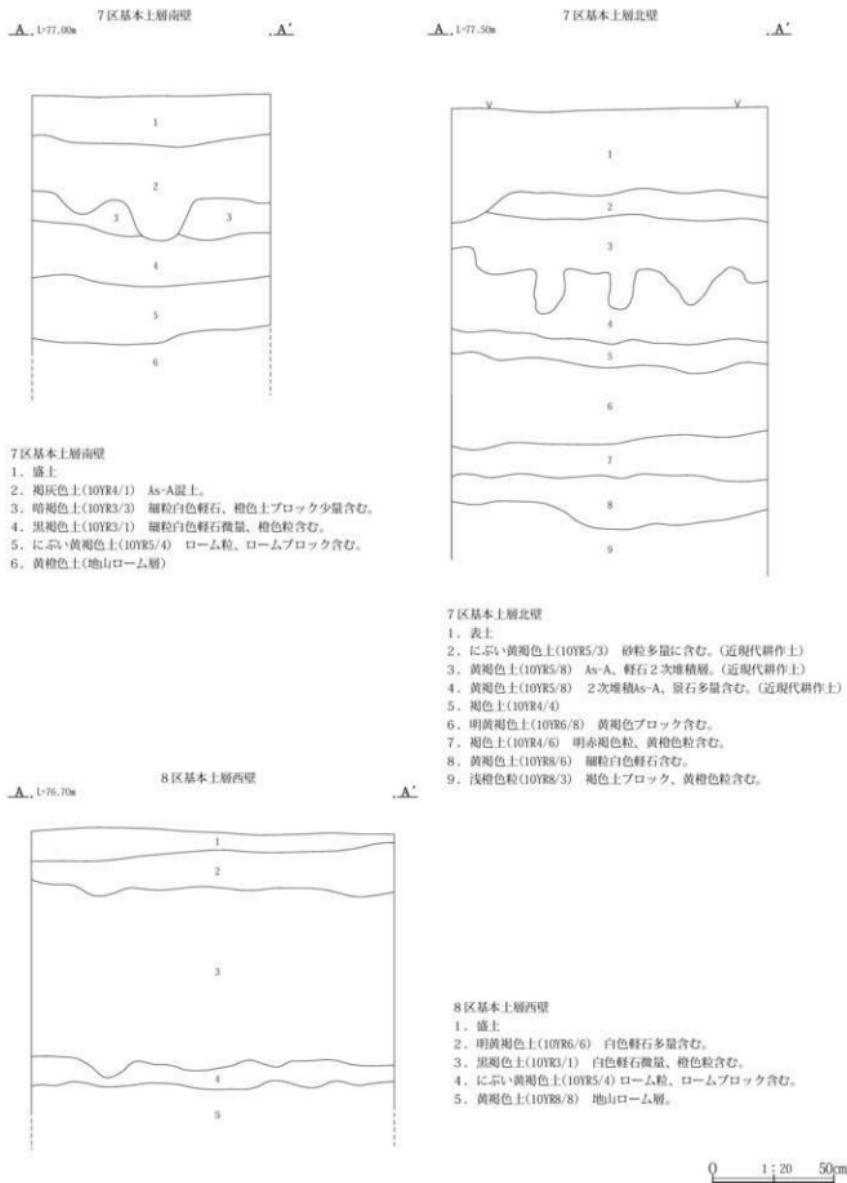
- 6区基本土層西壁
1. 表土(砂石)
 2. 褐灰色土(10Y4/1) As-A混上。
 3. 灰黃褐色土(10Y4/2) As-A少量含む。
 4. 喀褐色土(10Y3/1) 白色軽石、粘土ブロック少量含む。
 5. 黒褐色土(10Y3/1) 細粒白色軽石、褐色粒含む。
 6. にぶい黄褐色土(10Y5/4) ローム粒、ロームブロック含む。



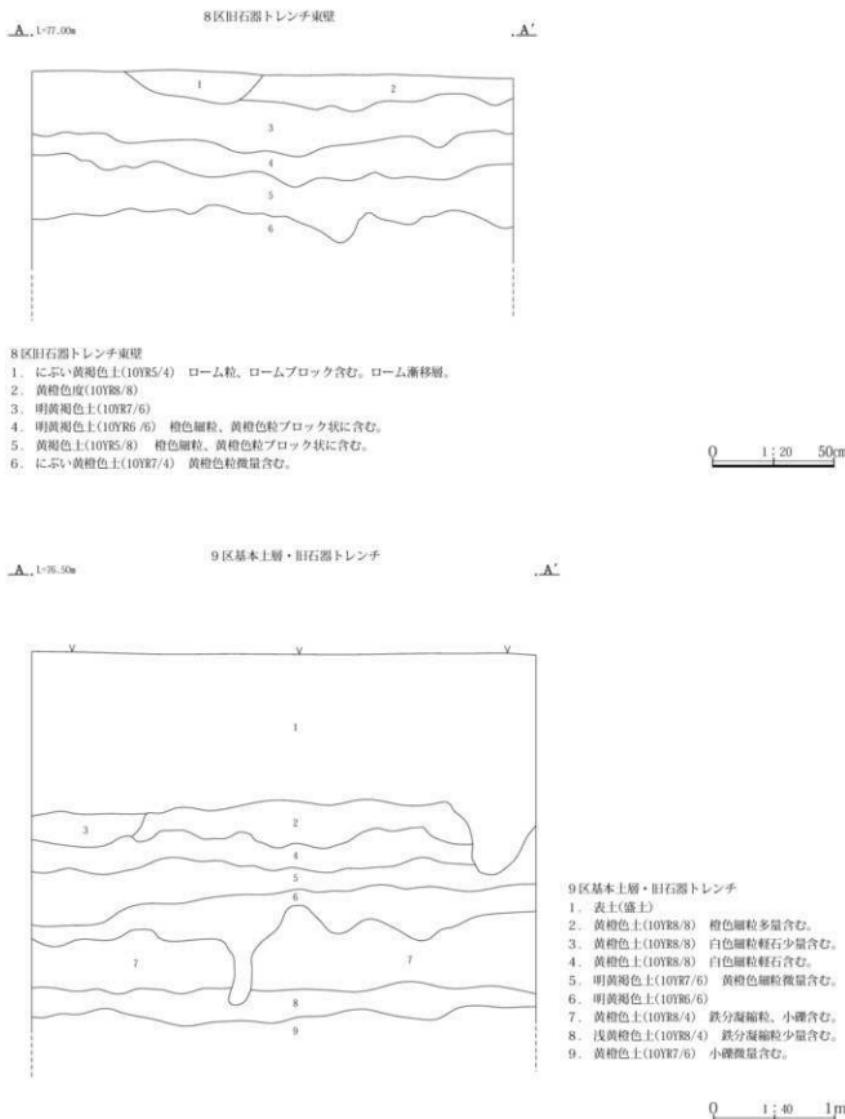
- 7区基本土層東壁
1. 表土(砂石)
 2. 褐褐色土(10Y5/1) 白色軽石含む。
 3. 黒褐色土(10Y3/1) 白色軽石多量含む。
 4. にぶい黄褐色土(10Y5/3) 白色軽石、黒褐色土ブロック含む。

0 1 20 50cm

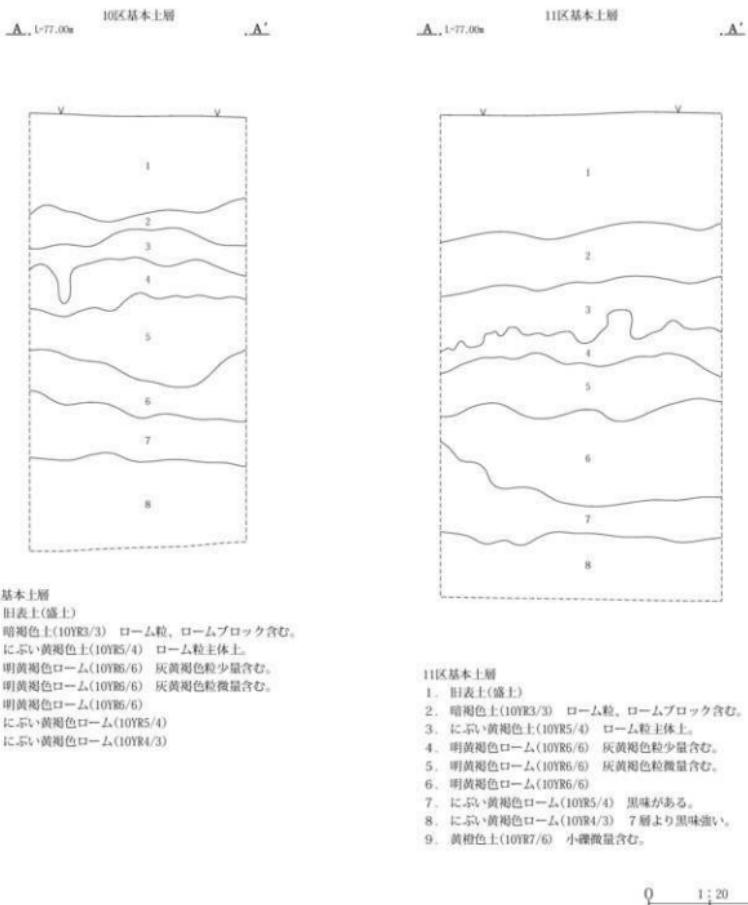
第6図 6区基本土層西壁、7区基本土層東壁



第7図 7区基本上層南壁・北壁、8区基本上層西壁



第8図 8区旧石器トレンチ東壁、9区基本土層・旧石器トレンチ



第9図 10区・11区基本土層

第3章 検出された遺構と遺物 下栗須津島B遺跡(27包蔵地)

第1節 概要

本遺跡は下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)の報告書である。このことは第1章で述べた通りである。調査の開始は平成28年度で終了は令和5年度である。その間に4度の発掘調査が行われた。

図面、写真を確認するとわかるように道路の拡幅工事に伴う調査のため、広い所でも幅約4.5m、細い所では1mに満たない部分もあり、さらに道路の拡幅工事、畑等の耕作の攪乱で個々の遺構の全体を完掘できた遺構は竪穴建物ではほぼない。竪穴建物は30棟を検出したが、壁の一部を確認しただけのものもある。

本報告書の22包蔵地の7区は新たな区であり、土坑が1基のみである。調査がすべて終了する前に22包蔵地の中栗須邸前遺跡が刊行されている。中栗須邸前遺跡の7区は本報告書にもある通り、当時の県教育委員会文化財保護課が工事立合い調査を行ったものである。従って中栗須邸前遺跡と中栗須光明B遺跡の7区は重複しているが、第1章にあるように同じ22包蔵地内にあるが中栗須光明B遺跡7区は邸前遺跡7区とは異なる遺跡内にある。中栗須光明B遺跡は中栗須邸前遺跡に西で接し、下栗須津島B遺跡は八高線を挟んだ東側で皆同じ道路の拡幅部である。

1. 竪穴建物

2区1号竪穴建物(第10図、PL. 1・32)

2区に位置し、X=29190~193、Y=-67308~311の範囲にある。形状は隅丸方形を呈し、同区内2号竪穴建物と重複している。新旧関係は1号竪穴建物が新しい。規模は長軸2.36m、短軸2.34m、深さ0.43mを測る。確認した面積は(4.04)m²である。長軸方位はN-56°-Eを指す。北西のコーナー部は攪乱を受けている。床面はほぼ平坦をなし、竈は東壁中央に検出された。竈の規模は全長62cm、幅74cm、燃焼部幅68cmを測る。竈の左袖は欠損して

いたが、右袖には構築材の粘土が残存していた。貯蔵穴、壁周溝、柱穴、ピット等の諸施設は検出されていない。出土遺物は土師器杯、須恵器杯・杯蓋・盤・壺片が出土している。時期は8世紀末に比定できる。

2区2号竪穴建物(第11~14図、PL. 1・2・32)

2区に位置し、X=29190~194、Y=-67305~312の範囲にある。形状は隅丸方形を呈し、他の遺構との関係は同区内1号竪穴建物と重複している。新旧関係は2号竪穴建物が古い。規模は長軸(5.67)m、短軸(5.59)m、深さ0.61mを測る。確認した面積は(16.83)m²である。長軸方位はN-59°-Eを指す。南北コーナー部は調査区外に延びる。床面は平坦をなし、竈は東壁南隅寄りに検出された。竈の規模は全長(106)cm、幅(98)cm、燃焼部幅(57)cmを測る。竈の両袖に粘土塊が確認された。貯蔵穴は竈の南隣に接するように検出された。貯蔵穴の規模は長軸98cm、短軸86cm、深さ48cmを測る。壁周溝は竪穴建物検出部ほぼ全周し、規模は幅17~46cm、深さ7~18cmを測る。ピットはP1~P5の5基検出され、このうちP2・4・5はこの竪穴建物の柱穴と考えられる。ピットの規模はP1長軸63cm、短軸29cm、深さ25cm、P2長軸63cm、短軸57cm、深さ68cm、P3長軸31cm、短軸24cm、深さ8cm、P4長軸37cm、短軸35cm、深さ53cm、P5長軸65cm、短軸63cm、深さ43cmを測る。また床上に土坑が1基確認され、規模は長軸75cm、短軸56cm、深さ27cmを測る。掘り方調査で床下ピットが7基確認された。各々のピットの規模はP1長軸90cm、短軸70cm、深さ27cm、P2長軸35cm、短軸31cm、28cm、P3長軸31cm、短軸27cm、深さ17cm、P4長軸48cm、短軸47cm、深さ37cm、P5長軸29cm、短軸23cm、深さ14cm、P6長軸34cm、短軸33cm、深さ31cm、P7長軸45cm、短軸44cm、深さ38cmを測る。出土遺物は土師器杯・甕、須恵器甕片が出土している。時期は7世紀後半に比定できる。

1区 3号竪穴建物(第15・16図、PL. 2・32)

1区に位置し、X=29172～174、Y=−67245～249の範囲にある。形状は不明である。他の遺構との関係は北西側で6号竪穴建物と重複している。新旧関係は3号竪穴建物が新しい。規模は長軸(2.89)m、短軸(2.52)m、深さ0.59cmを測る。確認した面積は(4.57)m²である。長軸方位はN=54°-Eを指す。竪穴建物の床面と西壁の一部を確認したのみである。竈、貯蔵穴、壁周溝等の諸施設は検出されていない。ピットが5基検出された。各々のピットの規模はP1長軸38cm、短軸(28)cm、深さ50cm、P2長軸36cm、短軸31cm、深さ15cm、P3長軸44cm、短軸35cm、深さ83cm、P4長軸25cm、短軸23cm、深さ7cm、P5長軸34cm、短軸33cm、深さ11cmを測る。出土遺物は土師器杯、須恵器壺・甕片、砥石が出土している。時期は7世紀後半に比定できる。須恵器壺(4)は混入と考えられる。

4区 4号竪穴建物(第17図、PL. 2)

4区に位置し、X=29209・210、Y=−67358・359の範囲にある。形状は不明で、北東コーナーの一部のみが検出された。出土遺物はない。他の遺構との関係は3号土坑と重複する。新旧関係は4号竪穴建物が古い。規模は長軸(1.00)m、短軸(0.98)m、深さ0.29mを測る。確認した面積は(0.58)m²である。長軸方位はN=1°-Wを指す。竈、壁周溝、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。竪穴建物内土坑、ピットも検出されていない。出土遺物がないため時期は不明である。

4区 5号竪穴建物(第18図、PL. 2)

4区に位置し、X=29207～209、Y=−67353～356の範囲にある。形状は不明で、北東コーナーの一部のみが確認された。他の遺構との関係は2号土坑と重複する。新旧関係は5号竪穴建物が新しい。規模は長軸(2.65)m、短軸(2.28)m、深さ0.33mを測る。確認した面積は(2.90)m²である。長軸方位はN=35°-Wを指す。床面はほぼ平坦をなし、竈、壁周溝、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。床面上に土坑が1基確認され、規模は長軸91cm、短軸(38)cm、深さ40cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯1点である。時期は7世紀前半に比定できる。

1区 6号竪穴建物(第19図、PL. 3・33)

1区に位置し、X=29173～175、Y=−67247～249の範囲にある。形状は不明で、西壁と南西コーナーの一部を確認した。他の遺構との関係は3号竪穴建物と重複している。新旧関係は6号竪穴建物が古い。規模は長軸(2.03)m、短軸(1.98)m、深さ0.42mを測る。確認した面積は(1.96)m²である。主軸方位はN=18°-Eを指す。ピットが2基確認された。各々の規模はP1長軸40cm、短軸(23)cm、深さ13cm、P2長軸32cm、短軸(28)cm、深さ12cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、須恵器壺片が出土している。時期は7世紀前半に比定できる。

1区 7号竪穴建物(第20・21図、PL. 3・33)

1区に位置し、X=29176～180、Y=−67258～264の範囲にある。形状は方形を呈すると思われる。西・南壁の一部を確認した。他の遺構との重複はない。規模は長軸(4.92)m、短軸(3.94)m、深さ0.55mを測る。確認した面積は(7.47)m²である。長軸方位はN=67°-Eを指す。竈、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。壁周溝は西・南壁に確認され、規模は幅15～29cm、深さ2～8cmを測る。床面は平坦をなし、2基のピットと床下ピット1基を確認した。規模はP1長軸38cm、短軸34cm、深さ38cm、P2長軸54cm、短軸48cm、深さ66cmを測る。床下P1長軸21cm、短軸20cm、深さ12cmを測る。床面上に土坑が1基確認され、規模は長軸(183)cm、短軸(59)cm、深さ39cmを測る。掘り方面からは工具痕が検出され、鉄製工具と考えられる。出土遺物は土師器杯・椀・甕、須恵器高盤・壺・甕片、翡翠製垂飾が出土している。時期は7世紀後半に比定できる。

1区 8号竪穴建物(第22・23図、PL. 3・4・33)

1区に位置し、X=29177～180、Y=−67264～269の範囲にある。形状は隅丸長方形と考えられる。他の遺構との重複はない。規模は長軸(3.93)m、短軸(3.35)m、深さ0.49mを測る。確認した面積は(5.48)m²である。長軸方位はN=74°-Eを指す。南半部と北部コーナーは調査区域外に延びている。竈は東壁に確認され、規模は全長(106)cm、幅(72)cm、燃焼部幅36cmを測る。竈の南部は調査区域外に延びているが、左袖部には粘土塊が確認された。壁周溝は東・西・北壁に確認され、規模は幅15～33cm、深さ2

～9cmを測る。床面は平坦をなし、ピットが1基確認され、規模は長軸39cm、短軸28cm、深さ22cmを測る。床面上に土坑が1基確認され、規模は長軸(56)cm、短軸(53)cm、深さ9cmを測る。出土遺物は土師器杯・甕・須恵器杯が出土している。時期は7世紀後半に比定できる。

4区9号竪穴建物(第24・25図、PL. 4・33)

4区に位置し、X=29205～208、Y=−67347～352の範囲にある。形状は不明であり、他の遺構との重複はない。規模は長軸(3.79)m、短軸(3.45)m、深さ0.37mを測る。確認した面積は(6.54)m²である。長軸方位はN-43°-Wを指す。東・北壁の一部を確認し、東壁に竈の一部が検出された。竈の残存規模は全長(64)cm、幅(118)cmを測る。燃焼部の北半部は調査区域外に延びる。竈の両袖から粘土塊が確認された。竈の東に接し、貯蔵穴が確認された。規模は長軸92cm、短軸90cm、深さ72cmを測る。ピットが1基確認され、規模は長軸29cm、短軸27cm、深さ17cmを測る。貯蔵穴の西に接し、土坑が1基確認され、規模は長軸88cm、短軸72cm、深さ68cmを測る。出土遺物は土師器杯、鉢片が出土している。時期は7世紀後半に比定できる。

1区10号竪穴建物(第26図、PL. 4)

1区に位置し、X=29181・182、Y=−67275～277の範囲にある。形状は不明で、北部の一部が確認され、他の遺構との重複は39・40号ピットと重複する。新旧関係は10号竪穴建物が旧い。規模は長軸(2.33)m、短軸(0.72)m、深さ0.47mを測る。確認した面積は(0.60)m²である。長軸方位はN-59°-Wを指す。竈、貯蔵穴、壁周溝等の諸施設は検出されていない。出土遺物は土師器杯・甕が出士している。時期は8世紀後半に比定できる。

3区11号竪穴建物(第27図、PL. 4)

3区に位置し、X=29195～198、Y=−67324～328の範囲にある。形状は隅丸長方形を呈し、南部の1/3は調査区域外に延びる。他の遺構との重複はない。規模は長軸(2.74)m、短軸2.45m、深さ0.27mを測る。確認した面積は(4.68)m²である。長軸方位はN-1°-Eを指す。竈は東壁南寄りに検出され、規模は全長112cm、幅65cm、燃焼部幅33cm、煙道部長が71cmを測る。竈の両袖から粘土

塊を確認した。床面は平坦をなし、竪穴建物中央部に土坑が1基確認され、規模は長軸86cm、短軸72cm、深さ17cmを測る。貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。出土遺物がないため、時期は不明である。

5区12号竪穴建物(第28図、PL. 5)

5区に位置し、X=29109～114、Y=−67075～082の範囲にある。形状は不明で、南壁と北西コーナーの一部が検出され、他は調査区域外に延びる。他の遺構との重複はない。規模は長軸(5.91)m、短軸(4.56)m、深さ0.51mを測る。確認した面積は(8.29)m²である。長軸方位はN-25°-Wを指す。竈、貯蔵穴、壁周溝等の諸施設は検出されていない。床面は平坦をなし、ピットが3基確認された。各々の規模は、P1長軸51cm、短軸32cm、深さ4cm、P2長軸49cm、短軸37cm、深さ36cm、P3規模は長軸52cm、短軸41cm、深さ17cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯が出土している。時期は7世紀代に比定できる。

9区13号竪穴建物(第29図、PL. 5・33)

9区に位置し、X=29276～278、Y=−67584～586の範囲にある。形状は不明で北部の一部が検出されている。他の遺構との関係は25号ピットと重複し、新旧関係は13号竪穴建物が新しい。規模は長軸(2.68)m、短軸(0.98)m、深さ0.32mを測る。確認した面積は(1.32)m²である。長軸方位はN-75°-Wを指す。北・東壁に壁周溝が確認され、規模は幅20～26cm、深さ3～5cmを測る。竈、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。出土遺物は土師器杯・甕・鉢・須恵器杯蓋・杯が出土している。時期は8世紀前半に比定できる。土師器甕(6)は9世紀前半と考えられ、混入と考えられる。

9区14号竪穴建物(第30・31図、PL. 5・6・33)

9区に位置し、X=29289～292、Y=−67617～622の範囲にある。形状は不明で、竈、東・西壁の一部が確認され、南・北壁は調査区域外に延びる。他の遺構との関係は15号竪穴建物、173号ピットと重複し、新旧関係は14号竪穴建物が新しい。規模は長軸(3.88)m、短軸(2.33)m、深さ0.23mを測る。確認した面積は(7.92)m²である。長軸方位はN-69°-Wを指す。床面は平坦をなし、竈は東壁に確認された。規模は全長117cm、幅61cm、燃焼部幅

第3章 検出された遺構と遺物

48cmを測る。袖材は粘土を使用し、燃焼部焚口の天井部に工具痕が残る石が二つ配置されていた。竈の南コーナーに貯蔵穴が検出され、規模は長軸88cm、短軸79cm、深さ18cmを測る。掘り方面では床下土坑が3基確認された。各々の規模は、土坑1長軸(143)cm、短軸(104)cm、深さ11cm、土坑2長軸(82)cm、短軸(23)cm、深さ8cm、土坑3長軸129cm、短軸(104)cm、深さ13cmを測る。出土遺物は土師器壺、黒色土器椀、須恵器杯蓋・椀・麁片が出土している。時期は9世紀末第4四半期に比定できる。

9区15号竪穴建物(第32図、PL. 6・33)

9区に位置し、X=29290～292、Y=−67620～−623の範囲にある。形状は不明で、北・東壁の一部が確認された。他の遺構との関係は14号竪穴建物と重複する。新旧関係は15号竪穴建物が古い。規模は長軸(2.74)m、短軸(2.33)m、深さ0.40mを測る。確認した面積は(2.66)m²である。長軸方位はN-71°-Eを指す。床面は平坦をなし、竈が東壁に確認された。燃焼部から煙道部にかけて攪乱により、欠損している。規模は全長(66)cm、幅81cm、燃焼部幅43cmを測る。竈の左右袖部には粘土塊が検出された。北・東壁で壁周溝が確認され、規模は幅8～32cm、深さ5～10cmを測る。ピットが2基確認され、規模はP1長軸18cm、短軸16cm、深さ28cm、P2長軸23cm、短軸15cm、深さ20cmを測る。掘り方面に床下土坑が1基確認された。規模は長軸102cm、短軸81cm、深さ21cmを測る。出土遺物は土師器杯、須恵器脚の付いた高盤が出土している。時期は7世紀末第4四半期から8世紀初頭第1四半期に比定できる。須恵器高盤(5)は藤原京に並行する時期と考えられる。

7区16号竪穴建物(第33図、PL. 6・7・34)

7区に位置し、X=29170～173、Y=−67240～−244の範囲にある。形状は隅丸方形を呈すると思われる。遺構は北・東壁の一部が検出されている。規模は長軸(3.56)m、短軸(2.39)m、深さ0.34mを測る。確認した面積は(4.85)m²である。長軸方位はN-89°-Eを指す。床面は平坦をなし、竈、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。北・東壁に壁周溝が確認された。規模は幅17～26cm、深さ4～9cmを測る。ピットが4基確認され、規模はP1長軸39cm、短軸37cm、深さ8cm、P2長軸58cm、短軸43cm、

深さ24cm、P3長軸43cm、短軸42cm、深さ21cm、P4長軸(21)cm、短軸(14)cm、深さ5cmを測る。出土遺物は土師器杯・壺、須恵器杯、灰釉陶器壺、台石が出土している。時期は8世紀後半に比定できる。

7区17号竪穴建物(第34～36図、PL. 7・34)

7区に位置し、X=29168～172、Y=−67232～−238の範囲にある。形状は不明で、南半部の一部を確認した。他の遺構との関係は18号竪穴建物と重複している。新旧関係は17号竪穴建物が新しい。規模は長軸(5.03)m、短軸(3.72)m、深さ0.32mを測る。確認した面積は(10.58)m²である。長軸方位はN-84°-Eを指す。竈は東壁に確認されたが、北半部は調査区域外に延びている。規模は全長(121)cm、幅(83)cm、燃焼部幅(57)cmを測る。竈の右袖に粘土塊が確認されている。竈右袖前に貯蔵穴が確認された。規模は長軸94cm、短軸54cm、深さ27cmを測る。ピットが2基検出された。規模はP1長軸29cm、短軸24cm、深さ9cm、P2長軸47cm、短軸41cm、深さ17cmを測る。土坑が2基確認され、規模は土坑1長軸59cm、短軸48cm、深さ18cm、土坑2長軸(98)cm、短軸76cm、深さ21cmを測る。出土遺物は土師器杯・壺、須恵器杯蓋・杯・椀・麁片が出土している。石製の権錘が出土し、形状は中央に貫通する孔が穿たれている。時期は8世紀後半に比定できる。

7区18号竪穴建物(第37・38図、PL. 8・34)

7区に位置し、X=29168～171、Y=−67234～−238の範囲にある。形状は隅丸方形を呈すると思われる。遺構は南東と北西のコーナー部を検出した。他の遺構との関係は、17号竪穴建物と重複している。新旧関係は、18号竪穴建物が古い。規模は長軸(4.13)m、短軸(3.81)m、深さ0.29mを測る。確認した面積は(9.34)m²である。長軸方位はN-67°-Eを指す。床面は平坦をなし、竈は17号竪穴建物に壊されていると考えられる。(18号竪穴建物土坑1の東にある竈み)。また南東隅に痕跡の焼土を確認した。西北コーナーに壁周溝が確認された。規模は幅12～21cm、深さ7～12cmを測る。床面にピット1基が検出され、規模は長軸32cm、短軸25cm、深さ32cmを測る。土坑が2基検出され、規模は土坑1長軸61cm、短軸53cm、深さ16cm、土坑2長軸58cm、短軸53cm、深さ11cmを測る。

出土遺物は土師器杯・須恵器杯が出土している。時期は7世紀後半に比定できる。

7区19号竪穴建物(第39・40図、PL. 8・9・34)

7区に位置し、X=29166～169、Y=−67229～232の範囲にある。形状は隅丸方形を呈すると思われる。遺構は北東部約1/3を確認した。他の遺構との関係は、東部で21号、西部で20号竪穴建物と重複する。新旧関係は19号竪穴建物が20・21号竪穴建物より新しい。規模は長軸(2.82)m、短軸(2.62)m、深さ0.45mを測る。確認した面積は(3.71)m²である。長軸方位はN-19°-Wを指す。床面は平坦をなし、竈・貯蔵穴・壁周溝等の諸施設は検出されていない。出土遺物は土師器杯・甕・須恵器鉢・砾石が出土している。時期は7世紀末第4四半期に比定できる。

7区20号竪穴建物(第39図、PL. 8・34)

7区に位置し、X=29167・168、Y=−67232の範囲にある。形状は不明で、他の遺構との関係は、19号竪穴建物にほどんど壊されている。西壁の一部を検出した。規模は長軸(0.97)m、短軸(0.39)m、深さ0.28mを測る。確認した面積は(0.13)m²である。長軸方位はN-10°-Wを指す。床面は確認できず、壁の一部だけ検出した。出土遺物は土師器杯1点である。時期は不明である。

7区21号竪穴建物(第39図、PL. 9)

7区に位置し、X=29166～168、Y=−67227～229の範囲にある。形状は不明で、他の遺構との関係は西側で19号竪穴建物と重複する。新旧関係は21号竪穴建物が古い。規模は長軸(2.16)m、短軸(1.33)m、深さ0.26mを測る。確認した面積は(1.56)m²である。長軸方位はN-22°-Wを指す。竈等の諸施設は検出されていない。出土遺物がないため、時期は不明である。

9区22号竪穴建物(第41図、PL. 9)

9区に位置し、X=29270・271、Y=−67567・568の範囲にある。形状は不明で、他の遺構との重複はない。東壁の一部が検出され、規模は長軸(1.12)m、短軸(1.00)m、深さ0.30mを測る。確認した面積は(0.93)m²である。長軸方位はN-18°-Eを指す。床面は平坦をなし、竈・貯蔵

穴等の諸施設は検出されていない。出土遺物がないため、時期は不明である。

6区23号竪穴建物(第42図、PL. 9・34)

6区に位置し、X=29133～136、Y=−67115～119の範囲にある。形状は不明である。他の遺構との関係は西部で24号竪穴建物と重複する。新旧関係は23号竪穴建物が新しい。遺構は北壁約1m、南東コーナー部を約1m検出した。規模は長軸(4.05)m、短軸(2.83)m、深さ0.27mを測る。確認した面積は(3.29)m²である。長軸方位はN-31°-Wを指す。竈・貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。出土遺物は土師器杯・模倣杯・須恵器杯・甕が出土している。時期は7世紀前半に比定できる。

6区24号竪穴建物(第43図、PL. 9・10・35)

6区に位置し、X=29133～137、Y=−62115～121の範囲にある。形状は不明である。他の遺構との関係は、23号竪穴建物と重複し、新旧関係は24号竪穴建物が古い。遺構は北西コーナー部約1m、南東コーナー部約1mを検出した。規模は長軸(6.20)m、短軸(3.41)m、深さ0.62mを測る。確認した面積は(4.32)m²である。セクションをみると23号竪穴建物が中に入っているようであるが、重複の平面状態は掘削幅が約1mに及ばない中では明確にはわからない。床面は平坦をなし、壁周溝を確認した。規模は幅39～52cm、深さ7～9cmを測る。ピットが2基検出された。規模はP1長軸25cm、短軸20cm、深さ32cm、P2長軸28cm、短軸21cm、深さ25cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯・長胴甕が出土している。時期は7世紀前半に比定できる。

6区25号竪穴建物(第44図、PL. 10)

6区に位置し、X=29138～140、Y=−67125～127の範囲にある。形状は不明である。他の遺構との関係は、北壁が26号竪穴建物と重複している。新旧関係は25号竪穴建物が古い。25号竪穴建物からは出土遺物が検出されていないため断面の判断である。規模は長軸(2.13)m、短軸(1.29)m、深さ0.22mを測る。確認した面積は(1.21)m²である。主軸方位はN-39°-Wを指す。床面は平坦をなし、竈等の諸施設は検出されていない。東壁側にピットを確認した。規模は長軸53cm、短軸(41)cm、深さ21cmを測る。

第3章 検出された遺構と遺物

出土遺物がないため、時期は不明である。

6区26号竪穴建物(第44・45図、PL. 10・35)

6区に位置し、X=29139～142、Y=-67126～131の範囲にある。形状は不明である。他の遺構との関係は、南壁の一部を25号竪穴建物と重複している。新旧関係は26号竪穴建物が新しい。規模は南壁(1.1)m、北西コーナー部0.8mを検出し、規模は長軸(4.16)m、短軸(1.64)m、深さ0.55mを測る。確認した面積は(3.16)m²である。主軸方位はN-49°-Wを指す。床面は平坦をなし、掘り方面南壁側にピットが検出された。規模は長軸84cm、短軸66cm、深さ22cmを測る。このピットは26号竪穴建物に付随するかは不明だが、小ピットが中心にあり、柱穴の可能性も否定できず、掘立柱建物跡の可能性が指摘できる。出土遺物は土師器甕・須恵器蓋・高杯・壺・甕片が出土している。すべて26号竪穴建物から出土している。時期は7世紀後半から8世紀初頭第1四半期に比定される。須恵器高杯(3)は6世紀後半と旧く、混入と考えられる。

7区27号竪穴建物(第46図、PL. 10)

7区に位置し、X=29130・131、Y=-67108～110の範囲にある。形状は不明で、他の遺構との重複はない。規模は長軸(1.97)m、短軸(1.18)m、深さ0.57mを測る。確認した面積は(0.68)m²である。主軸方位はN-22°-Wを指す。床面は平坦をなす。南西コーナーに土坑が検出され、規模は長軸49cm、短軸36cm、深さ24cmを測る。出土遺物がないため、時期は不明である。

7区28号竪穴建物(第47図、PL. 10)

7区に位置し、X=29162・163、Y=-67212～215の範囲にある。形状は不明である。他の遺構との関係は、275・278号ピットと重複し、28号竪穴建物が新しい。規模は長軸(3.18)m、短軸(1.46)m、深さ0.36mを測る。確認した面積は(1.84)m²である。主軸方位はN-82°-Eを指す。床面は平坦をなし、北壁に壁周溝を検出し、規模は幅13～24cm、深さ5～7cmを測る。床面と掘り方面北壁側にピット2基を検出し、規模はP1長軸37cm、短軸26cm、深さ20cm、P2長軸26cm、短軸25cm、深さ16cmを測る。出土遺物は土師器甕・壺が出土している。時期は8世紀第3四半期に比定できる。

12区29号竪穴建物(第48図、PL. 10・35)

12区に位置し、X=29105～107、Y=-67085～088の範囲にある。形状は不明で、他の遺構との重複はない。西壁の一部0.89mを確認し、深さは0.42mを測る。壁の主軸方位はN-58°-Wを指す。床面は平坦をなし、西壁に竈、壁周溝を検出し、規模は幅17～25cm、深さ6～9cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯が出土している。時期は7世紀前半に比定できる。

10区30号竪穴建物(第49・50図、PL. 11・35)

10区に位置し、X=29139～142、Y=-67153～159の範囲にある。形状は隅丸方形の可能性がある。竪穴建物は10区に検出され、図にあるように中央部は電柱があるため全堀ができなかつたが、1棟の竪穴建物とができる。方形竪穴建物の南東コーナー部1.35m、北西コーナー部1.5mを検出し、深さ0.36mを測る。床面は平坦をなし、竈・壁周溝などの諸施設は検出されていない。出土遺物は土師器模倣杯・甕が出土している。時期は7世紀前半に比定できる。

2. 溝

6区1号溝(第51図、PL. 11)

6区に位置し、X=29144～146、Y=-67138～145の範囲にある。走行は東～西方向である。他の遺構との関係は、15・16・18号土坑と重複する。新旧関係は土坑が新しい。調査区6区の東壁から調査区の南壁南西部で調査区外に延びていく。規模は長さ(6.52)m、最大幅0.53m、最小幅0.27m、深さ0.12～0.33mを測る。走行方位はN-72°-Wを指す。出土遺物がないため、時期は不明である。

6区2号溝(第51図)

6区に位置し、X=29137～139、Y=-67122～124の範囲にある。走行は北～南方向である。他の遺構との重複はない。調査区の畑の耕作土下面で確認された。規模は長さ(1.79)m、最大幅(1.60)m、最小幅(1.42)m、深さ0.29～0.35mを測る。走行方位はN-10°-Wを指す。出土遺物がないため、時期は不明である。

3. 土坑・ピット(第52~75図、PL.12~27・35)

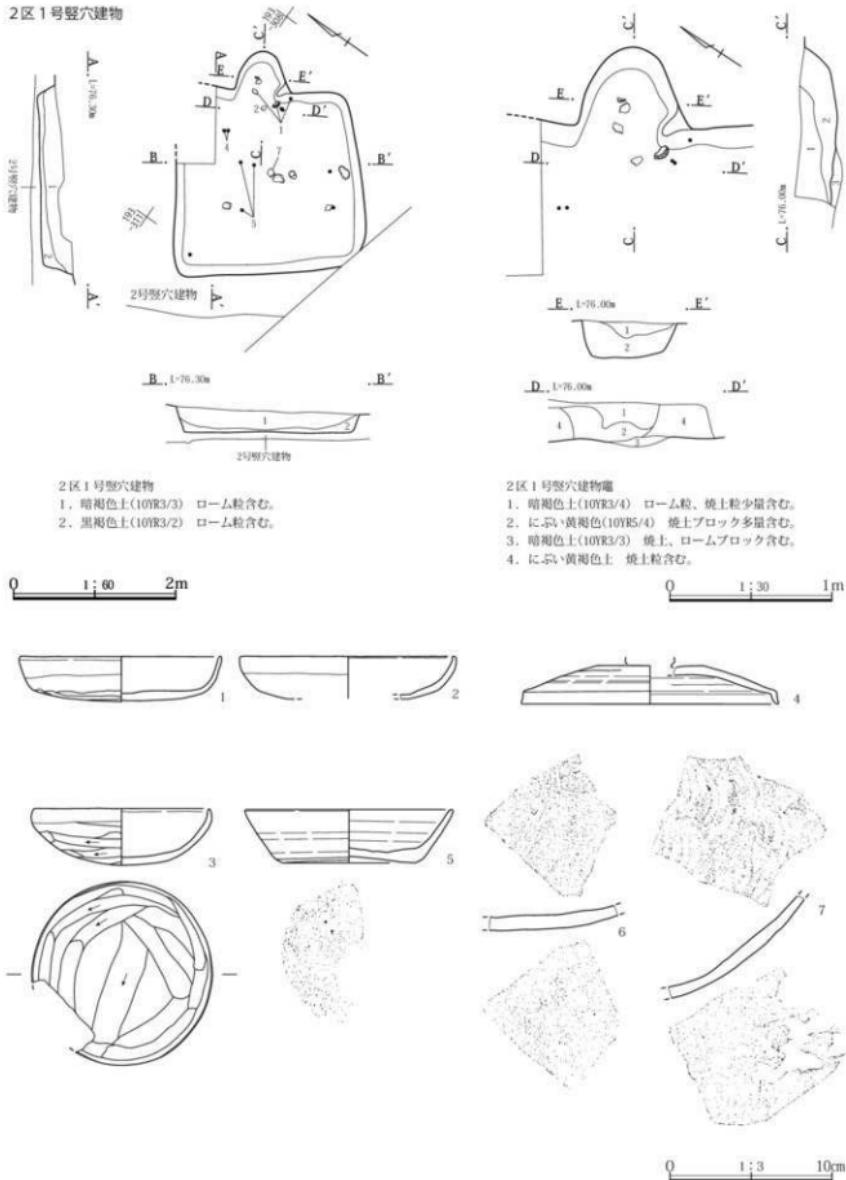
下栗須津島B遺跡から36基の土坑と290を超えるピットが検出された。調査区は道路拡幅工事のため細長く碎石、耕作土等により表土は攪乱を受けている。第2章に示したように、下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)の両遺跡は藤岡台地の北端に位置し、出土遺物もなく、年代を比定する火山噴出物の確認もされていない。わずかにAs-A(浅間A軽石)が6区24号竖穴建物第2層で確認されている。このため時期の認定は難しい。

遺物の出土は土坑では6区12号土坑から土師器杯片1点、16号土坑から須恵器壺片1点、8区27号土坑から須恵器盤・蓋・甕が出土した。盤(1)は7世紀末第4四半期から8世紀初頭第1四半期と考えられる。

ピット出土遺物は1区8号ピットから須恵器壺片、9区143号ピットから土師器杯片、8区196号ピットから須恵器杯蓋片、9区254号ピットから土師器杯が出土している。

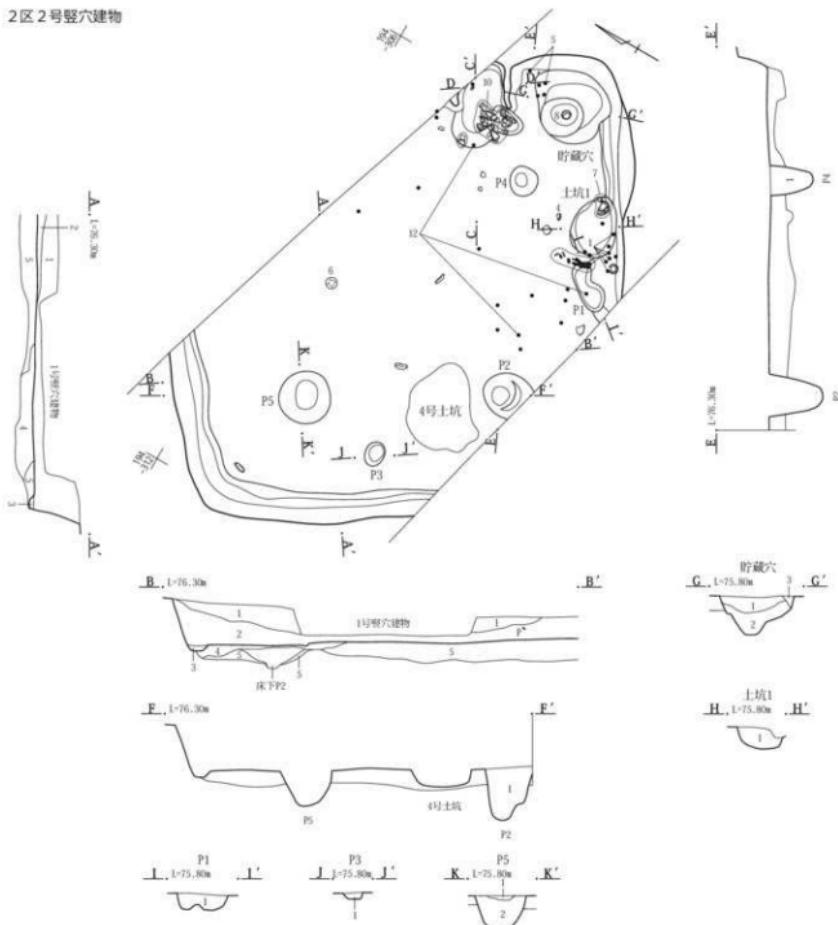
第3章 検出された遺構と遺物

2区1号竪穴建物



第10図 2区1号竪穴建物

2区 2号竖穴建物



2区 2号竖穴建物

- 暗褐色土(10YR2/3) ローム粒、ロームブロック含む。
- 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒、ロームブロック含む。
- 褐色土(10YR4/6) ローム粒主体(褐泥漿)。
- 褐色土(10YR4/4) ローム粒。白色粘土粒、黒色土粒混土。
- 明黄褐色土(10YR6/8) ロームブロック主体、白色粘土ブロック。黒色土ブロック含む。

防藏穴

- 黑褐色土(10YR2/2) ローム粒、ロームブロック、黒色土粒混土。
- 褐色土(10YR4/4) ローム粒、ロームブロック、燒土粒含む。
- 褐色土(10YR4/6) ローム粒、ロームブロック、黒色土ブロック少量含む。

土坑1

- 黒褐色土(10YR2/3) ローム粒、ロームブロック含む。

P1

- 暗褐色土(10YR3/4)

P2・P3・P4

- 褐色土ローム粒、ロームブロック含む。

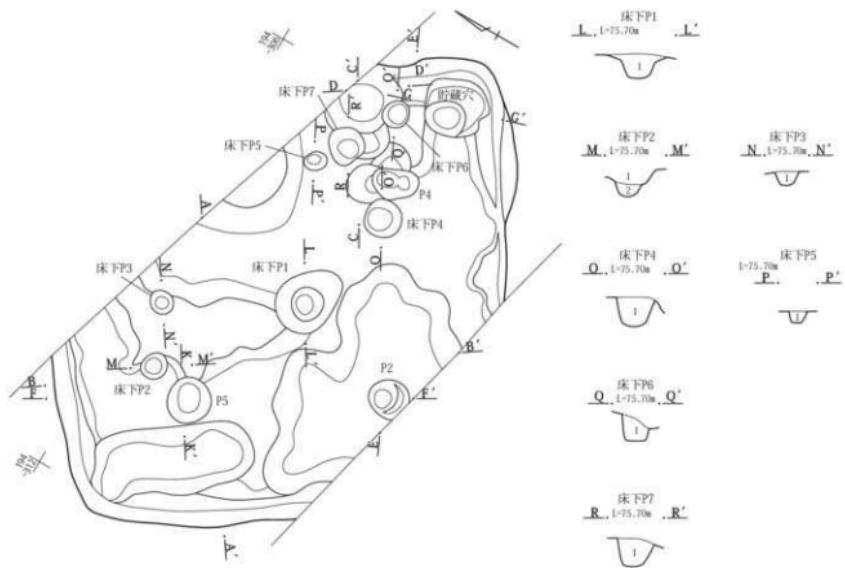
P5

- 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒微量含む。

- 褐色土(10YR4/6) ローム粒多量、ロームブロック、黒褐色土ブロック少量化含む。

0 1:60 2m

第11図 2区 2号竖穴建物



床下P1・P5

1. 明褐色土(10YR6/8) ロームブロック主体、微量の黒褐色土含む。

床下P2・P4・P6・P7

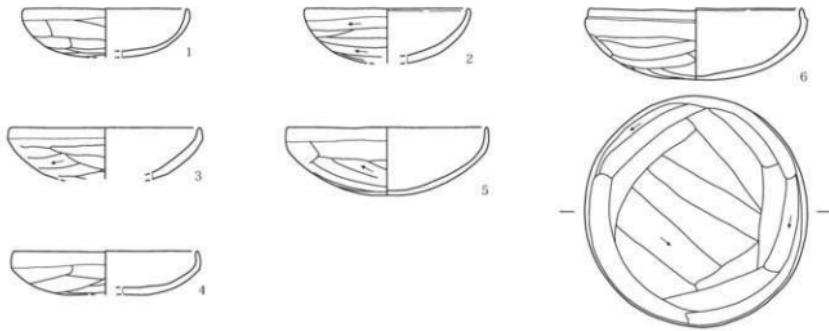
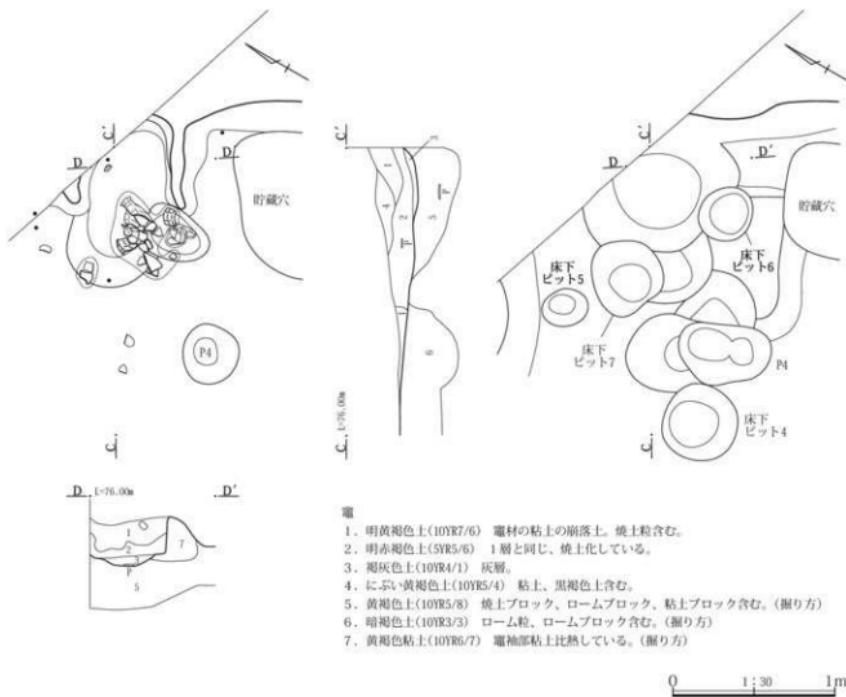
1. 褐色土(10YR4/4) ロームブロック、白色粘土粒、黒褐色土ブロック含む。

床下P3

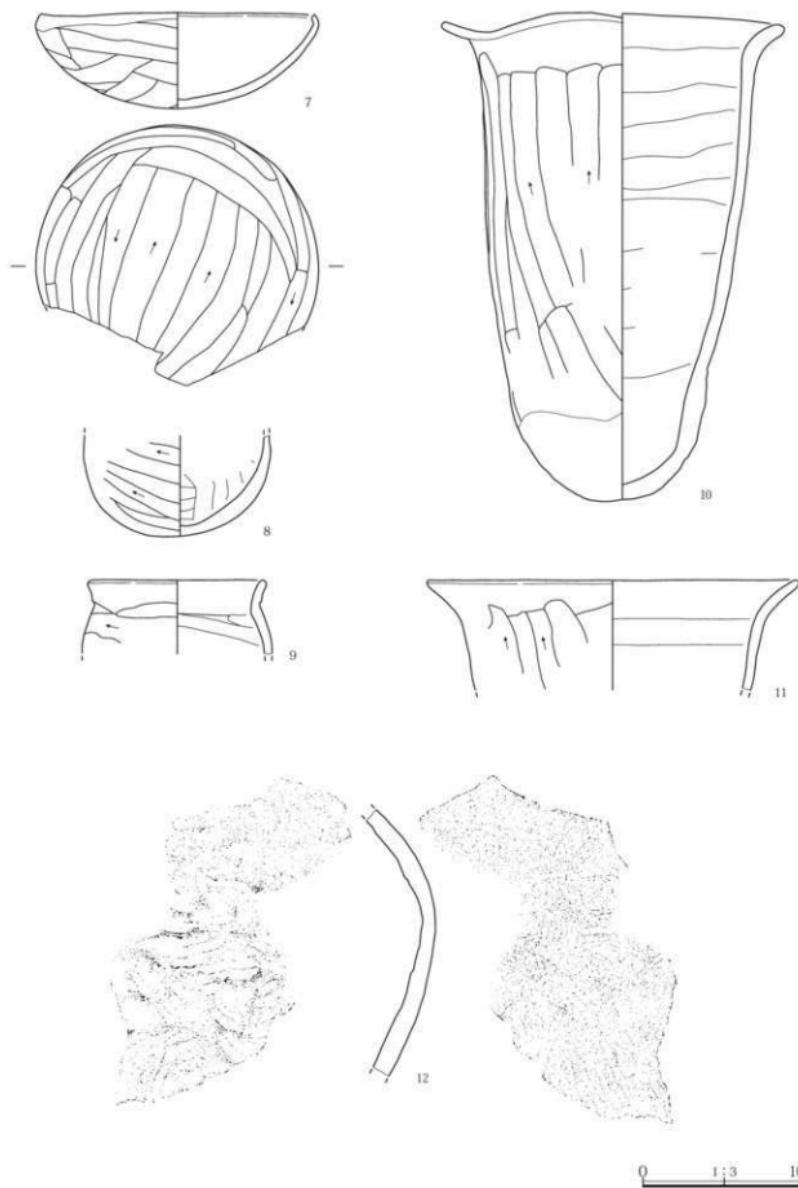
1. 黄褐色土(10YR5/6) 多量のローム粒に黒褐色土微量含む。

0 1:60 2m

第12図 2区2号壁穴建物掘り方

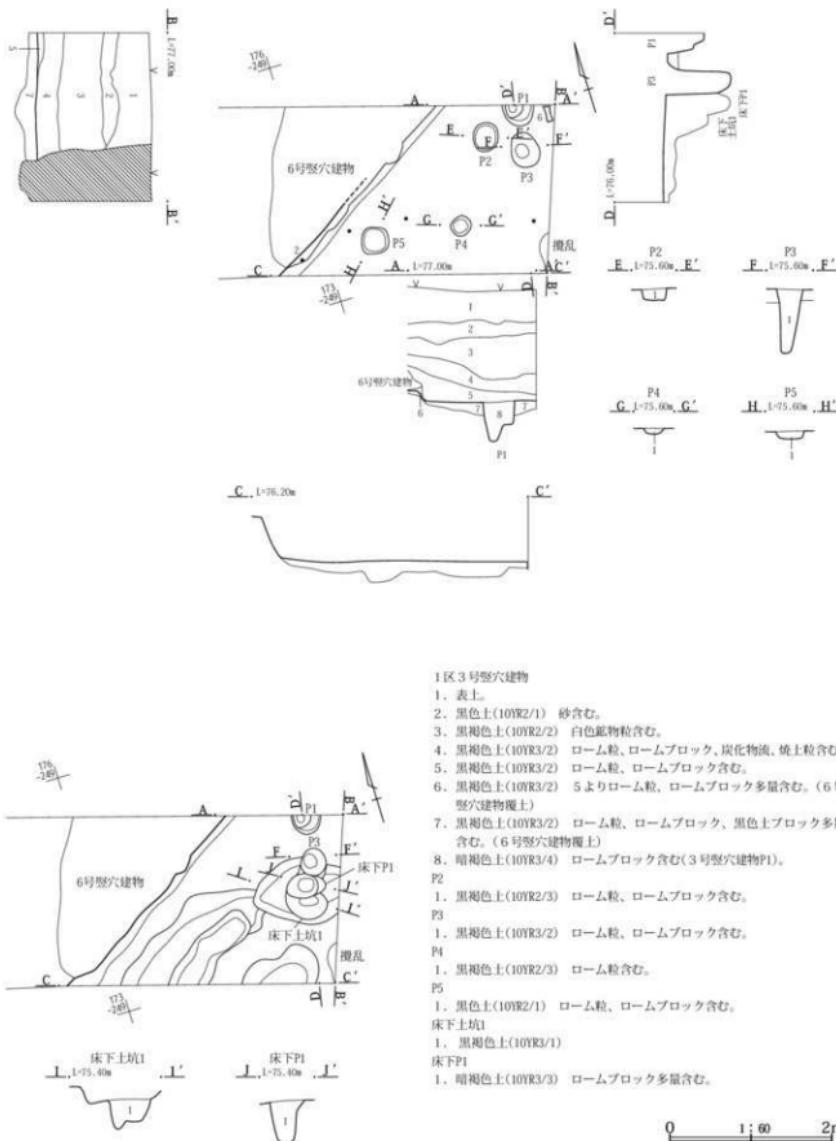


第13図 2区2号竪穴建物縫・出土遺物(1)

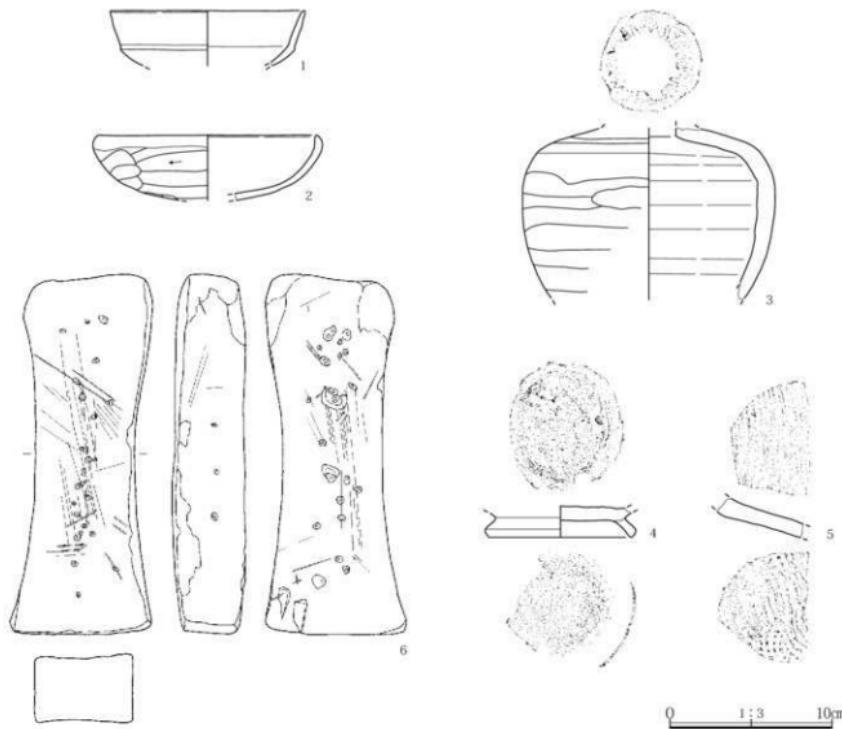


第14図 2区 2号竖穴建物出土遺物(2)

1区3号竪穴建物

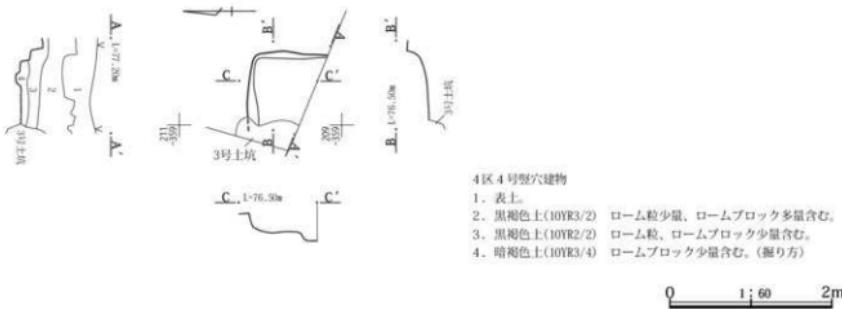


第15図 1区3号竪穴建物



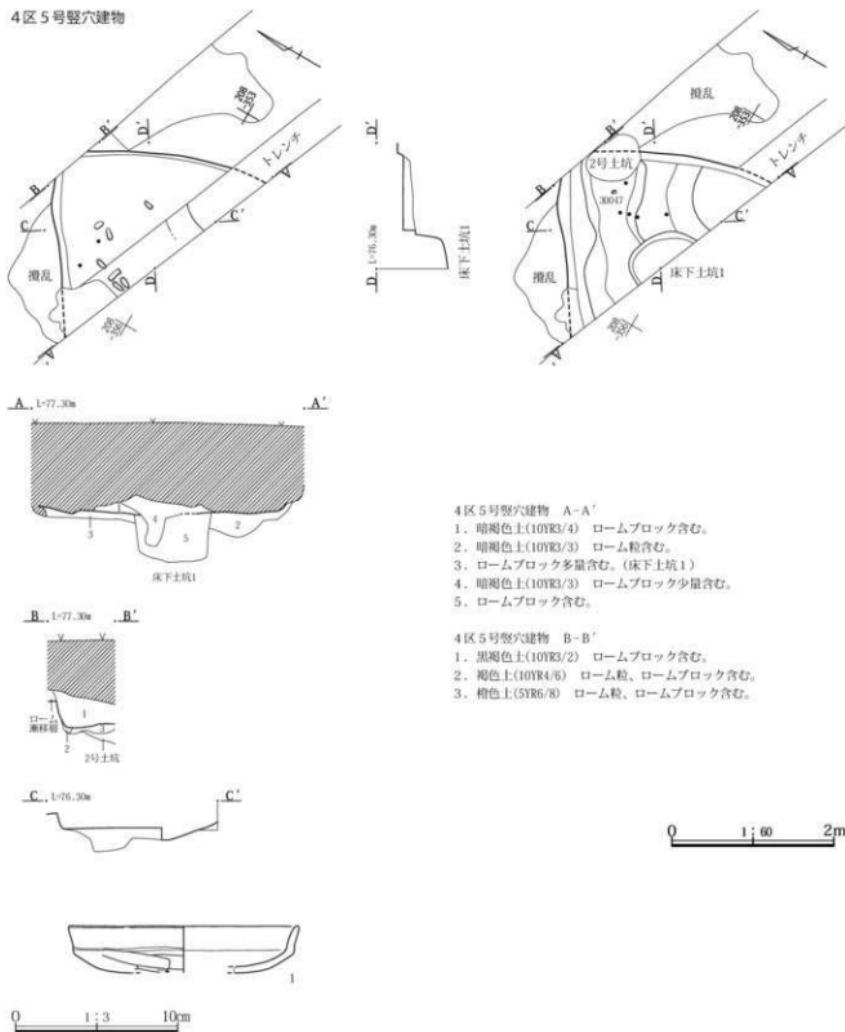
第16図 1区3号竪穴建物出土遺物

4区4号竪穴建物



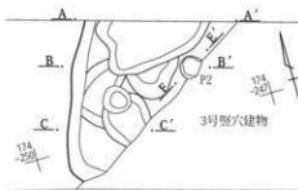
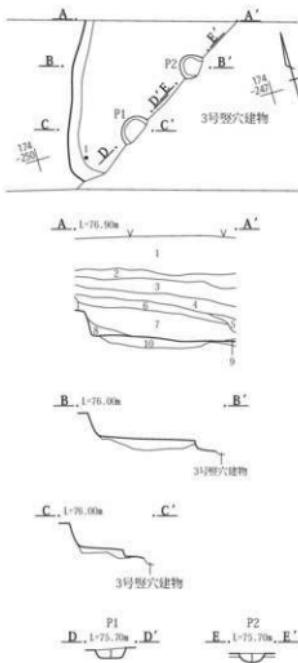
第17図 4区4号竪穴建物

4区 5号竖穴建物



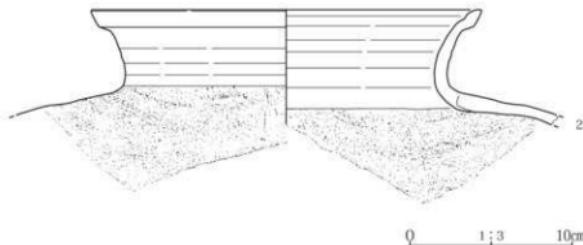
第18図 4区 5号竖穴建物

1区 6号竪穴建物



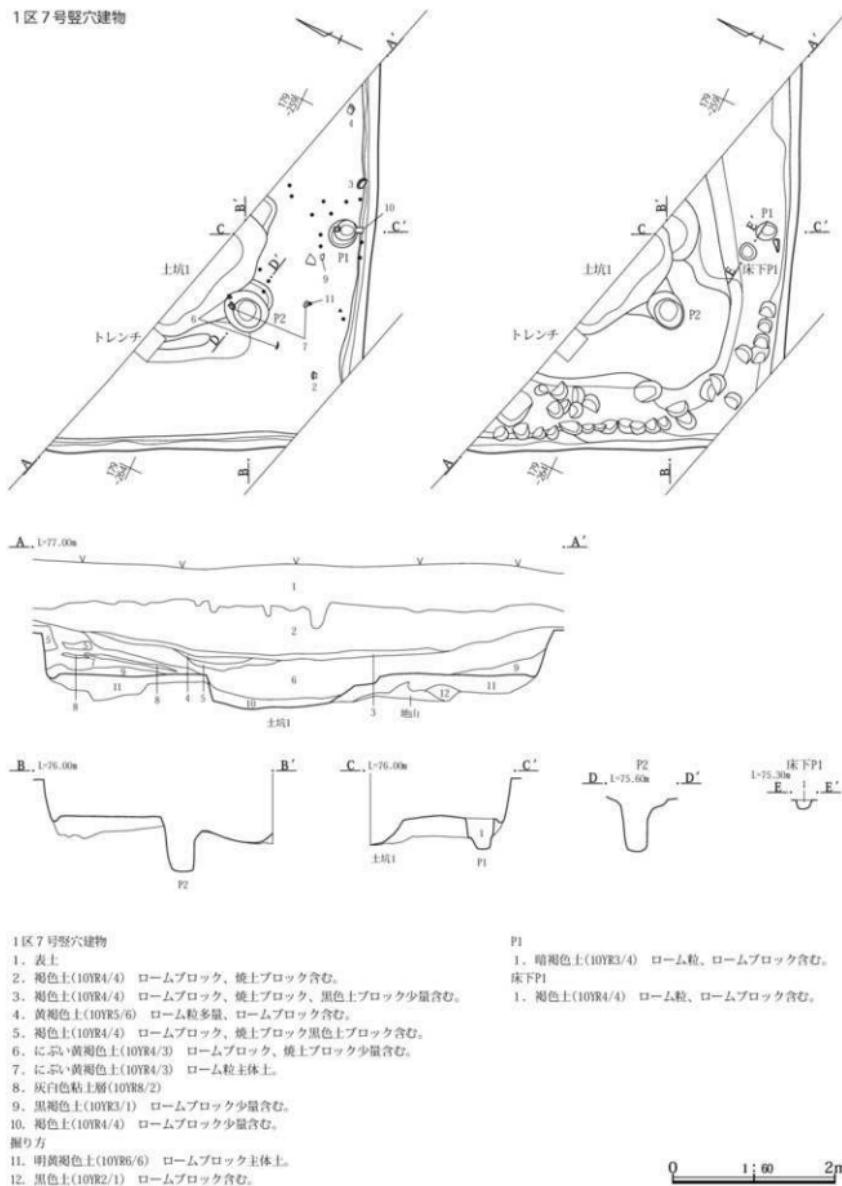
1区 6号竪穴建物

1. 表土。
2. 黒色土(10YR2/1) 砂を少量含む。
3. 黒褐色土(10YR2/2) 白色鉛物粒、赤褐色土ブロック含む。
4. 黑褐色土(10YR3/2) ローム粒、ロームブロック、炭化物、焼土粒含む。
5. 黑褐色土(10YR3/2) ローム粒、ロームブロック含む。
6. 黑褐色土(10YR3/2) ローム粒、ロームブロック含む。
7. 黑褐色土(10YR3/2) ローム粒、ロームブロック多量、黒色土ブロック含む。
8. 喀褐色土(10YR3/3) ローム粒、ロームブロック含む。
9. 喀褐色土(10YR3/3) ローム粒、ロームブロック多量含む。
10. 褐色土(10YR4/6) ローム粒、ロームブロック含む。

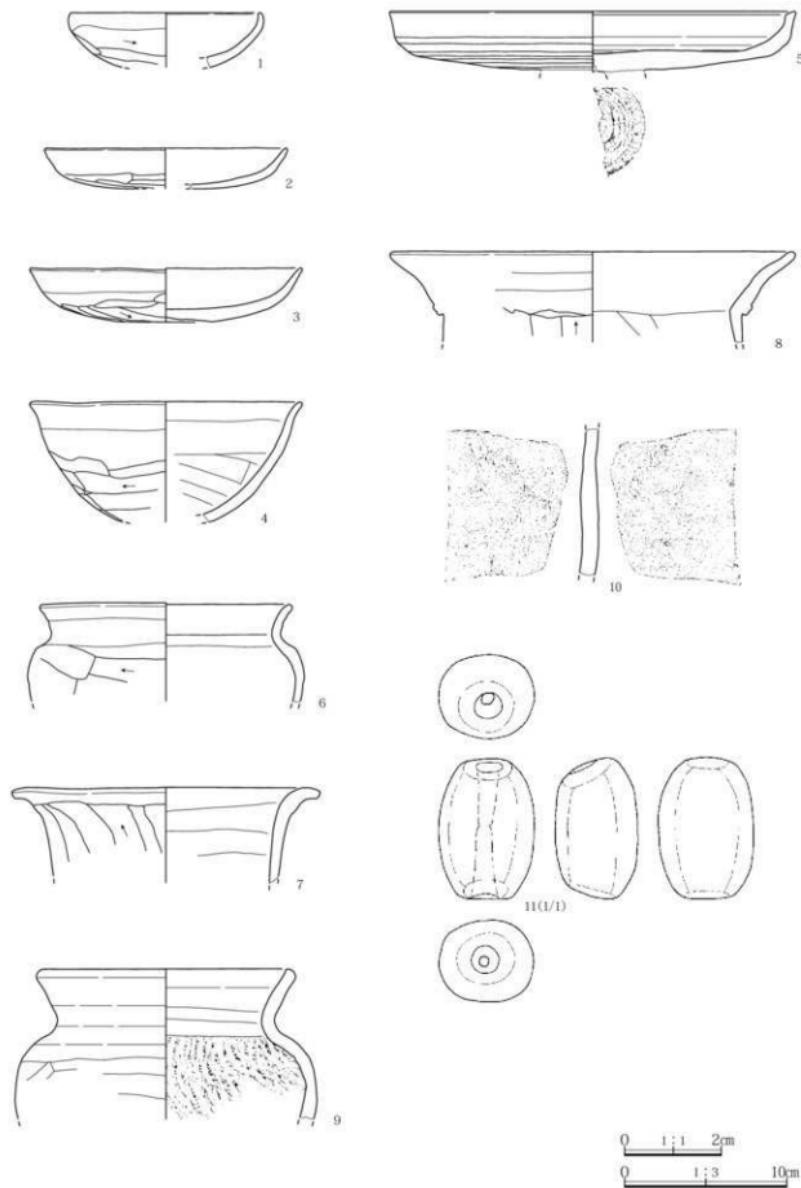


第19図 1区 6号竪穴建物

1区7号竖穴建物

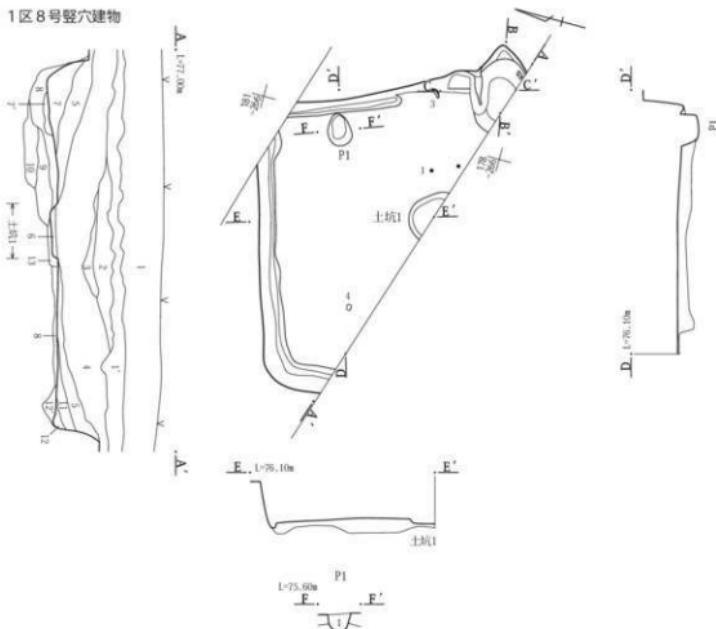


第20図 1区7号竖穴建物



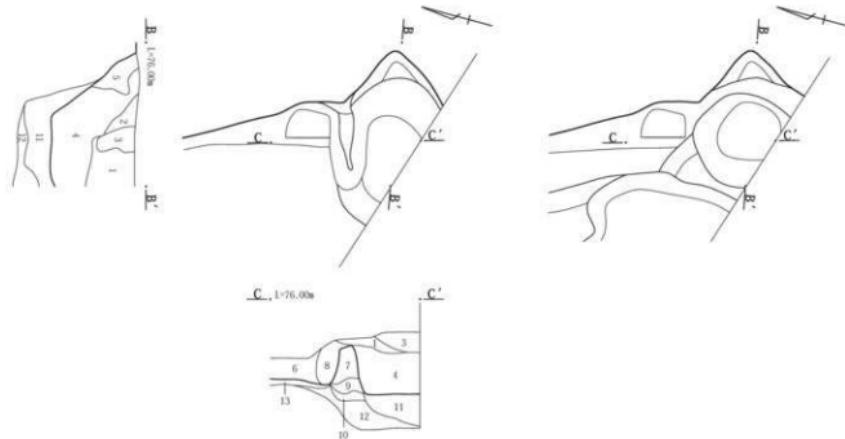
第21図 1区7号竪穴建物出土遺物

1区 8号竪穴建物



0 1:60 2m

第22図 1区 8号竪穴建物

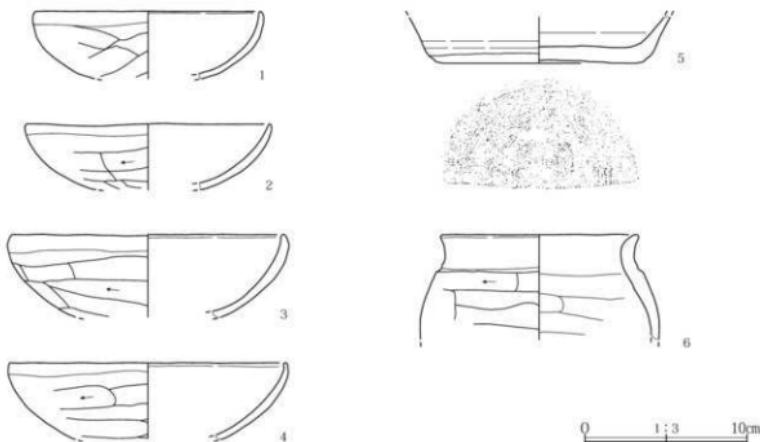


1区 8号竪穴建物図

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 焼土粒、焼土ブロック少量含む。
2. にぶい黄褐色土(10YR5/4)
3. にぶい黄褐色土(10YR6/3) 粘土ブロック含む。
4. にぶい黄褐色土(10YR6/3) 焼土ブロックの崩落土含む。
5. 黄褐色土(10YR5/2) 粘土・焼土ブロック含む。
6. 黒褐色土(10YR2/2) 瓦の崩落土。粘土ブロック、ロームブロック含む。
7. にぶい黄褐色土(10YR6/3) 黄褐色粘土塊、礎出材の一部。

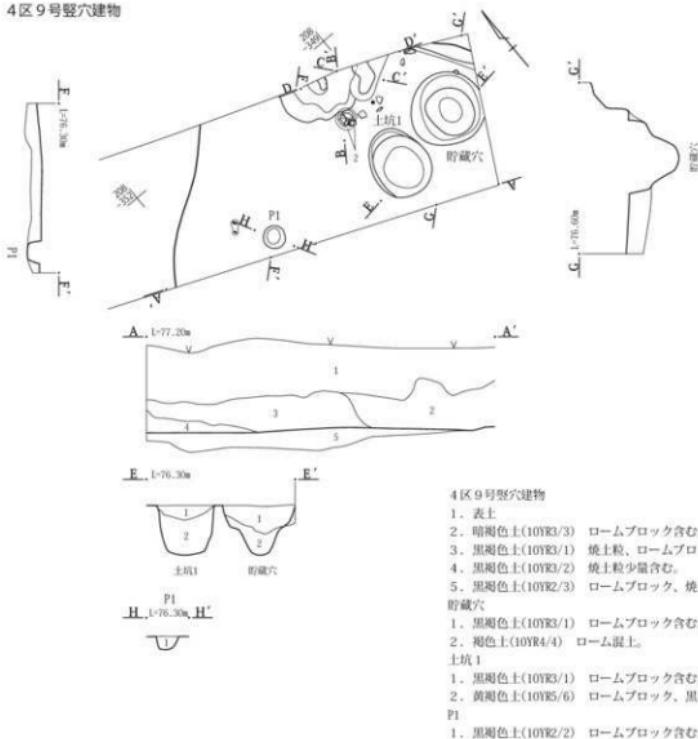
8. にぶい黄褐色土(10YR6/3) 黄褐色粘土塊、袖材。
9. にぶい黄褐色土(10YR6/3) 黄褐色粘土塊、袖材と焼土塊が混じる。
10. 9層と同じだが黒色土が混じる。
11. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 焼土ブロック、粘土ブロック軸材の粘土の崩落土。
12. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 焼土ブロック、粘土ブロック、黒色土ブロック混土。
13. にぶい黄褐色土(10YR4/3)

0 1:30 1m



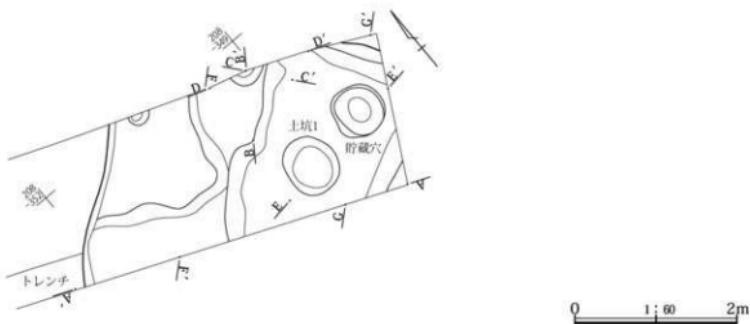
第23図 1区 8号竪穴建物図・出土遺物

4区 9号竪穴建物

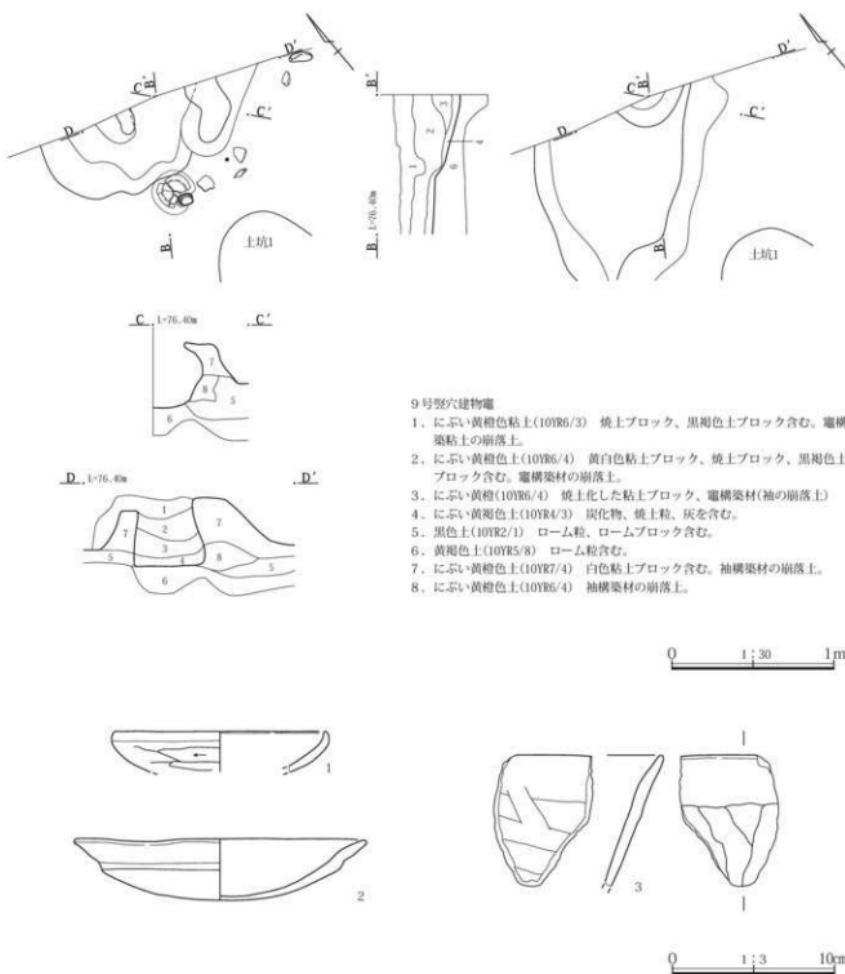


4区 9号竪穴建物

1. 表上
2. 暗褐色土 (10YR3/3) ロームブロック含む。
3. 黑褐色土 (10YR3/1) 燃土粒、ロームブロック少量含む。
4. 黑褐色土 (10YR3/2) 燃土粒少量含む。
5. 黑褐色土 (10YR2/3) ロームブロック、焼土ブロック含む。
- 貯藏穴
 1. 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック含む。
 2. 褐色土 (10YR4/4) ローム混上。
- 土坑1
 1. 黒褐色土 (10YR3/1) ロームブロック含む。
 2. 黄褐色土 (10YR5/6) ロームブロック、黒色土ブロック含む。
- P1
 1. 黑褐色土 (10YR2/2) ロームブロック含む。

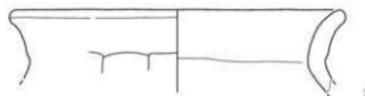
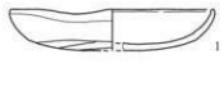
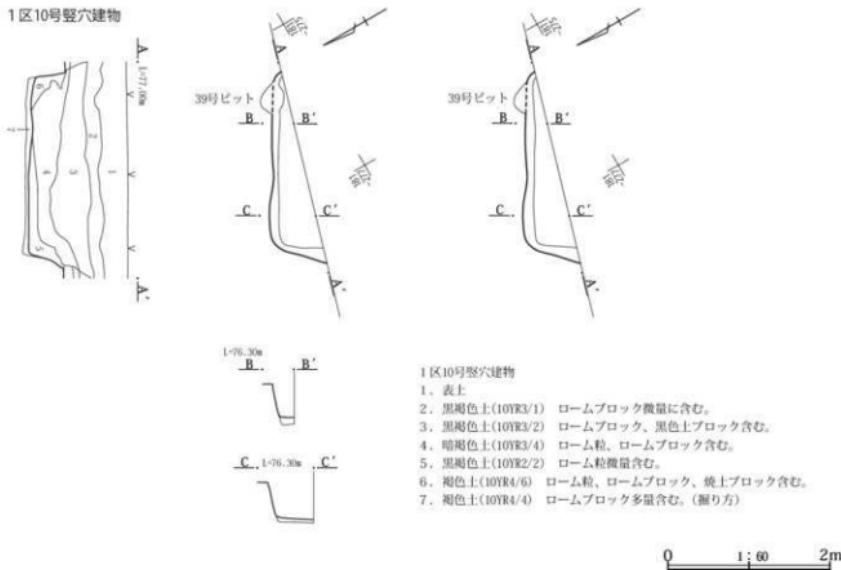


第24図 4区 9号竪穴建物



第25図 4区 9号堅穴建物図・出土遺物

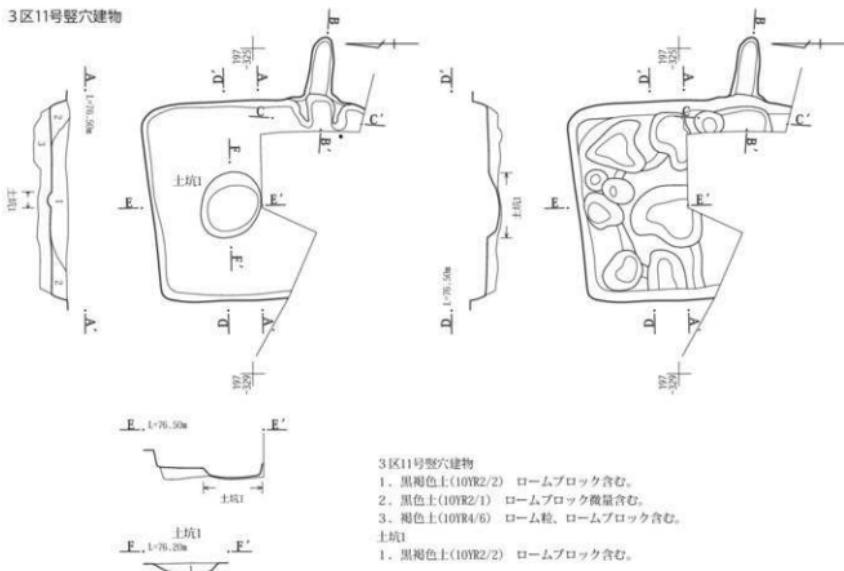
1区10号竪穴建物



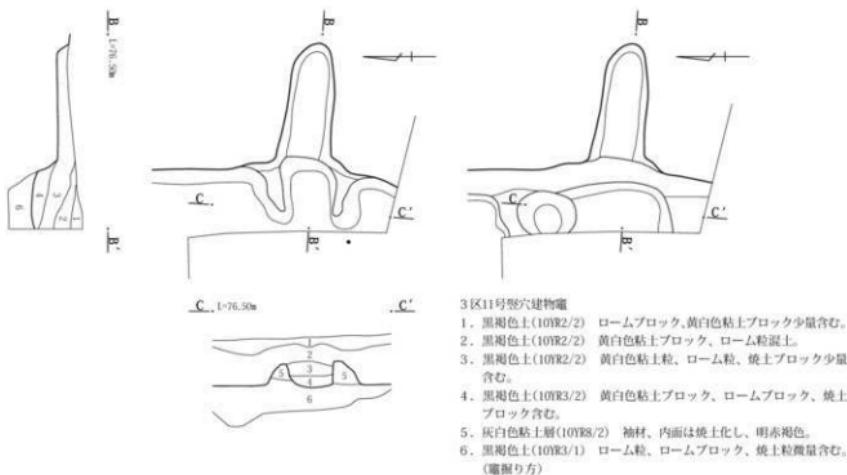
0 1:3 10cm

第26図 1区10号竪穴建物

3区11号竪穴建物



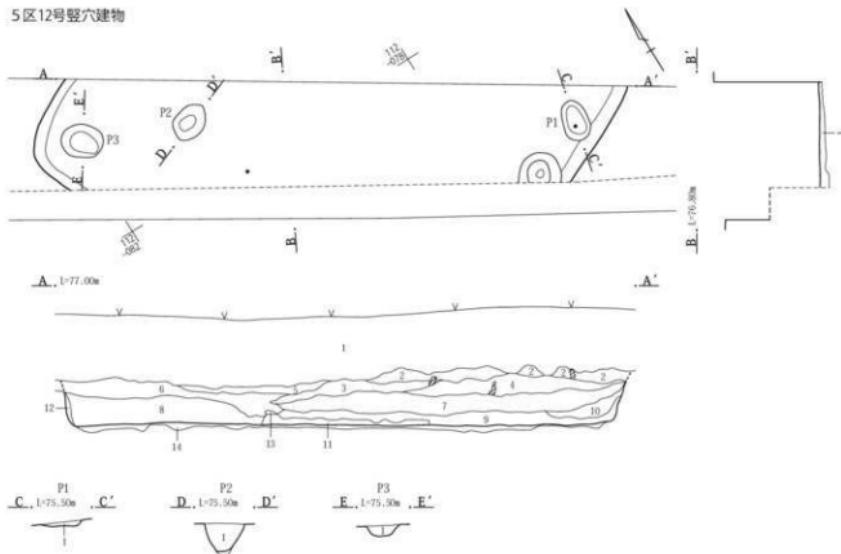
0 1:60 2m



0 1:30 1m

第27図 3区11号竪穴建物

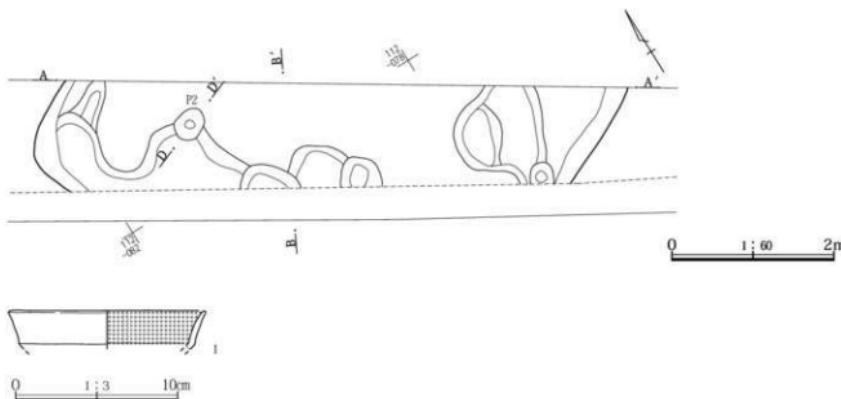
5区12号竖穴建物



5区12号竖穴建物

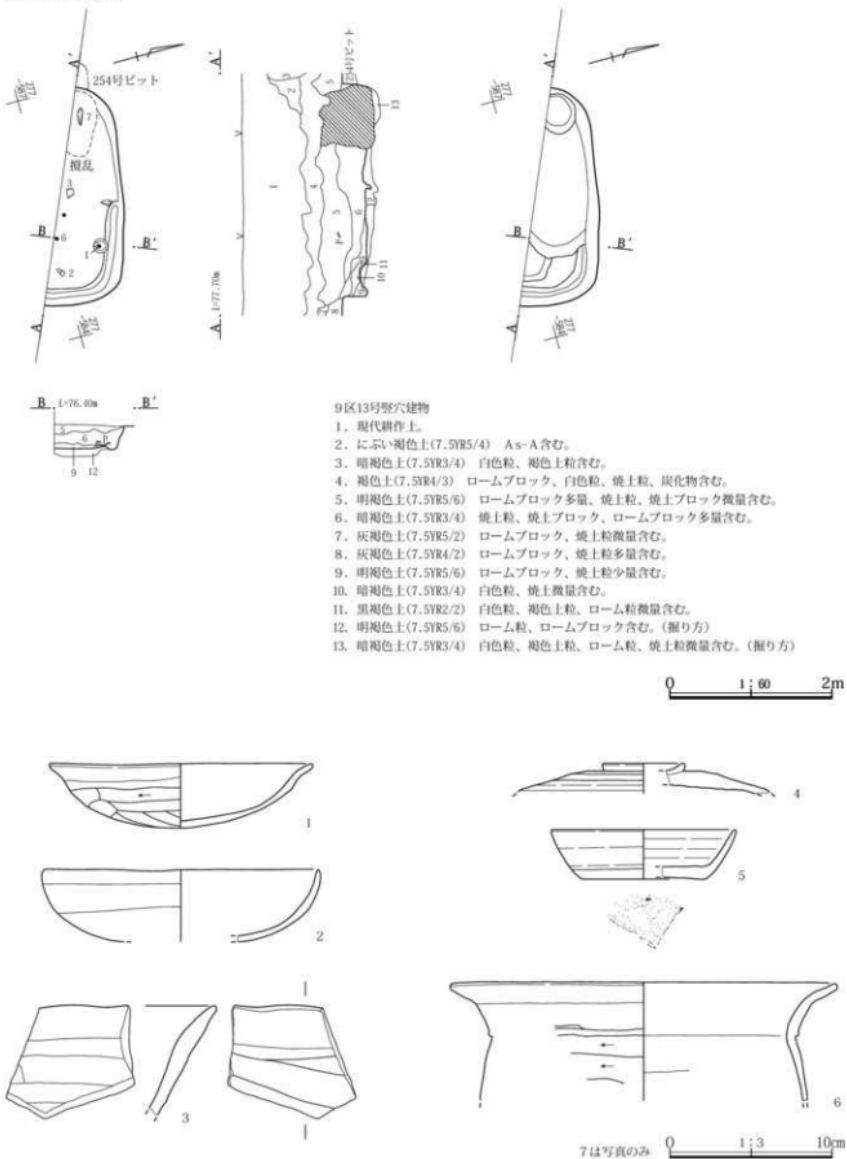
1. 表土
2. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒少量、白色粒、橙色粒含む。
3. 黑褐色土(10YR3/1) ローム粒多量、褐色土粒少量含む。
4. にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム粒、橙白色粒、黑褐色土粒含む。
5. 黑褐色土(10YR3/2) ローム粒、ロームブロック。橙白色粒含む。
6. 明黄褐色土(10YR6/6) ローム粒、ロームブロック多量、褐色土ブロック少量含む。
7. 黄褐色土(10YR5/6) ローム粒、ロームブロック多量、褐色土粒少量含む。
8. にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム粒、ロームブロック多量、褐色土粒少量含む。

9. 黄褐色土(10YR8/6) ローム粒、ロームブロック多量、褐色土粒少量含む。
 10. 黑褐色土(10YR3/1) ローム粒、黑色土粒含む。
 11. にぶい黄褐色土(10YR5/3) ローム粒、ロームブロック、黑褐色土粒少量含む。
 12. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒微量含む。
 13. 黄褐色土(10YR8/6) ロームブロック主体上。
 14. 明黄褐色土(10YR7/6) ローム主体、暗褐色土ブロック少量含む。(掘り方)
- P1・2・3
1. 黑褐色土(10YR3/1) ローム粒、ロームブロック含む。



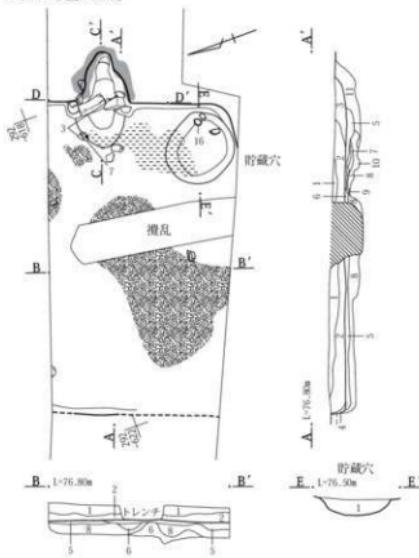
第28図 5区12号竖穴建物

9区13号竪穴建物



第29図 9区13号竪穴建物

9区14号竪穴建物



9区14号竪穴建物

- 暗褐色土(7.5YR3/4) 白色粒、褐色粒、燒土粒、炭化物粒微量含む。
- 暗褐色土(7.5YR3/4) 白色粒、褐色粒、燒土粒微量含む。
- 灰褐色土(7.5YR6/2) 燒土粒ブロック含む、窓内崩落土。
- 暗褐色土(7.5YR3/3) ローム粒多量、白色粒、褐色粒、燒土粒微量含む。
- 暗褐色土(7.5YR3/4) 燃土粒、灰白色粘土ブロック含む。
- 灰白色土(7.5YR8/1) 燃土粒、燒土粒、燒土ブロック含む。

7. 灰白色土(7.5YR8/1) 6に灰が混じる。

8. 暗褐色土(7.5YR3/4) 燃土粒、灰白色粘土ブロック含む。

9. 暗褐色土(7.5YR3/4) 燃土粒、灰白色粘土ブロック、炭化物微量含む。

10. 明褐色土(7.5YR5/6) 燃土ブロック、黄褐色ブロック含む。

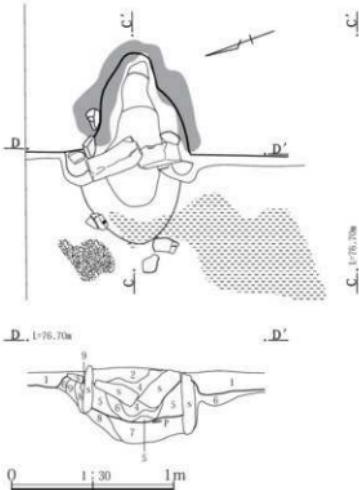
11. 暗褐色土(7.5YR3/4) 燃土ブロック、黄褐色ブロック多量含む。

貯藏穴

1. 暗褐色土(7.5YR3/4) 白色粒、褐色粒、燒土粒微量含む。

12. 明褐色土(7.5YR5/6) 燃土ブロック、黄褐色ブロック含む。

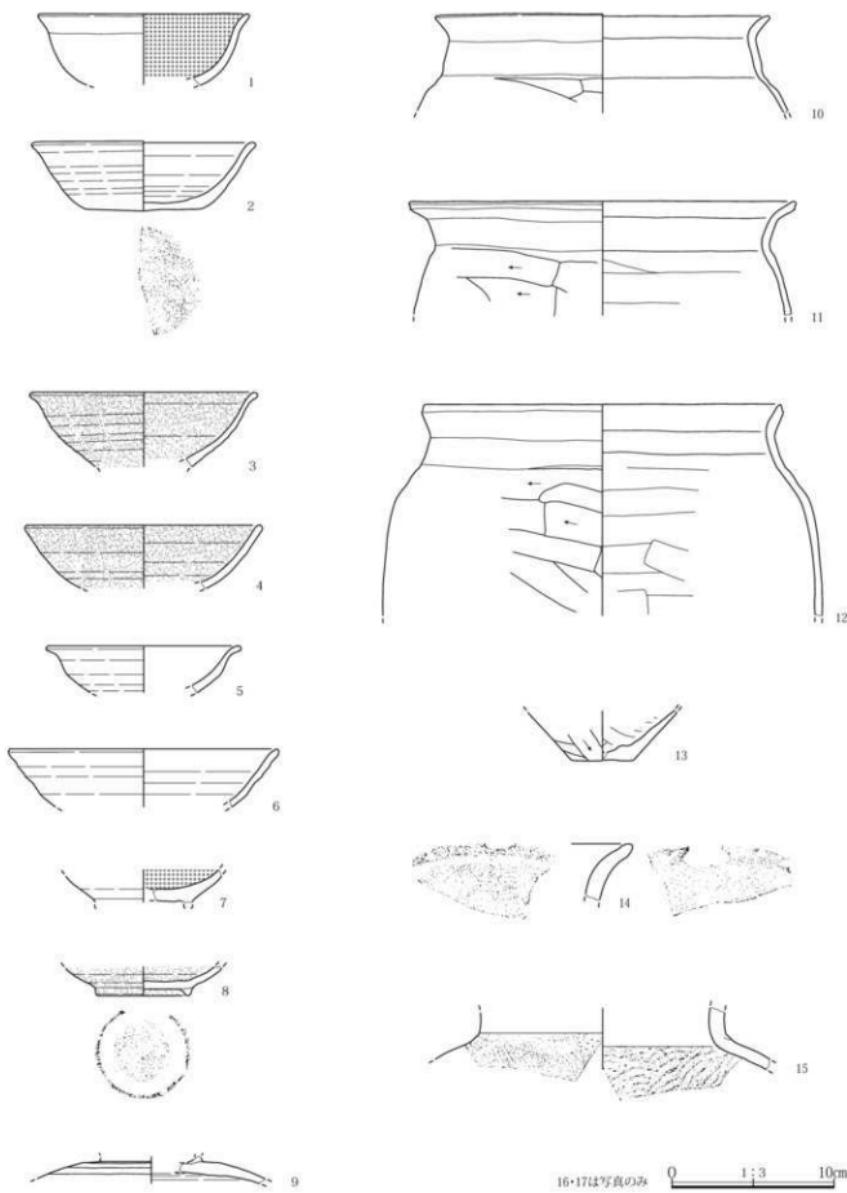
0 1:60 2m



9区14号竪穴建物

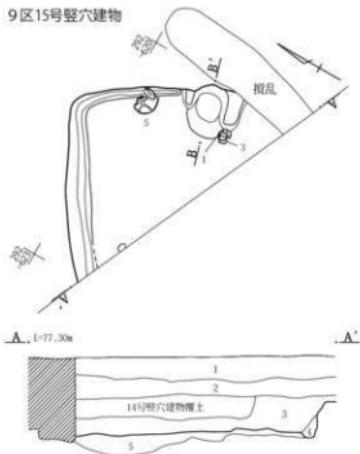
- 暗褐色土(7.5YR3/4) 白色粒、褐色粒、燒土粒、ローム粒、炭化物粒微量含む。
- にぶい褐色土(7.5YR5/3) 明黃褐色粒、ブロック多量、燒土粒微量含む。
- 暗褐色土(7.5YR3/4) 燃土ブロック、炭化物粒を含む。
- 橙色土(7.5YR4/6) 燃土。
- 明褐色土(7.5YR5/6) 燃土粒、焼土ブロック多量、明黃褐色ブロック少量含む。
- にぶい褐色土(7.5YR5/3) 燃土粒微量、明褐色粒多量含む。
- にぶい褐色土(7.5YR6/3) 燃土粒、燒土ブロック、明褐色ブロック。灰を含む。
- 灰褐色土(7.5YR4/2) 燃土ブロック、ロームブロック多量、灰含む。
- 明褐灰土土(7.5YR7/1) 粘土ブロック多量に含む。

第30図 9区14号竪穴建物



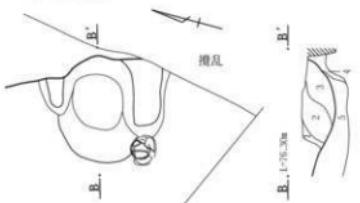
第31図 9区14号整穴建物出土遺物

9区15号竪穴建物



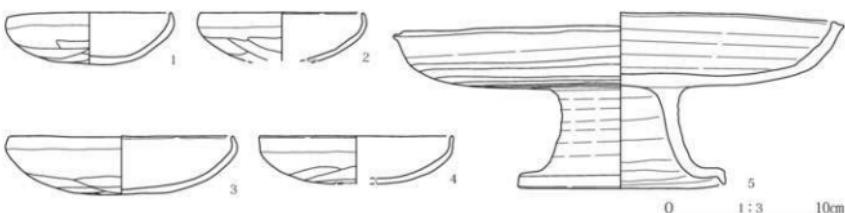
9区15号竪穴建物

- 暗褐色土(7.5YR3/4) 白色粒、褐色粒、燒土粒、炭化物含む。
- 暗褐色土(7.5YR3/4) 燒土粒、褐色粒、ロームブロック含む。
- 暗褐色土(7.5YR3/4) ローム粒、褐色粒含む。
- に赤い褐色土(7.5YR5/4) ローム粒多量、褐色粒微量含む。
- 明褐色土(7.5YR5/6) 烧土粒、炭化物粒、ローム粒多量、ロームブロック含む。



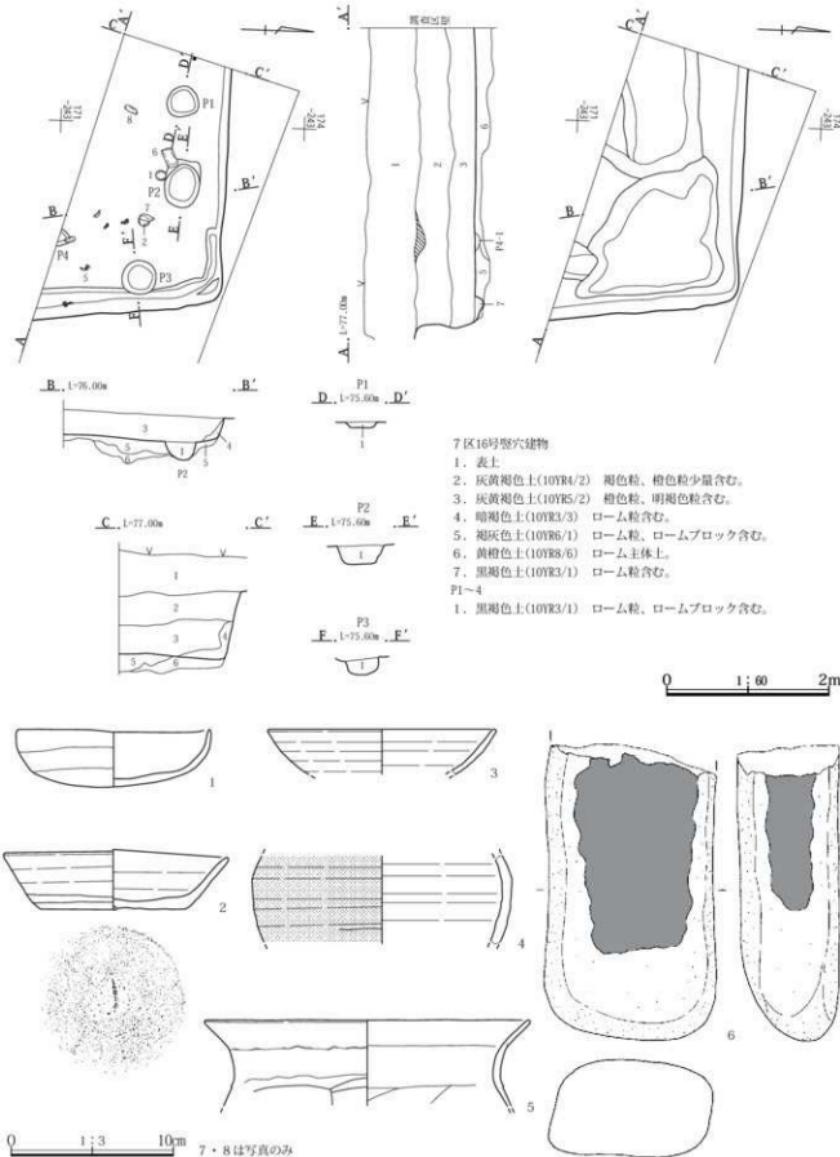
9区15号竪穴建物

- 褐灰色土(7.5YR6/1) 炭化物粒、焼土粒含む。
- に赤い褐色土(7.5YR7/3) 烧土粒、焼土ブロック含む。
- に赤い褐色土(7.5YR5/3) 烧土粒、焼土ブロック、炭化物含む。
- に赤い褐色土(7.5YR6/3) 烧土粒、焼土ブロック、ローム粒、ロームブロック含む。
- に赤い褐色土(7.5YR6/3) 烧土ブロック、粘土ブロック少量、ローム粒、粘土ブロック多量含む。



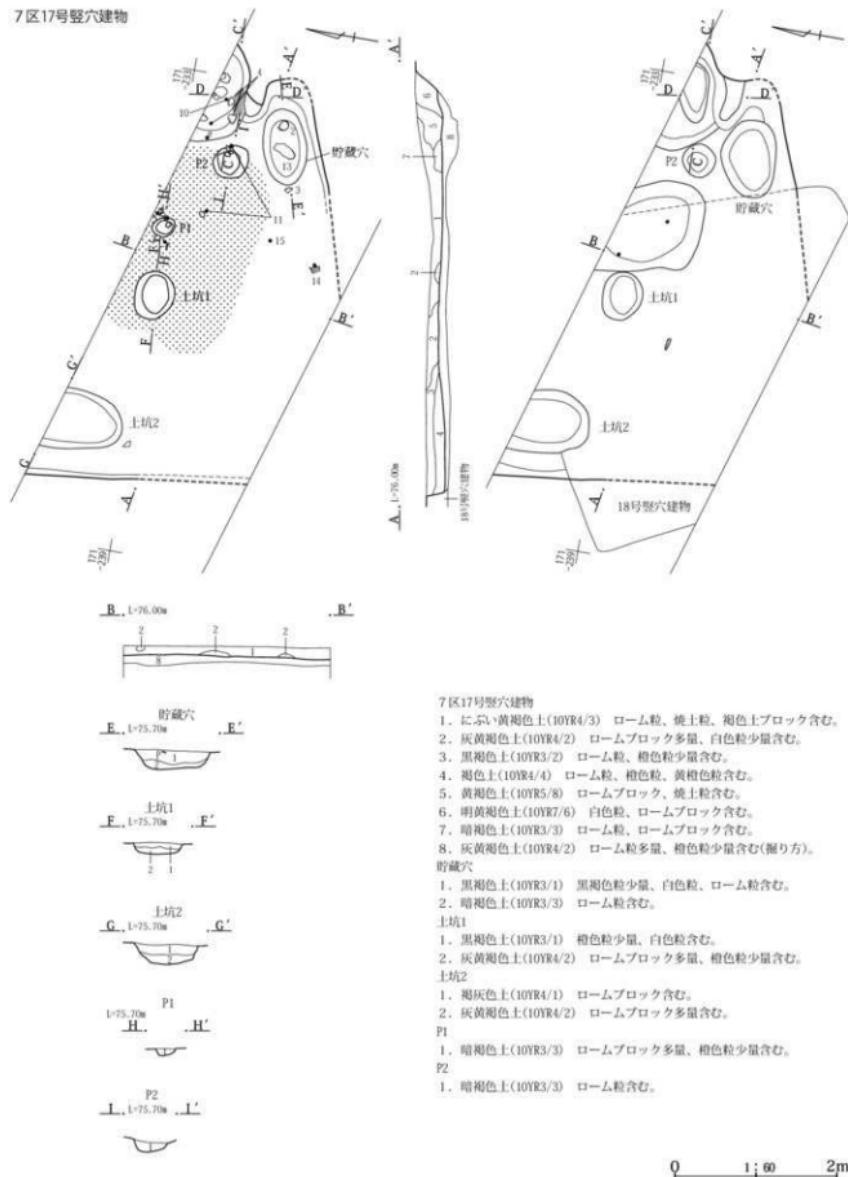
第32図 9区15号竪穴建物

7区16号竪穴建物



第33図 7区16号竪穴建物

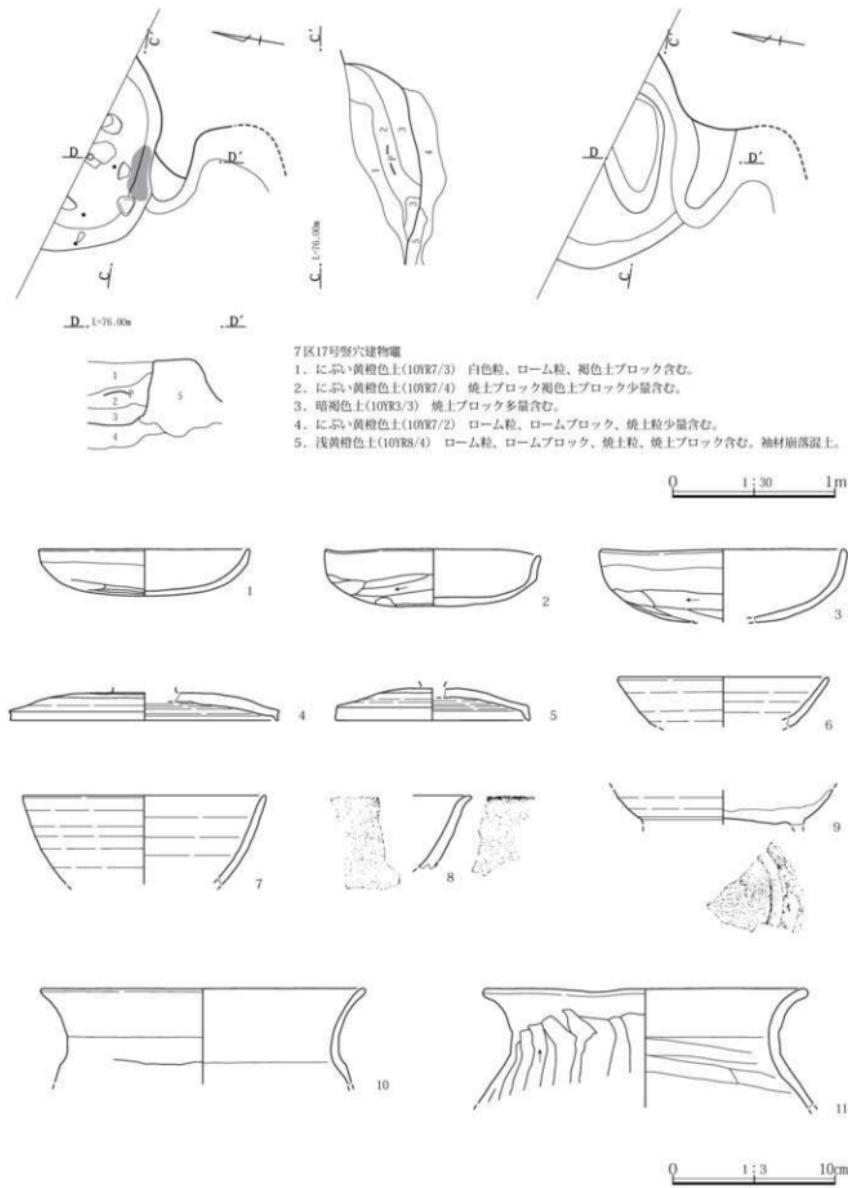
7区17号竖穴建物



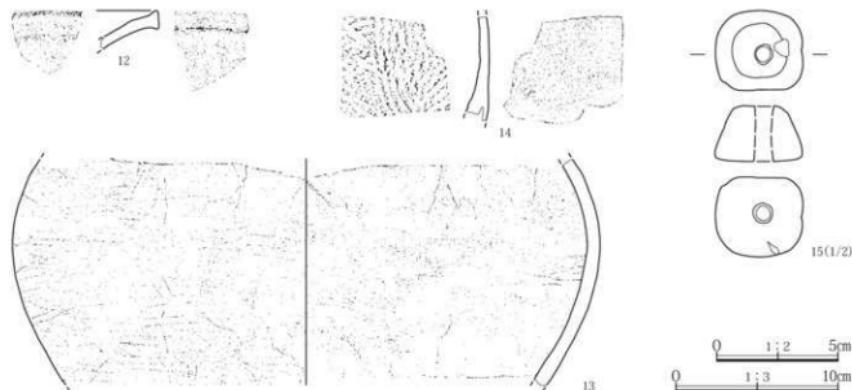
7区17号竖穴建物

1. にふい黄褐色土(10YR4/3) ローム粒、褐土粒、褐色土ブロック含む。
 2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ロームブロック多量、白色粒少量含む。
 3. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒、橙色粒少量含む。
 4. 褐色土(10YR4/4) ローム粒、橙色粒、黄褐色粒含む。
 5. 黄褐色土(10YR5/8) ロームブロック、焼土粒含む。
 6. 明黄褐色土(10YR7/6) 白色粒、ロームブロック含む。
 7. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒、ロームブロック含む。
 8. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒多量、橙色粒少量含む(掘り方)。
- 貯藏穴**
1. 黑褐色土(10YR3/1) 黑褐色粒少量、白色粒、ローム粒含む。
 2. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒含む。
- 土坑1**
1. 黑褐色土(10YR3/1) 橙色粒少量、白色粒含む。
 2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ロームブロック多量、橙色粒少量含む。
- 土坑2**
1. 褐灰色土(10YR4/1) ロームブロック含む。
 2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ロームブロック多量含む。
- P1**
1. 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック多量、橙色粒少量含む。
- P2**
1. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒含む。

第34図 7区17号竖穴建物

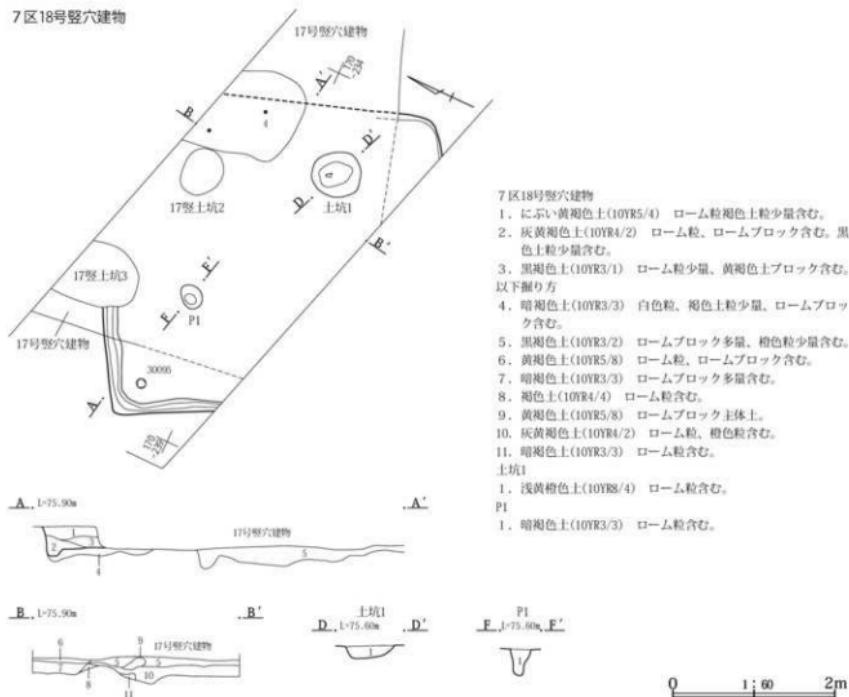


第35図 7区17号竪穴建物縫・出土遺物(1)

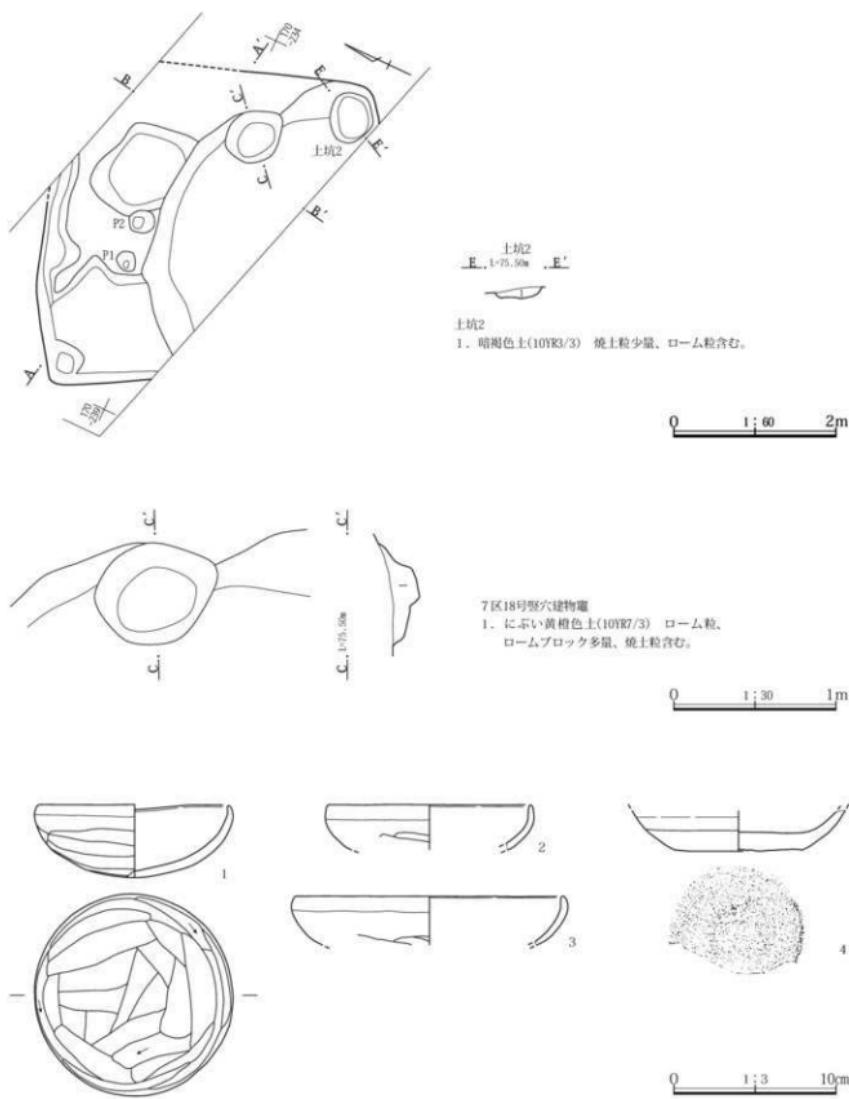


第36図 7区17号竪穴建物出土遺物(2)

7区18号竪穴建物

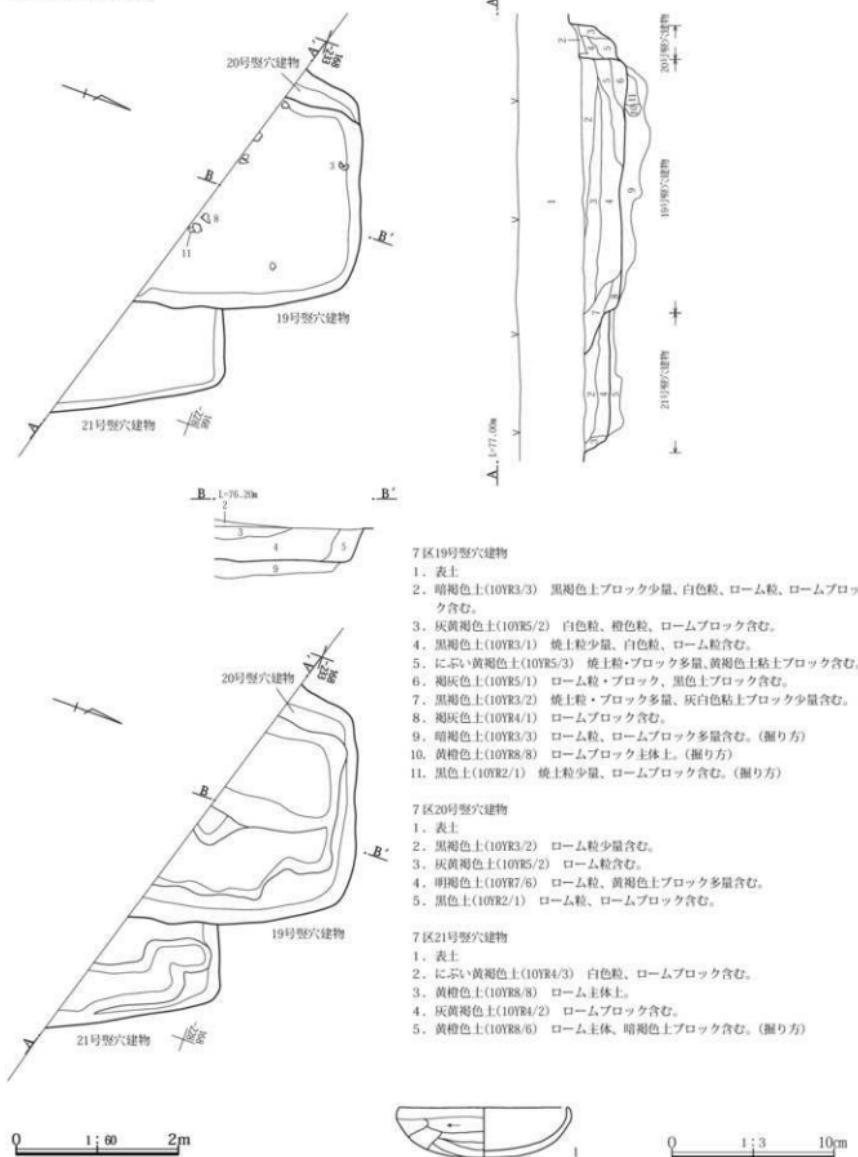


第37図 7区18号竪穴建物

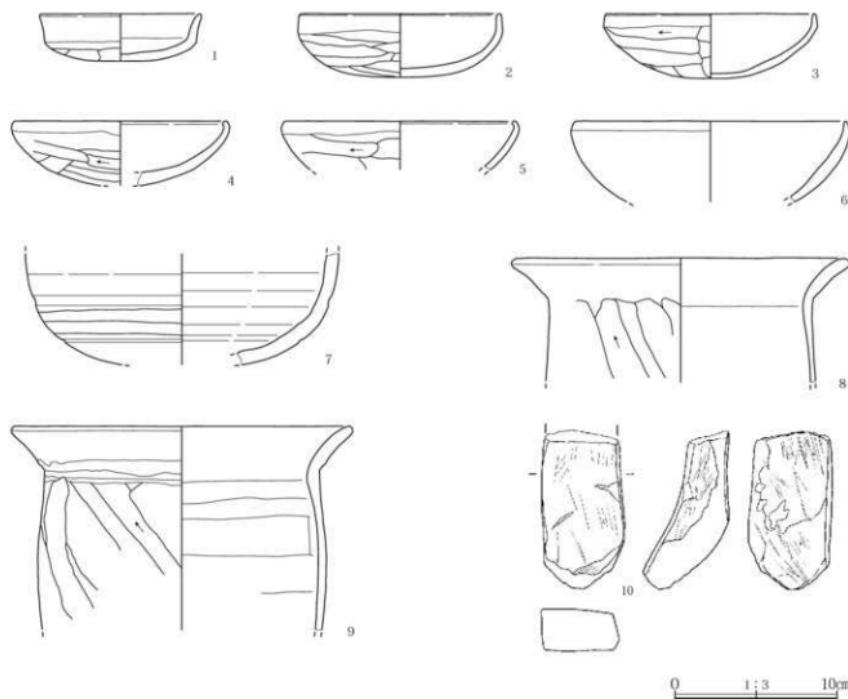


第38図 7区18号堅穴建物掘り方・竪・出土遺物

7区19~21号竪穴建物

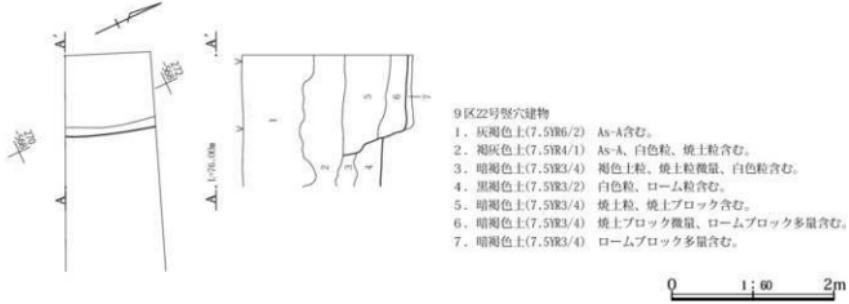


第39図 7区19~21号竪穴建物、20号竪穴建物出土遺物



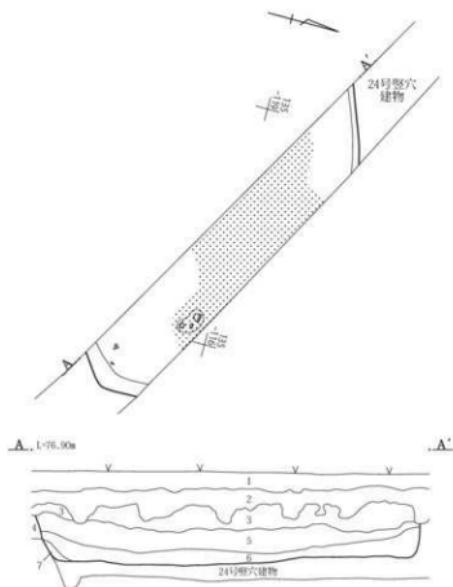
第40図 7区19号竪穴建物出土遺物

9区22号竪穴建物



第41図 9区22号竪穴建物

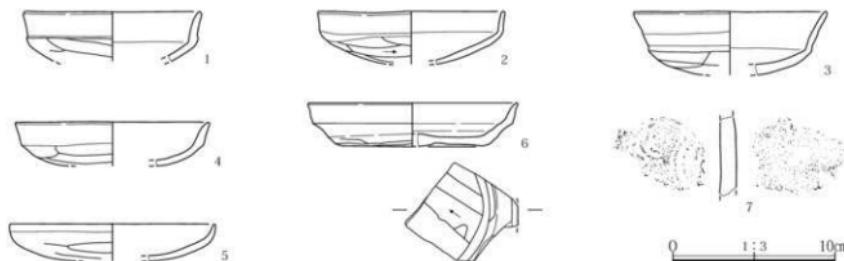
6区23号竪穴建物



6区23号竪穴建物

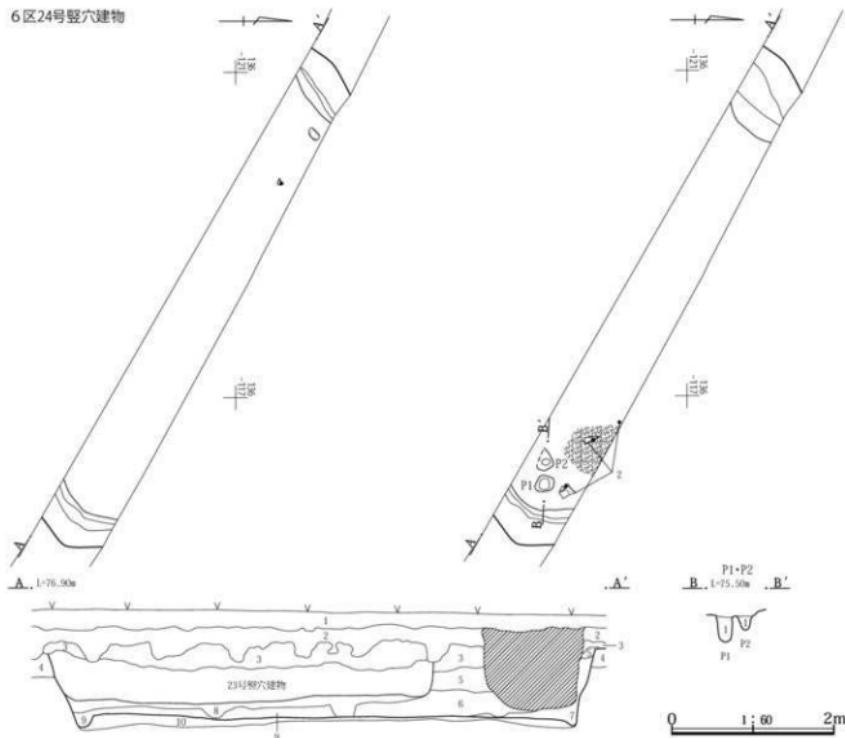
1. 耕作土
2. 灰褐色土(7.5YR5/2) 白色粒、As-A含む。
3. 暗褐色土(7.5YR3/4) 白色粒、褐色粒、ロームブロック微量に含む。
4. 暗褐色土(7.5YR3/4) 白色粒、褐色粒微量、ローム粒含む。
5. 暗褐色土(7.5YR3/4) 白色粒、褐色粒微量、ロームブロック、燒土粒含む。
6. 暗褐色土(7.5YR3/4) 白色粒、褐色粒、ロームブロック、燒土粒、白色粘土ブロック少量含む。
7. 暗褐色土(7.5YR3/4) ローム粒、褐色粒微量含む。

0 1:60 2m



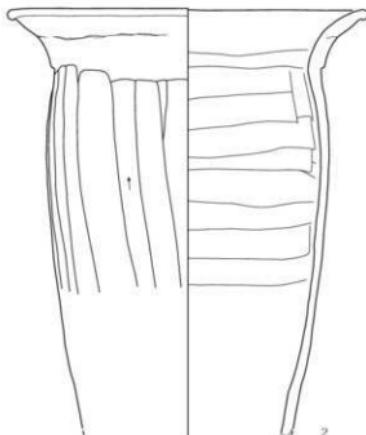
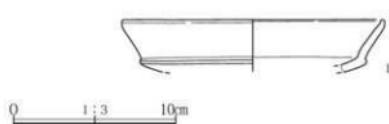
第42図 6区23号竪穴建物

6区24号竪穴建物



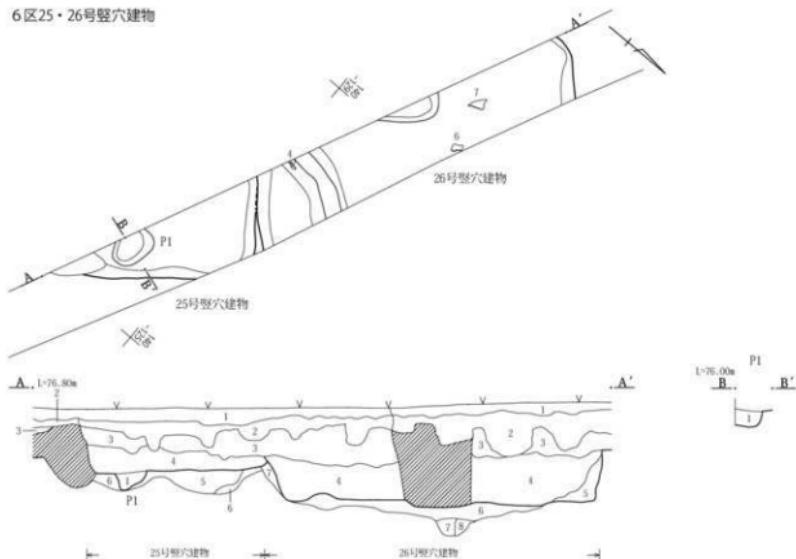
6区24号竪穴建物

- 耕作土
 - 灰褐色土(7.5YR5/2) 白色粒、As-A含む。
 - 暗褐色土(7.5YR3/4) 白色粒、褐色粒、ロームブロック含む。
 - 暗褐色土(7.5YR3/4) 白色粒、褐色粒微量、ロームブロック含む。
 - 暗褐色土(7.5YR3/4) 白色粒、褐色粒、燒土粒微量含む。
 - 暗褐色土(7.5YR3/4) 白色粒、褐色粒、ローム粒、燒土粒微量含む。
 - 褐色土(7.5YR4/3) ローム粒多量含む。
 - 暗褐色土(7.5YR3/4) 炭化物微量、燒土粒、ローム粒含む。
 - 灰白色粘土ブロック、燒土ブロック、ロームブロック多量、炭化物粒微量。灰を含む。
 - 明褐色土(7.5YR5/6) ロームブロック多量含む。
- P1・2
- 褐色土(7.5YR4/3) ローム粒多量含む。



第43図 6区24号竪穴建物

6区25・26号竖穴建物

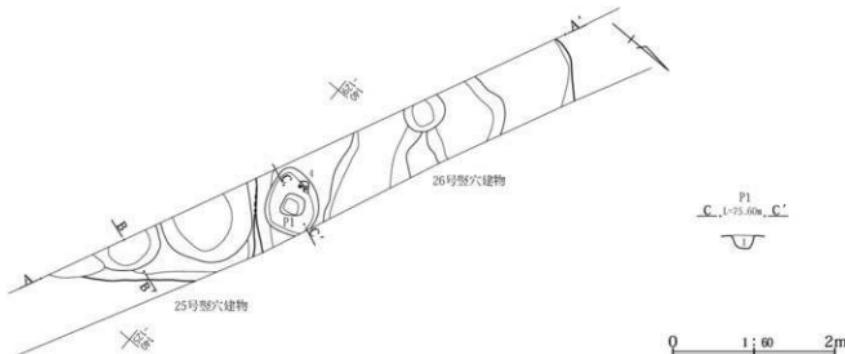


6区25号竖穴建物

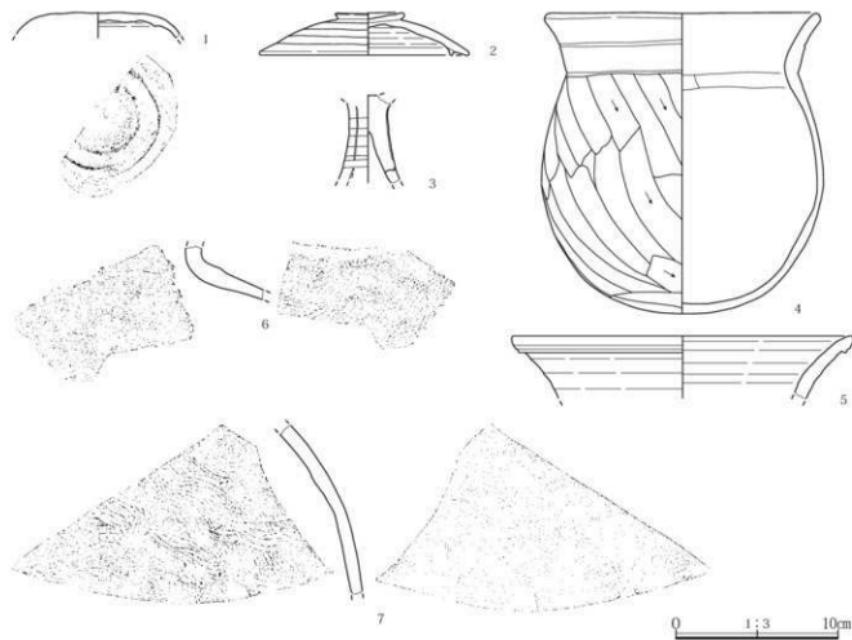
1. 耕作土
 2. 灰褐色土(7.5YR6/2) As-h含む。
 3. 暗褐色土(7.5YR3/3) 灰褐色、ローム粒含む。
 4. 暗褐色土(7.5YR3/3) 燃土粒微量、ローム粒、ロームブロック、褐色粒含む。
 5. 褐色土(7.5YR4/3) ローム粒、ロームブロック含む。(掘り方)
 6. 明褐色土(7.5YR5/6) ローム粒、ロームブロック含む。(掘り方)
- 25号竖穴建物PI - 26号竖穴建物PI
1. 明褐色土(7.5YR5/6) ローム粒、ロームブロック多量含む。

6区26号竖穴建物

1. 耕作土
2. 灰褐色土(7.5YR5/2) 白色粒、As-h含む。
3. 灰褐色土(7.5YR5/2) ロームブロック、燃土粒微量、白色粒、褐色粒含む。
4. 暗褐色土(7.5YR3/3) 燃土粒、炭化物粒微量、ローム粒、ロームブロック、黒褐色粒含む。
5. 褐色土(7.5YR4/4) ローム粒、ロームブロック多量含む。
6. 明褐色土(7.5YR5/6) ローム粒、ロームブロック多量含む。(掘り方)
7. 褐色土(7.5YR4/4) ロームブロック多量含む。(掘り方)
8. 黄褐色土(7.5YR7/8) ロームブロック多量含む。(掘り方)

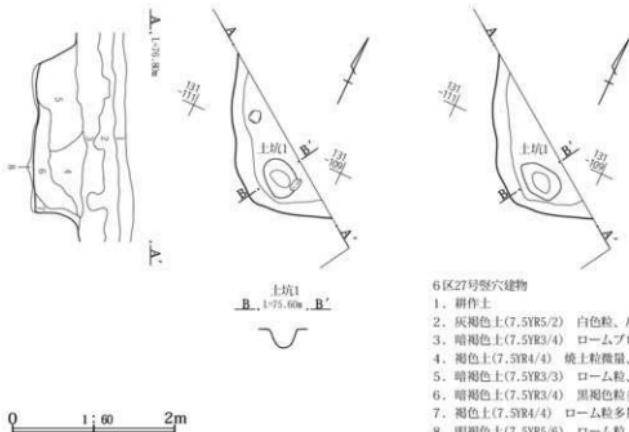


第44図 6区25・26号竖穴建物



第45図 6区26号竪穴建物出土遺物

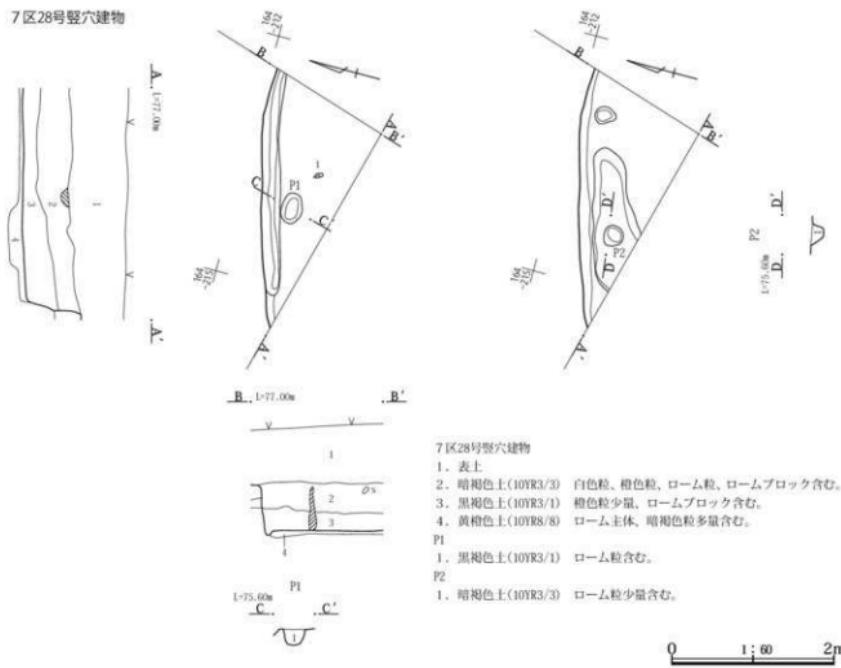
6区27号竪穴建物



第46図 6区27号竪穴建物

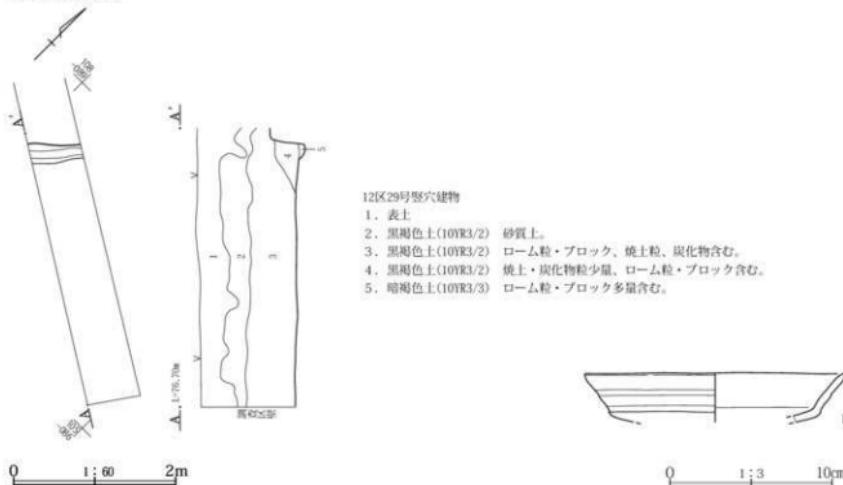
- 6区27号竪穴建物
- 耕作土
 - 灰褐色土(7.5YR5/2) 白色粒、As-h含む。
 - 暗褐色土(7.5YR3/4) ロームブロック微量、白色粒、褐色粒含む。
 - 褐色土(7.5YR4/4) 焙土粒微量、ローム粒、ロームブロック多量含む。
 - 暗褐色土(7.5YR3/3) ローム粒、ロームブロック、黒褐色粒含む。
 - 暗褐色土(7.5YR3/4) 黑褐色粒微量、ローム粒、ロームブロック含む。
 - 褐色土(7.5YR4/4) ローム粒多量含む。
 - 明褐色土(7.5YR5/6) ローム粒、ロームブロック多量含む。(振り方)

7区28号竪穴建物



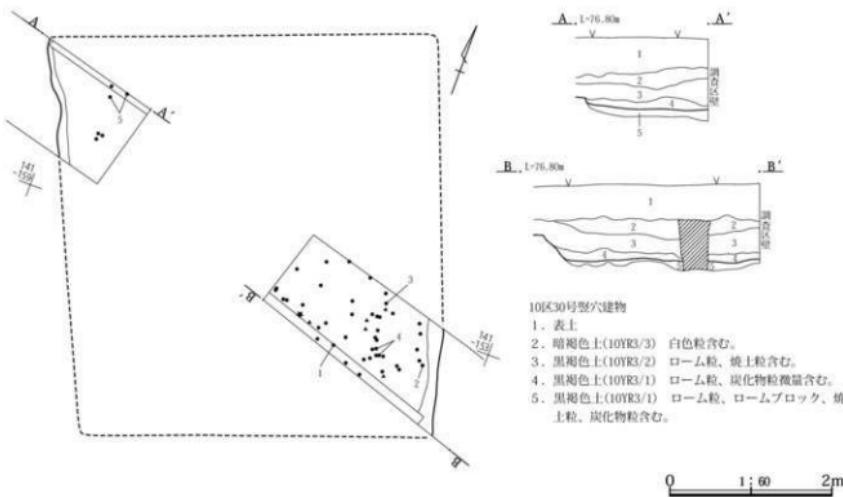
第47図 7区28号竪穴建物

12区29号竪穴建物

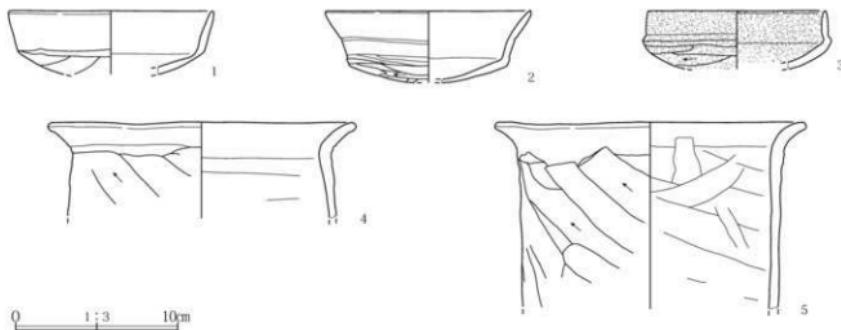


第48図 12区29号竪穴建物

10区30号竪穴建物

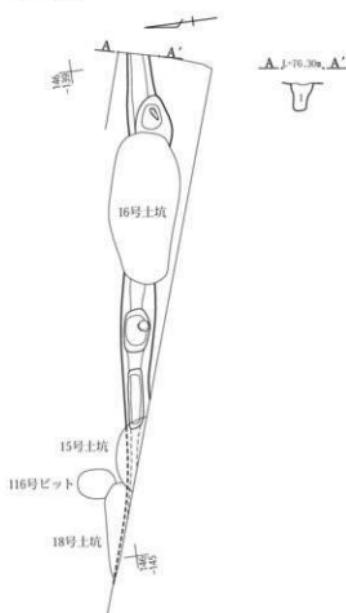


第49図 10区30号竪穴建物

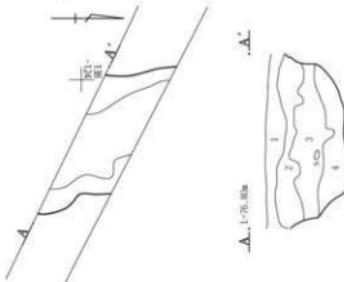


第50図 10区30号竪穴建物出土遺物

6区1号溝



6区2号溝



6区2号溝

1. 破作上
2. 褐灰色土(7.5YR6/1)
3. 暗褐色土(7.5YR3/4) ローム粒、ロームブロック微量含む。
4. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒、ロームブロック多量含む。

6区1号溝

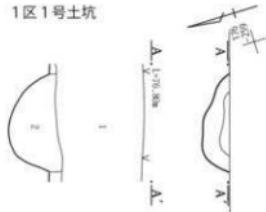
1. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒・ブロック含む。



第51図 6区1・2号溝

第3章 検出された遺構と遺物

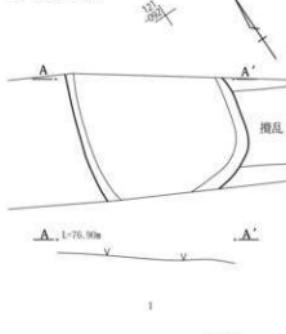
1区1号土坑



4区2号土坑



5区6号土坑



1区1号土坑

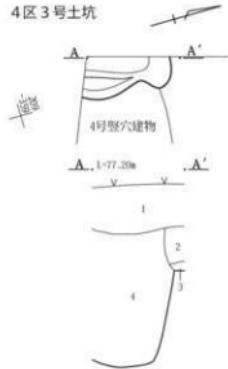
- 1 表土
2. 黒褐色土(10YR3/2) 炊土ブロック、ロームブロック含む。

4区2号土坑

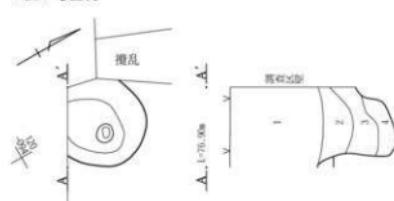
1. に赤い黄褐色土(10YR4/3) ローム粒多量含む。

0 1:40 1m

4区3号土坑



5区5号土坑



4区3号土坑

1. 表土
2. 喀褐色土(10YR3/3) ローム粒微量含む。
3. 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒少量、ロームブロック含む。
4. 喀褐色土(10YR3/4) ロームブロック少量含む。

2区4号土坑

1. 喀褐色土(10YR3/3) ロームブロック少量含む。
2. 黑色土(10YR4/6) ローム粒、ロームブロック少量含む。

5区5号土坑

1. 表土
2. 喀褐色土(10YR3/3) ロームブロック、白色粒少量、ロームブロック含む。
3. 黑褐色土(10YR3/1) ローム粒、ロームブロック少量、黒色粒。
4. 黑色土(10YR2/1) ローム粒、ロームブロック多量、白色粒少量、黑色粒含む。

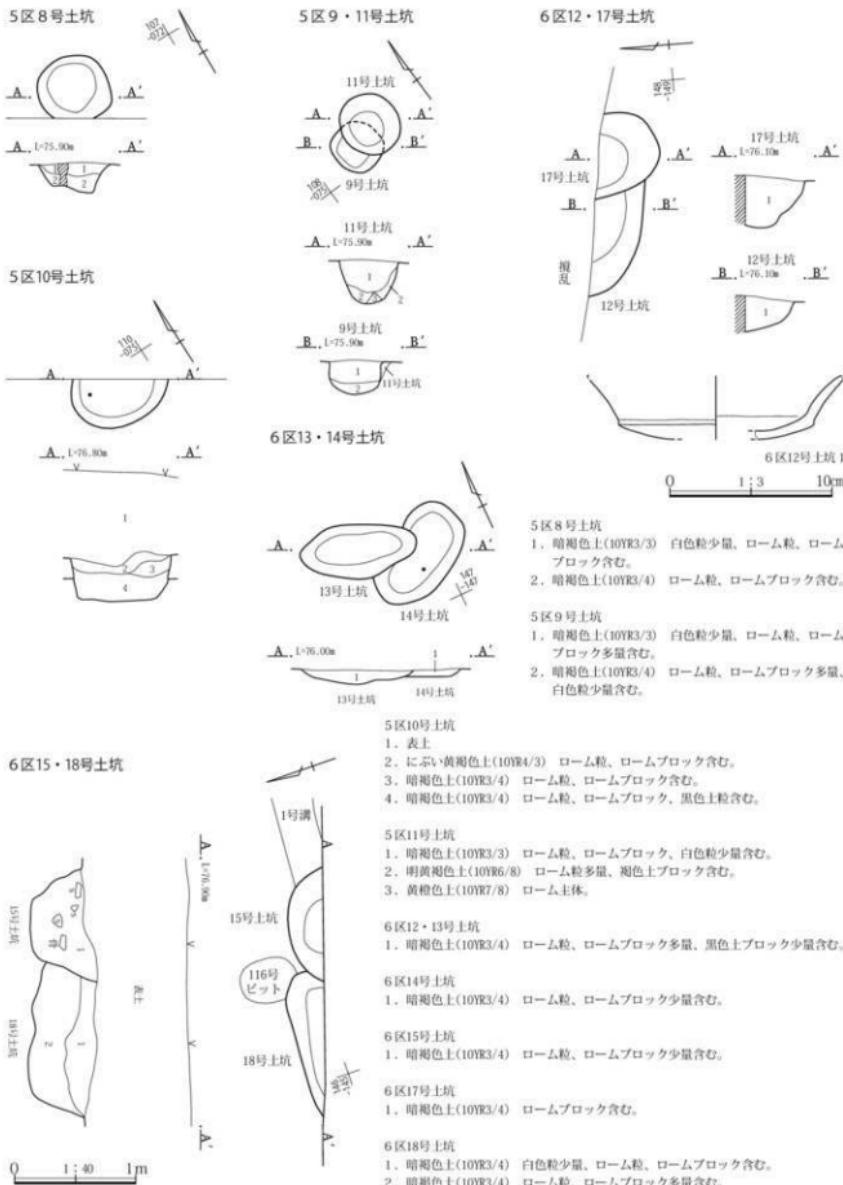
5区6号土坑

1. 表土
2. に赤い黄褐色土(10YR4/3) ローム粒、ロームブロック、褐色土ブロック含む。
3. 黑褐色土(10YR3/1) 褐色土ブロック含む。
4. 褐色土(10YR4/4) ローム粒、ロームブロック含む。

5区7号土坑

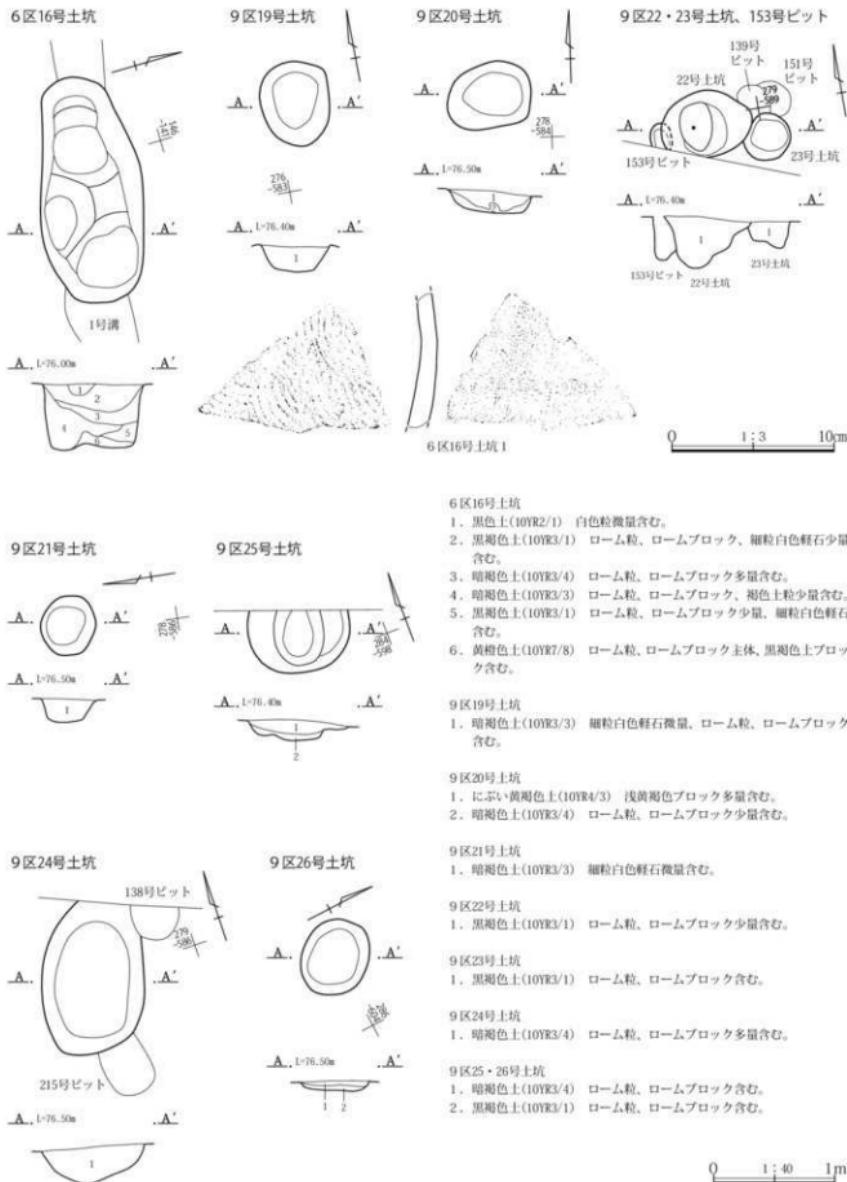
1. 表土
2. 喀褐色土(10YR3/3) 黄褐色土、黑褐色土ブロック、白色粒含む。
3. に赤い黄褐色土(10YR6/4) 黄褐色土主体、白色粒少量含む。
4. 黄褐色土(10YR5/8) 黄褐色土、黑褐色土ブロック多量含む。

第52図 1～7号土坑

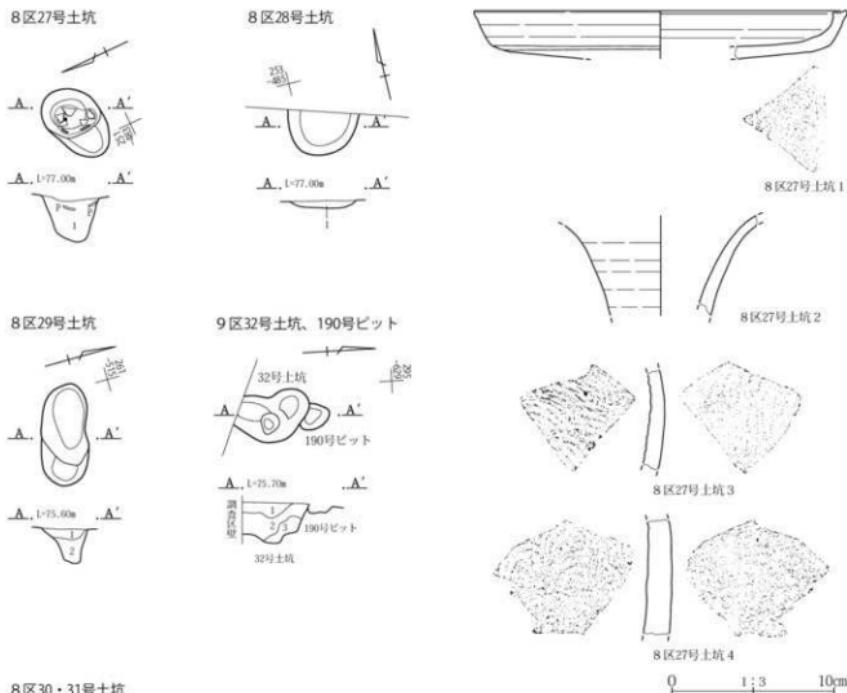


第53図 8～15・17・18号土坑、12号土坑出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物



第54図 16・19~26号土坑、153号ピット、16号土坑出土遺物



8区27号土坑
1. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒、ロームブロック、細粒白色軽石少量含む。

8区28号土坑
1. 暗褐色土(10YR3/3) 細粒白色軽石少量含む。

8区29号土坑
1. 暗褐色土(10YR3/3) 細粒白色軽石微量含む。
2. 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒、ロームブロック少量含む。

8区30号土坑
1. 暗褐色土(10YR3/3) 細粒白色軽石、ローム粒、ロームブロック含む。
2. 褐色土(10YR4/4) ローム粒、ロームブロック、褐色土ブロック含む。

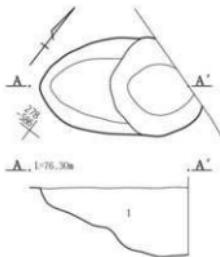
8区31号土坑
1. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒、ロームブロック、黒褐色土ブロック、細粒白色軽石微量含む。
2. 浅黄褐色土(10YR4/4) ロームブロック含む。
3. 黑褐色土(10YR3/1) ローム粒、ロームブロック少量含む。

9区32号土坑
1. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒、ロームブロック、細粒白色軽石微量含む。
2. 黑褐色土(10YR3/1) ローム粒含む。
3. 黄褐色土(10YR7/8) ローム粒、ロームブロック多量含む。

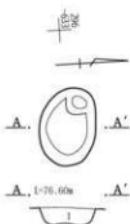
第55図 27～32号土坑、190号ピット、27号土坑出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

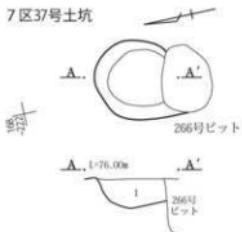
9区33号土坑



9区35号土坑



7区37号土坑



7区34号土坑



9区33号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 褐色粒、ローム粒、ロームブロック微量含む。

7区34号土坑

1. 褐灰色土(10YR6/1) ローム粒、ロームブロック少量、細粒白色軽石、砂含む。

9区35号土坑

1. 喀褐色土(10YR3/3) 細粒白色軽石多量、ローム粒、ロームブロック含む。

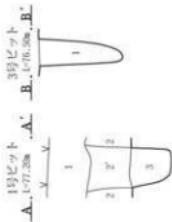
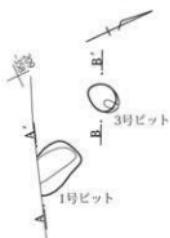
7区37号土坑

1. にふい黄褐色土(10YR4/3) 細粒白色軽石、ローム粒含む。

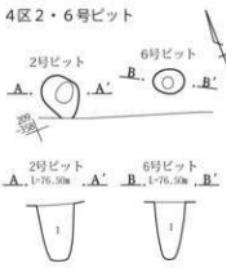


第56図 33~35・37号土坑

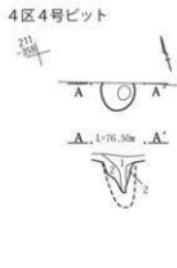
4区1・3号ビット



4区2・6号ビット



4区4号ビット



4区1号ビット

1. 表土
2. 喀褐色土(10YR3/3)ローム粒を微量含む。軟質の軽い土。
3. 2層の土を多量含む。ボソボソの土。

4区2・3・6号ビット

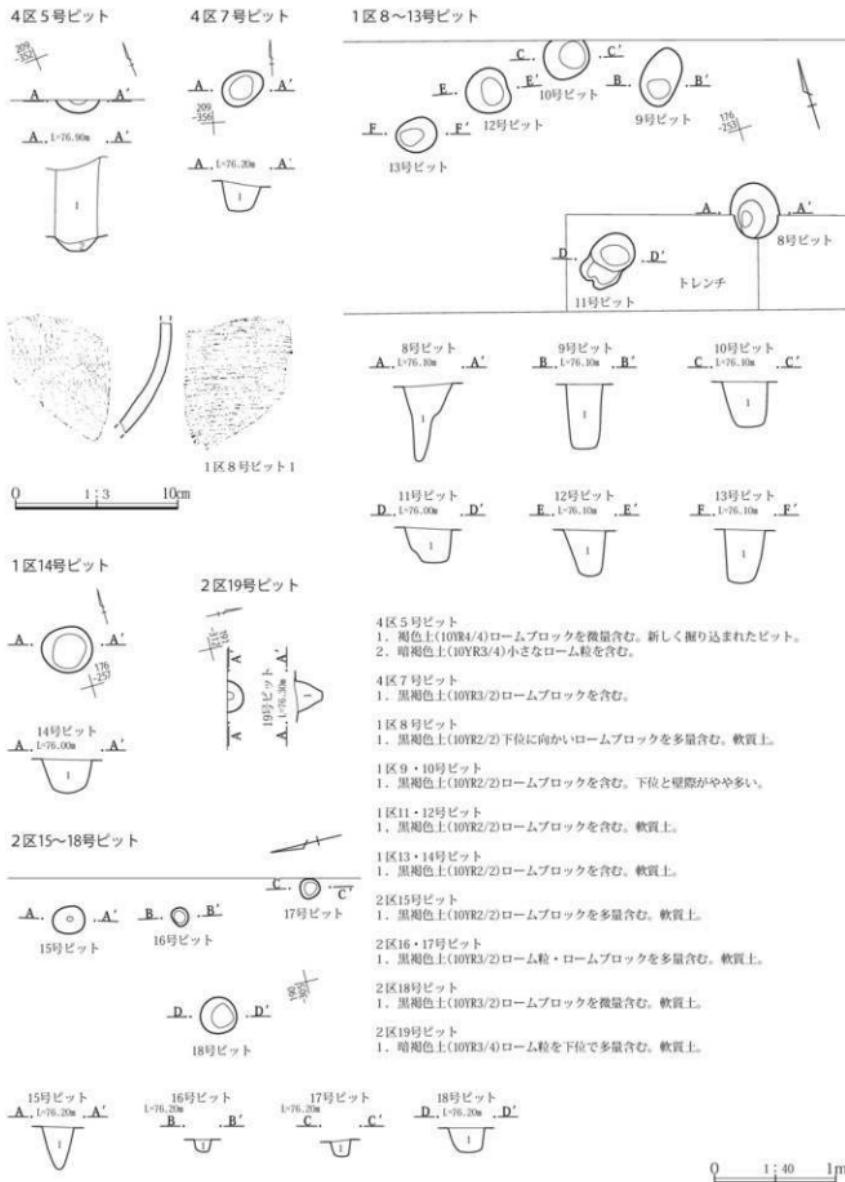
1. 黒色土(10YR2/1)ローム粒を微量含む。軟質上。

4区4号ビット

1. 喀褐色土(10YR3/4)ローム粒を微量含む。
2. ローム層の壁。

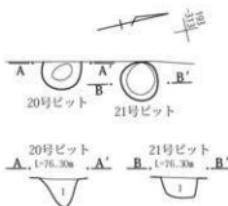


第57図 1~4・6号ビット

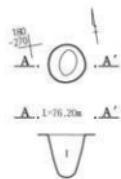


第58図 5・7~19号ピット、8号ピット出土遺物

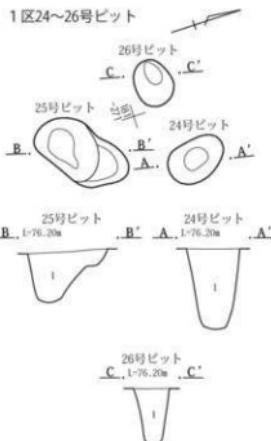
2区20・21号ピット



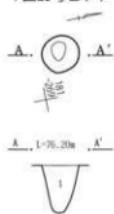
1区22号ピット



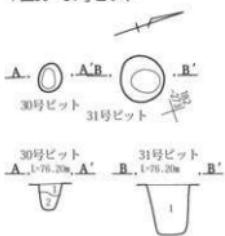
1区24~26号ピット



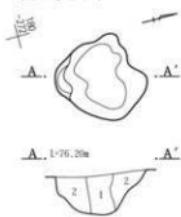
1区23号ピット



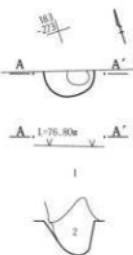
1区30・31号ピット



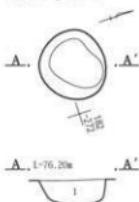
1区28号ピット



1区32号ピット



1区29号ピット



2区20号ピット

1. 黒褐色土(10YR2/2)ローム粒・ブロックを含む。軟質上。

2区21号ピット

1. 灰黄褐色土(10Y4/2)ローム・ブロック・黒色土ブロック含む。軟質上。

1区22・23号ピット

1. 黒褐色土(10YR2/2)ローム粒を含む。軟質上。

1区24~26・29号ピット

1. 暗褐色土(10YR4/4)ローム小ブロックを含む。軟質上。

1区28号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/3)ローム・ブロック・黒色土ブロックを含む。軟質上。
2. 黑褐色土(10YR3/2)ローム粒を含む。軟質上。

1区30号ピット

1. 黒色土(10YR2/1)ロームブロックを微量含む。軟質上。
2. 褐色土(10YR4/4)ローム粒主体。軟質上。

1区31号ピット

1. 黒褐色土(10YR2/2)ローム粒・ブロックを含む。部分的にローム大ブロックが混入。

1区32号ピット

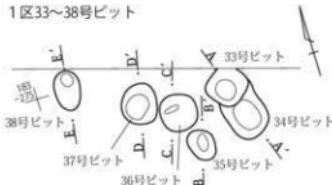
1. 表土
2. 黄褐色土(10Y5/8)ローム粒主体。黒褐色土大ブロックが混じる。軟質上。

0 1:40 1m

第59図 20~26・28~32号ピット

第1節 概要

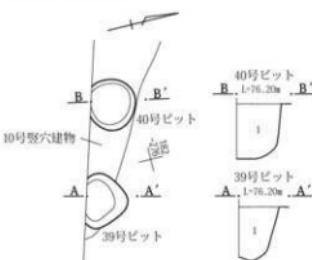
1区33~38号ビット



1区33・34号ビット
A-A', A-A' 33号ビット
B-B', B-B' 34号ビット
C-C', C-C' 35号ビット
D-D', D-D' 36号ビット
E-E', E-E' 37号ビット
F-F', F-F' 38号ビット



1区39・40号ビット



1区33・34号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム小ブロックを含む。軟質土。
2. 暗褐色土(10YR3/4)ローム小ブロックを多量含む。軟質土。
3. 暗褐色土(10YR3/4)ローム小ブロックを多量、炭化物を含む。軟質土。

1区35号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/2)ローム粒を多量含む。
2. 褐色土(10YR4/6)ローム粒主体上。

1区36号ビット

1. 褐色土(10YR4/6)黒色土ブロック・ロームブロックを含む。

1区37・38号ビット

1. 黑褐色土(10YR2/2)ローム粒・ブロックを少量含む。
2. 褐色土(10YR4/6)ローム粒主体上。

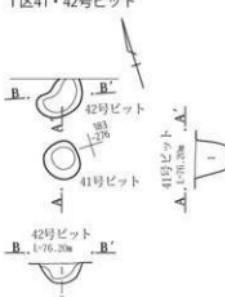
1区39号ビット

1. 黑褐色土(10YR2/2)ロームブロックを少量含む。部分的にローム大ブロックが混じる。軟質土。10号堅穴建物の覆土を切っている。

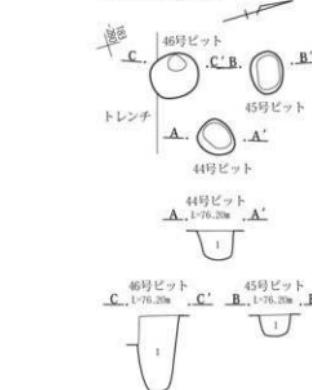
1区40号ビット

1. 暗褐色土(10R3/3)ロームブロックを少量含む。軟質土。

1区41・42号ビット



1区41・42号ビット
A-A', A-A' 41号ビット
B-B', B-B' 42号ビット
C-C', C-C' 43号ビット
D-D', D-D' 44号ビット
E-E', E-E' 45号ビット
F-F', F-F' 46号ビット



1区41号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/4)下部は根による擾乱が見られる。

1区42号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを少量含む。
2. 褐色土(10YR4/6)黒色土ブロック・ロームブロックを含む。軟質土。

1区43号ビット

1. 黑褐色土(10YR2/2)褐色土ブロック・黒色土ブロック・ロームブロックを含む。

1区44号ビット

1. 褐色土(10YR4/6)褐色土ブロック多量、黒色土ブロック・ロームブロック含む。

1区45号ビット

1. 褐色土(10YR4/6)ロームブロックを含む。

1区46号ビット

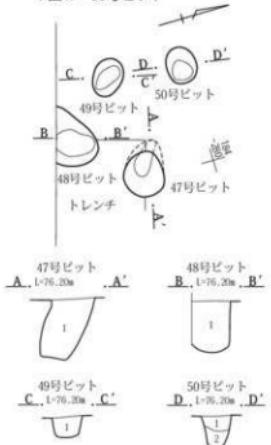
1. 黑褐色土(10YR2/2)褐色土ブロック多量、ロームブロック含む。



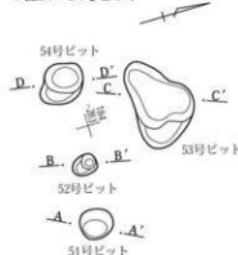
第60図 33~46号ビット

第3章 検出された遺構と遺物

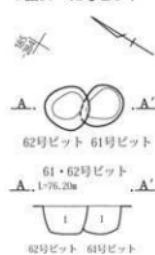
1区47~50号ピット



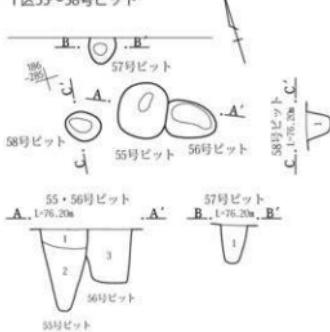
1区51~54号ピット



1区61・62号ピット



1区55~58号ピット



1区47・48号ピット

1. 黒褐色土(10YR2/3)ロームブロックが集中して含まれる。

1区49号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/3)ロームブロックを少量含む。

1区50号ピット

1. 黒色土(10YR2/1)ロームブロックを微量含む。軟質土。
2. 褐色土(10YR4/4)ローム粒主体。軟質土。

1区51号ピット

1. 黑褐色土(10YR2/3)下位に向けて褐色が強くなる。軟質土。

1区52号ピット

1. 黑色土(10YR2/1)ローム粒を微量含む。
2. 黄褐色土(10YR5/8)ロームブロック主体。黑色土を微量含む。

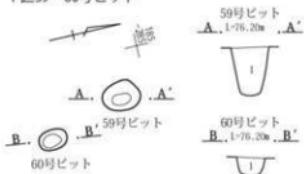
1区53号ピット

1. 黑褐色土(10YR2/2)ロームブロックを含む。斑点状に褐色土が混じる。

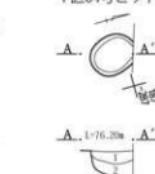
1区54号ピット

1. 褐色土(10YR4/4)ロームブロックを少量含む。

1区59・60号ピット



1区63号ピット



1区55・56号ピット

1. 黒褐色土(10YR2/2)ロームブロックを含む。
2. 黒褐色土(10YR3/1)斑にローム粒を含む。
3. 黑色土(10YR2/1)ローム粒を含む。

1区57号ピット

1. 黒色土(10YR2/1)ローム粒を少量含む。

1区58号ピット

1. 黑褐色土(10YR2/3)斑にロームブロックを少量含む。部分的にローム大ブロックが混じる。軟質土。

1区59・62号ピット

1. 黑褐色土(10YR2/3)斑にロームブロックを含む。

1区60号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)黒色土ブロック・ロームブロックを含む。軟質土。

1区61号ピット

1. 褐色土(10YR4/4)ロームブロックを少量含む。

1区63・64号ピット

1. 黑褐色土(10YR2/2)ローム粒・ブロックを少量含む。
2. 褐色土(10YR4/6)ロームブロック主体。

0 1:40 1m

第61図 47~64号ピット

3区65号ビット



3区66・67号ビット



3区68号ビット



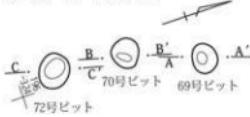
3区71号ビット



3区73号ビット



3区69・70・72号ビット

69号ビット
1-76.30m
A. A'70号ビット
1-76.30m
B. B'72号ビット
1-76.30m
C. C'

3区74号ビット



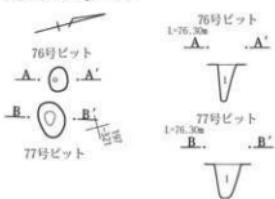
3区75号ビット



3区78号ビット



3区76・77号ビット



3区65号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/2)ローム粒を含む。軟質上。ローム大ブロックを一部に含む。

3区66・67号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/2)ローム粒・ブロックを少量含む。
2. 褐色土(10YR4/4)ローム粒を多量含む。

3区68号ビット

1. 褐色土(10YR4/4)ローム粒を多量含む。

3区69号ビット

1. 黄褐色土(10YR5/6)中央付近に黒色土ブロックを含む。

3区70・71号ビット

1. 黑褐色土(10YR2/2)ローム粒・ブロックを少量含む。

3区72号ビット

1. 黒褐色土(10YR2/3)ロームブロックを多量含む。

3区73号ビット

1. 黒褐色土(10YR2/2)ロームブロックを含む。

3区74号ビット

1. 黒色土(10YR2/1)ロームブロックを微量含む。

3区75～77号ビット

1. 黒色土(10YR2/1)ロームブロックを微量含む。

3区78号ビット

1. 黒色土(10YR2/1)一部にローム粒を含む。

3区79・81号ビット

1. 黒色土(10YR2/1)ロームブロックを少量含む。

3区80号ビット

1. 黒色土(10YR2/1)ローム大ブロックを含む。

3区82号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム小ブロックを含む。

3区83号ビット

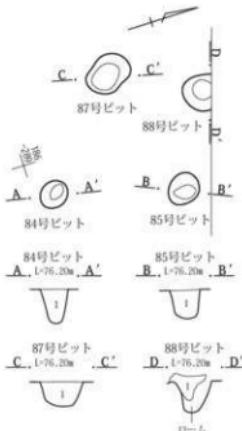
1. 褐色土(10YR4/6)ローム粒主体。ロームブロックを微量含む。

0 1:40 1m

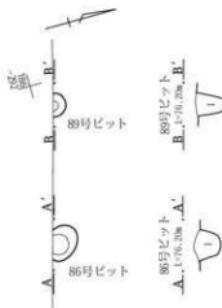
第62図 65～83号ビット

第3章 検出された遺構と遺物

1区84・85・87・88号ピット



1区86・89号ピット



1区84号ピット

1. 黒色土(10YR2/1)ローム粒を少量含む。軟質土。

1区85号ピット

1. 黒褐色土(10YR2/2)ローム粒・ブロックを含む。軟質土。

1区86号ピット

1. 褐色土(10YR4/6)ローム粒多量、As-YPを含む。

1区87号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)褐色土ブロック多量、As-YPを少量含む。軟質土。

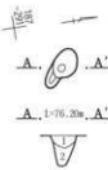
1区88号ピット

1. 褐色土(10YR4/4)ローム粒を多量含む。

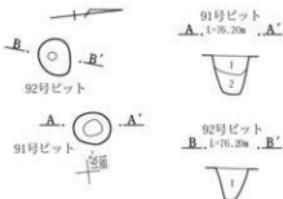
1区89号ピット

1. 黒褐色土(10YR2/2)ロームブロックを含む。

1区90号ピット



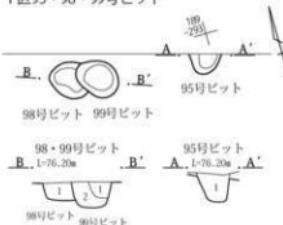
1区91・92号ピット



1区93号ピット



1区95・98・99号ピット



1区90号ピット

1. 黒色土(10YR2/1)ローム粒を少量含む。軟質土。
2. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒を多量含む。軟質土。

1区91号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/3)ローム粒・ブロックを多量含む。
2. 黒褐色土(10YR3/1)ロームブロックを微量含む。

1区92号ピット

1. 黑褐色土(10YR2/2)ローム粒多量、As-YPを微量含む。

1区93号ピット

1. 黑褐色土(10YR2/2)褐色ブロックを微量含む。
2. 褐色土(10YR4/4)地山ローム層の流れ込みか。

1区95号ピット

1. 黄褐色土(10YR5/8)ローム粒・ブロックを含む。軟質土。

1区98号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒を含む。軟質土。

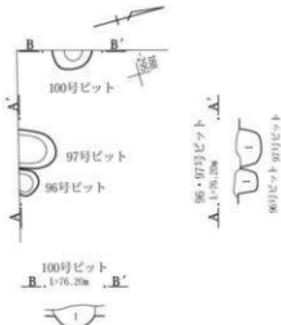
1区99号ピット

1. 黒色土(10YR2/1)ローム粒を少量含む。軟質土。
2. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒を含む。軟質土。

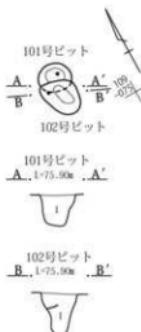
0 1:40 1m

第63図 84~95・98・99号ピット

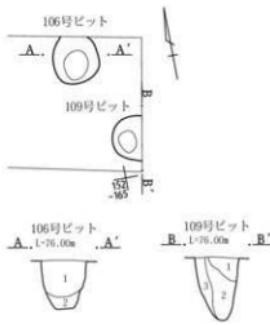
1区96・97・100号ビット



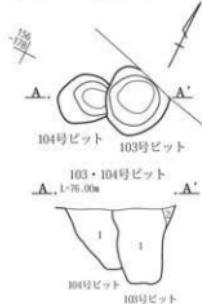
5区101・102号ビット



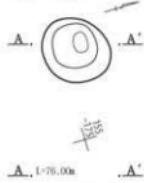
6区106・109号ビット



6区103・104号ビット



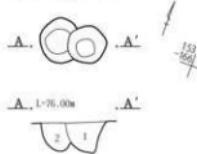
6区105号ビット



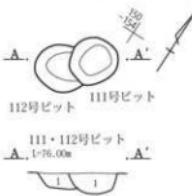
6区107号ビット



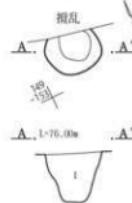
6区108号ビット



6区111・112号ビット



6区113号ビット



1区96号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/1)下部にやや多くロームブロックを含む汚れた土。

1区97号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/3)ローム粒多量、ロームブロックを含む。

1区100号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/3)ロームブロックを多量含む。軟質土。

5区101号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/3)ローム粒・ブロックを少量含む。

5区102号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/3)ローム粒・ブロックを少量含む。

6区103号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/3)ローム粒・ブロックを多量含む。

2. 黑褐色土(10YR3/1)褐色土ブロックを少量含む。

6区104号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/3)ローム粒・ブロック多量含む。土器片が混入する。

6区105号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/3)ローム粒・ブロック多量、黒色土ブロックを少量含む。

6区106号ビット

1. 褐色土(10YR4/4)ローム粒・ブロックを含む。

2. 黄褐色土(10YR5/8)ローム粒・ブロックを多量に含む。

0 1:40 1m

6区107号ビット

1. 黒褐色土上(10YR2/2)ローム粒・ブロックを多量に含む。
2. 黑褐色土上(10YR2/2)1層に類似するが、黒味弱く明るい。

6区108号ビット

1. 暗褐色土上(10YR2/3)細粒白色軽石を少量、ローム粒・ブロックを含む。
2. 黑褐色土上(10YR2/2)ローム粒を少量含む。

6区109号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/3)ローム粒・ブロックを含む。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3)ローム粒・ブロック、黒褐色土ブロックを含む。
3. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロック、細粒白色軽石を少量含む。

6区111号ビット

1. 暗褐色土上(10YR3/3)ローム粒・ブロックを含む。

6区112号ビット

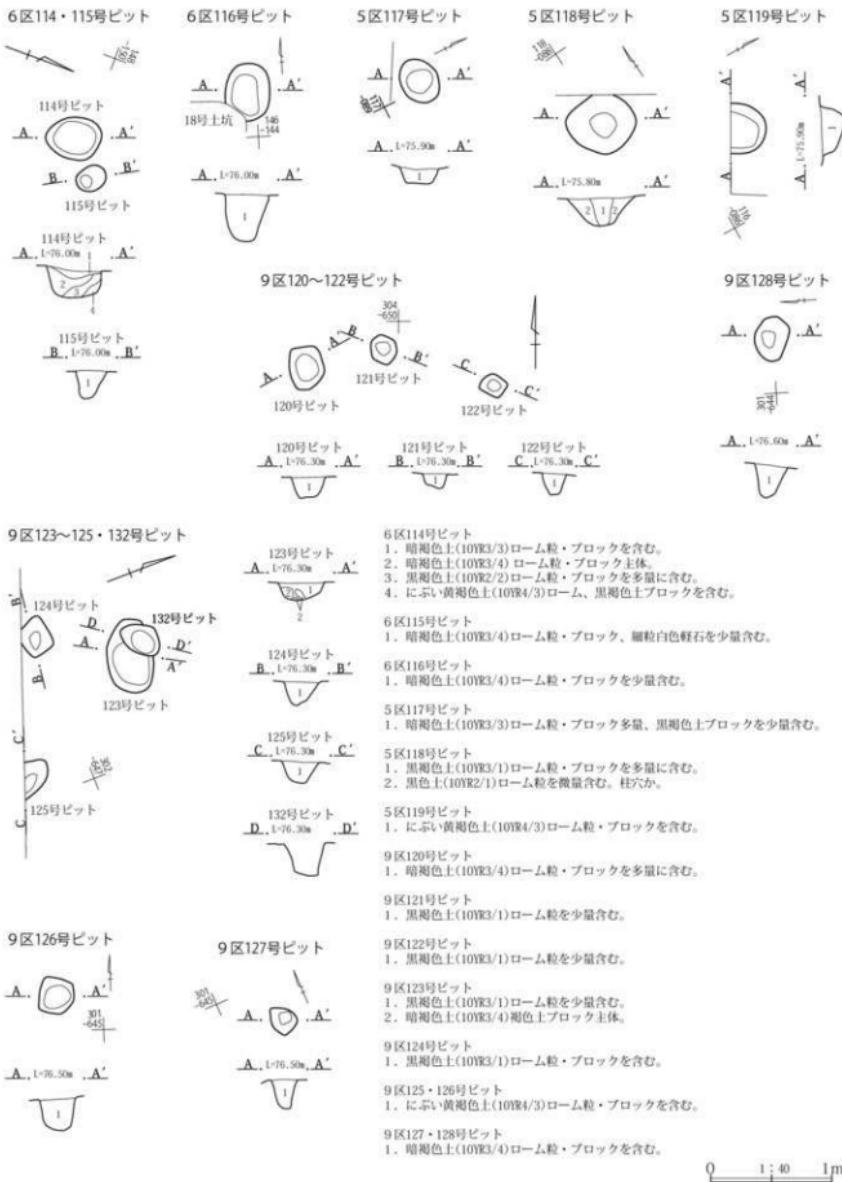
1. 暗褐色土上(10YR3/4)ローム粒・ブロック多量、細粒白色軽石を少量含む。

6区113号ビット

1. 暗褐色土上(10YR3/4)ローム粒・ブロック、細粒白色軽石を少量含む。

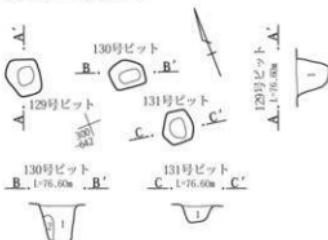
第64図 96・97・100~109・111~113号ビット

第3章 検出された遺構と遺物

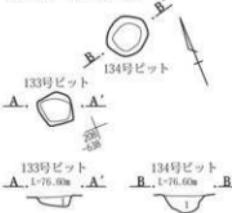


第65図 114～128・132号ビット

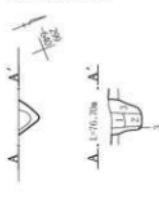
9区129～131号ピット



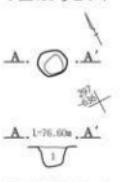
9区133・134号ピット



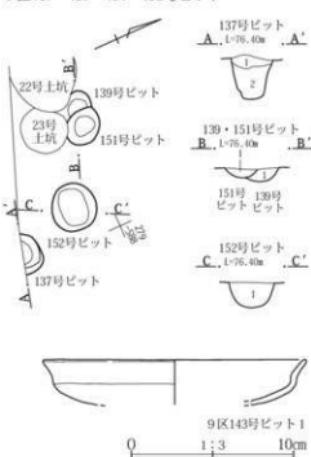
9区135号ピット



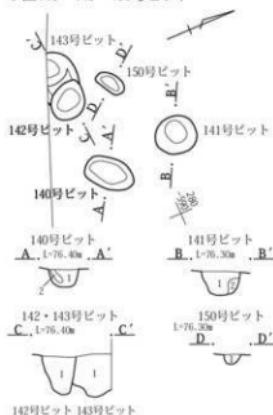
9区136号ピット



9区137・139・151・152号ピット



9区140～143・150号ピット



9区129号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを多量に含む。

9区130号ピット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3)ローム粒・ブロックを含む。
2. 黄褐色土(10YR5/8)ローム粒・ブロックを多量に含む。

9区131号ピット

1. 黒褐色土(10Y3/1)ローム粒を少量含む。

9区133・134号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを含む。

9区135号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒を少量含む。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3)ローム粒・ブロックを含む。

9区136号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒を少量含む。

9区137号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒を少量含む。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3)ローム粒・ブロックを含む。

9区138号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/3)ローム粒・ブロック、細粒白色礫石を少量含む。土器小片が混入する。

9区139号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒を少量含む。

9区140・141号ピット

1. 黑褐色土(10YR3/1)ローム粒を少量含む。
2. 黄褐色土(10YR5/8)ローム・ブロック主体。

9区142号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを含む。

9区143号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを多量含む。

9区150号ピット

1. 黑褐色土(10YR3/1)ローム粒・ブロックを少量含む。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3)ローム粒を多量含む。

9区151号ピット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3)ローム粒を多量含む。

9区152号ピット

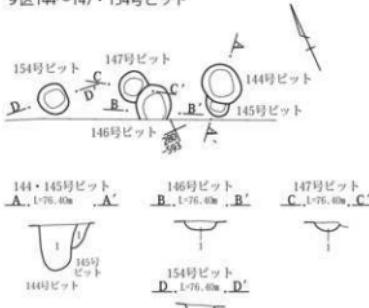
1. 黑褐色土(10YR3/1)ローム粒・ブロックを多量に含む。

0 1:40 1m

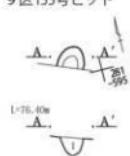
第66図 129～131・133～143・150～152号ピット、143号ピット出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

9区144～147・154号ビット



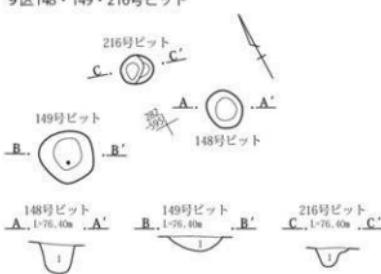
9区155号ビット



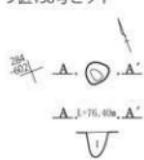
9区157号ビット



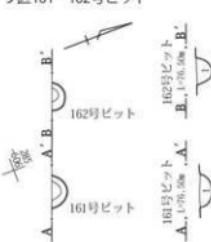
9区148・149・216号ビット



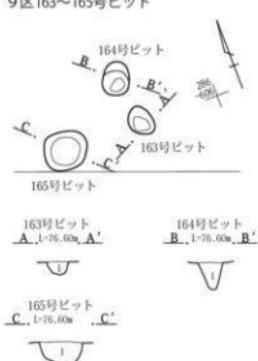
9区158号ビット



9区161・162号ビット



9区163～165号ビット



9区144・148・165号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/1)ローム粒・ブロックを含む。

9区145～147・162号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒を少量含む。

9区149・160号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒を含む。

9区154・156号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/4)褐色土ブロック・細粒白色軽石少量、ロームブロックを含む。
上層小片状侵入する。

9区155・158号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/1)ローム粒を少量含む。

9区157・159号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/1)褐色土ブロック・細粒白色軽石を少量含む。

9区161号ビット

1. ぶい黄褐色土(10YR4/3)ローム粒を含む。

9区163号ビット

1. 黑褐色土(10YR3/1)褐色土ブロック・細粒白色軽石少量、ロームブロックを含む。

9区164号ビット

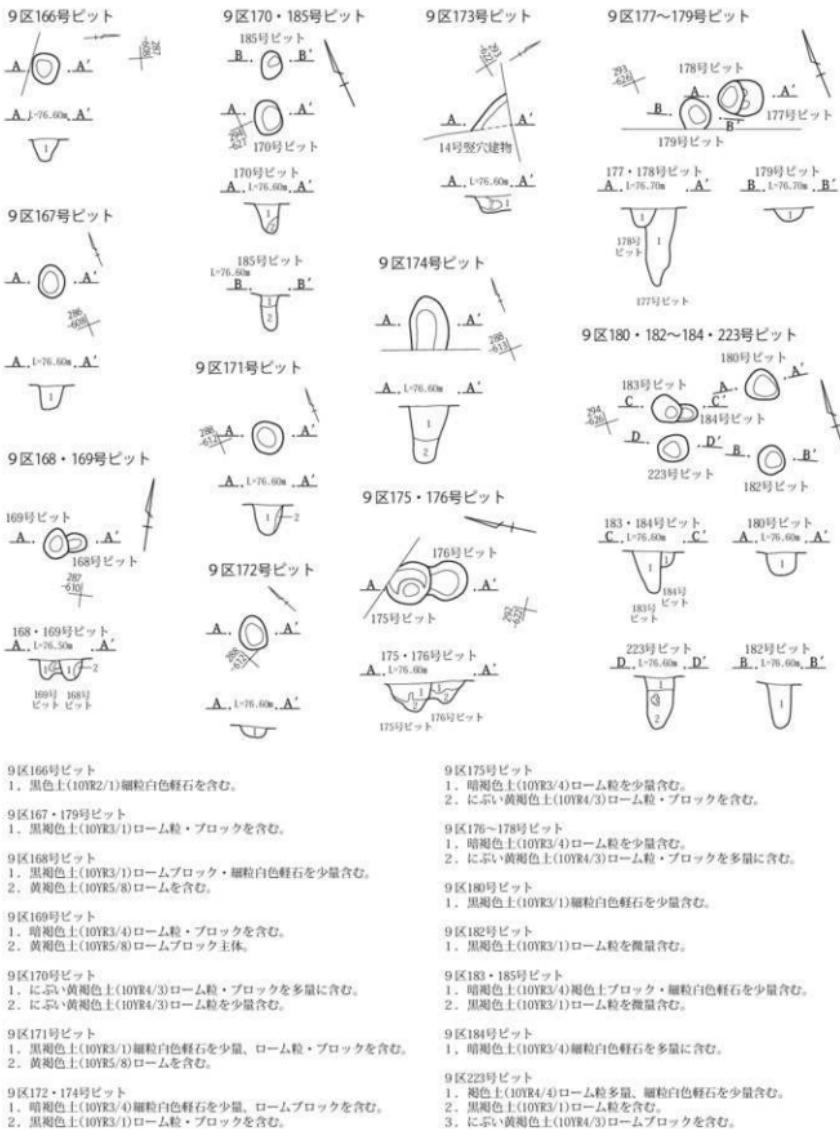
1. 黑褐色土(10YR3/1)褐色土ブロック・細粒白色軽石を少量含む。

9区216号ビット

1. 黑褐色土(7.5YR2/2)ロームブロック・褐色粒・泥土粒を含む。

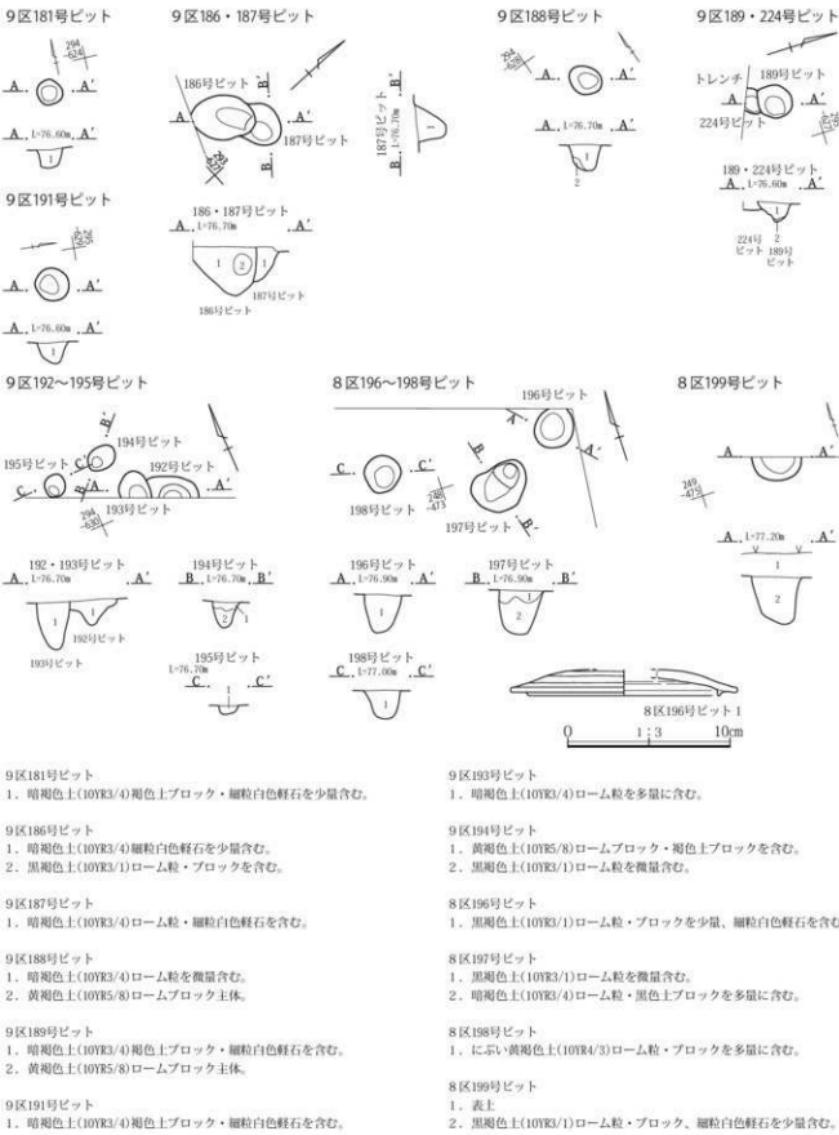
0 1:40 1m

第67図 144～149・154～165・216号ビット

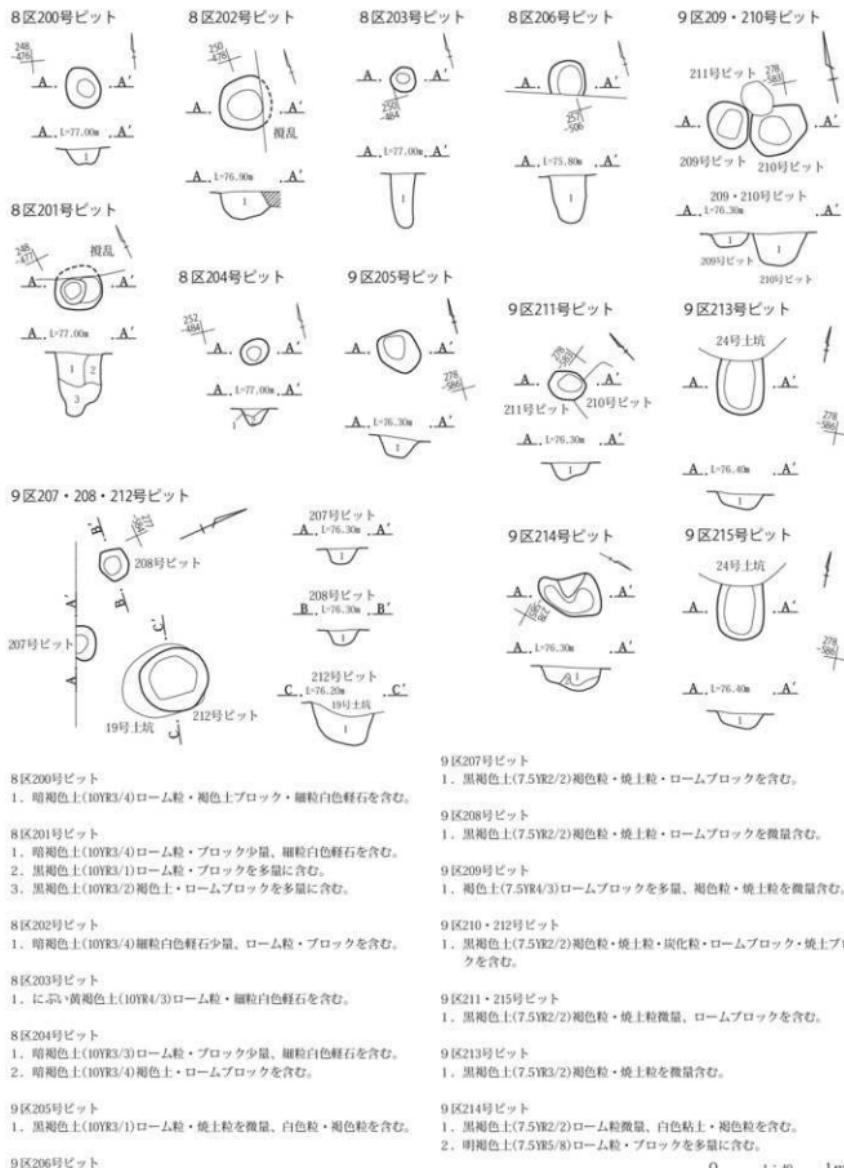


第68図 166～180・182～185・223号ピット

第3章 検出された遺構と遺物



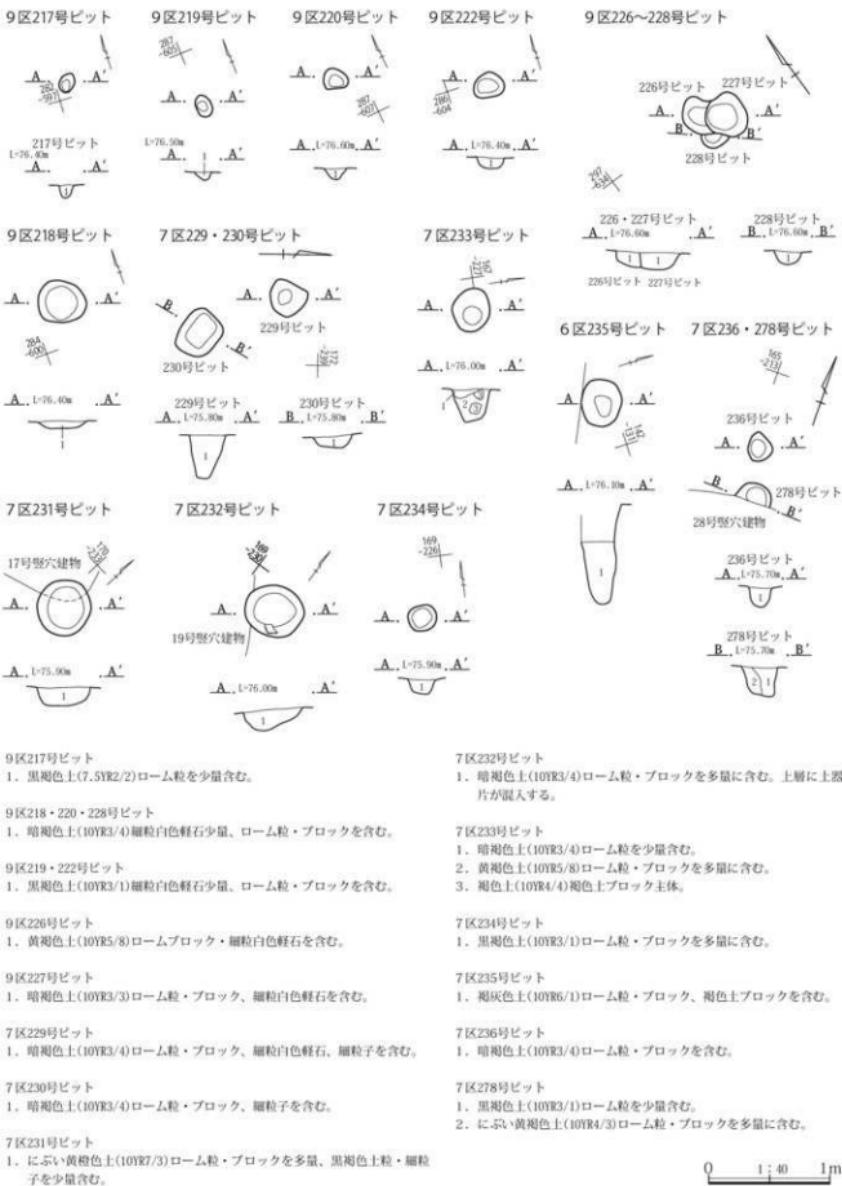
第69図 181・186～189・191～199・224号ピット、196号ピット出土遺物



第70図 200~215号ピット

0 1 40 1m

第3章 検出された遺構と遺物

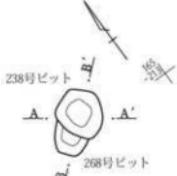


第71図 217～220・222・226～236・278号ピット

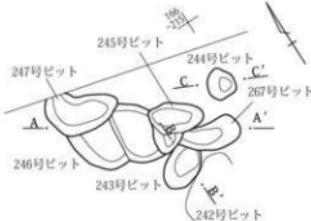
7区237号ピット



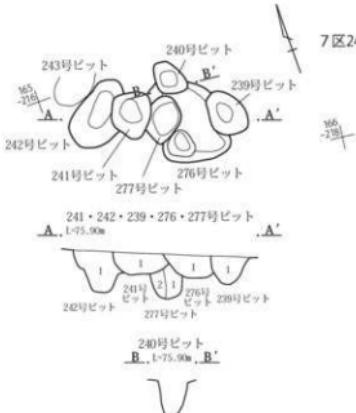
7区238・268号ピット



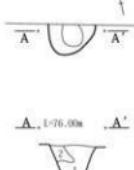
7区243～247・267号ピット



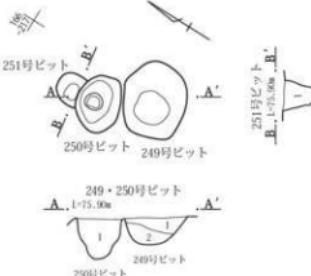
7区239～242・276・277号ピット



7区248号ピット



7区249～251号ピット



7区237・246・251号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを多量に含む。

7区238号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒を少量含む。

7区239号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを含む。土器小片が混入する。

7区241号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒を多量、黒色土ブロックを少量含む。

7区242・276号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・黒色土ブロックを少量含む。

7区243号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを多量に含む。
2. 黄褐色土(10YR5/8)ローム粒・ブロックを多量に含む。

7区245号ピット

1. 黑褐色土(10YR3/1)ローム粒を微量含む。
2. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを多量に含む。

7区247号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒を含む。土器小片が混入する。

7区248号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒を少量含む。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3)ローム粒を多量に含む。

7区249号ピット

1. 黑褐色土(10YR3/1)ローム粒を少量含む。
2. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを多量に含む。

7区250号ピット

1. 黑褐色土(10YR3/1)ローム粒を微量含む。

7区267号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロック、黒褐色土ブロックを含む。

7区277号ピット

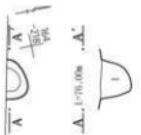
1. 黑褐色土(10YR3/1)ローム粒を少量含む。
2. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・黒色土ブロックを微量含む。

0 1:40 1m

第72図 237～251・267・268・276・277号ピット

第3章 検出された遺構と遺物

7区252号ピット



7区253・256・270号ピット



9区254号ピット



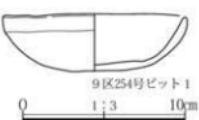
7区260・261号ピット



7区255号ピット



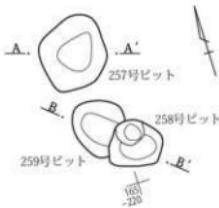
253・256・270号ピット
253号ピット
256号ピット
270号ピット



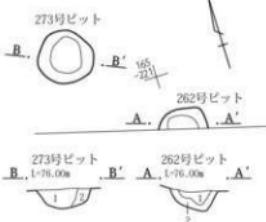
7区254号ピット



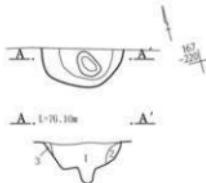
7区257～259号ピット



7区262・273号ピット



7区263号ピット



7区257号ピット
257号ピット
258号ピット
259号ピット



7区259号ピット

1. 墓室色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを含む。

7区260号ピット

1. 墓室色土(10YR3/4)ローム粒・ブロック、褐色土ブロックを含む。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3)ローム粒・ブロックを多量に含む。

7区261号ピット

1. 墓室色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを含む。
2. 黄褐色土(10YR5/8)ロームを含む。

7区262号ピット

1. 黒褐色土(10YR3/1)ローム粒・褐色土ブロックを少量含む。
2. 墓室色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを多量に含む。

7区263号ピット

1. 墓室色土(10YR3/4)ローム粒・ブロック、褐色土ブロックを含む。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3)ローム粒・ブロックを多量に含む。
3. にぶい黄褐色土(10YR4/3)ローム粒を含む。

7区270号ピット

1. 墓室色土(10YR3/4)ローム粒を少量含む。
2. 黑褐色土(10YR3/1)ローム粒・ブロックを少量含む。

7区273号ピット

1. 墓室色土(10YR3/4)ローム粒を少量含む。
2. 黄褐色土(10YR5/8)ロームを主体。

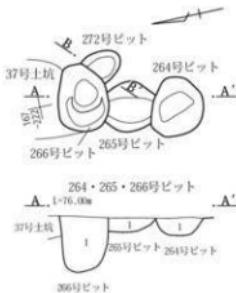
7区258号ピット

1. 墓室色土(10YR3/4)ローム粒を含む。

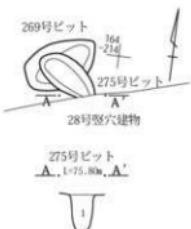
0 1:40 1m

第73図 252～263・270・273号ピット、254号ピット出土遺物

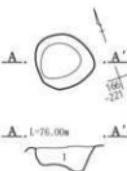
7区264～266・272号ピット



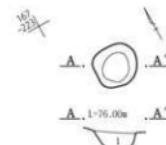
7区269・275号ピット



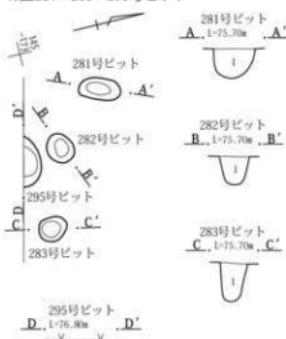
7区271号ピット



7区274号ピット



10区281～283・295号ピット



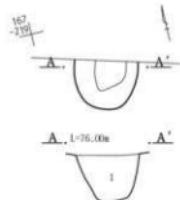
7区264号ピット

1. にふい黄褐色土(10YR4/3)ローム粒・ブロックを少量含む。

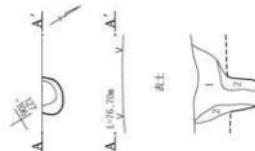
7区265号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを含む。

7区279号ピット



11区280号ピット



7区266号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを多量に含む。土器小片が混入する。

7区271号ピット

1. にふい黄褐色土(10YR4/3)ローム粒・ブロック、黒褐色土ブロックを含む。

7区272号ピット

1. 黒褐色土(10YR3/2)ローム粒・ブロックを多量に含む。土器小片が混入する。
2. 黒色土(10YR2/1)ローム粒をわずかに含む。

7区274号ピット

1. 黒褐色土(10YR3/2)ローム粒を少量含む。土器小片が混入する。

7区275号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒・ブロックを少量含む。

7区279号ピット

1. 黒褐色土(10YR3/1)ローム粒・ブロックを少量含む。

11区280号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/3)小礫を含む。
2. 1層にローム粒・ブロックを加えたもの。

10区281～283号ピット

1. 黒褐色土(10YR3/1)ローム粒・ブロックを少量含む。

10区295号ピット

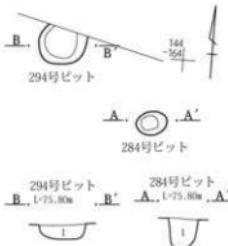
1. 表土
2. 暗褐色土(10YR3/3)ローム粒を微量含む。底面付近はローム粒・ブロックの混入多い。



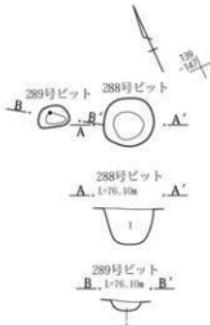
第74図 264～266・269・271・272・274・275・279～283・295号ピット

第3章 検出された遺構と遺物

10区284・294号ピット



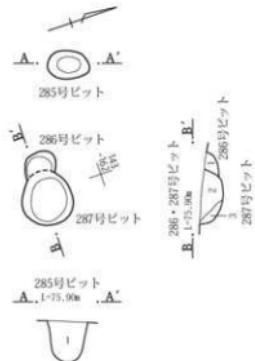
10区288・289号ピット



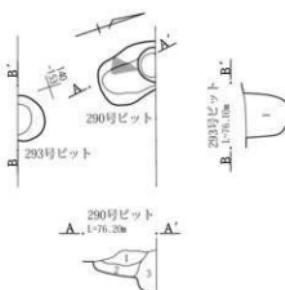
10区292号ピット



10区285～287号ピット



10区290・293号ピット



10区284号ピット

1. 黒褐色土(10YR3/1)ローム粒・ブロックを少量含む。

10区285号ピット

1. 黑褐色土(10YR3/1)底面付近にロームブロックの混入多い。

10区286・287号ピット

1. 黒褐色土(10YR3/1)ロームブロック(大)が混入。
2. 黑褐色土(10YR3/1)ローム粒・ブロックが少量混入。
3. 2層にローム粒・ブロックが多く混入した上。

10区288号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/3)ローム粒を少量含む。

10区289号ピット

1. 暗褐色土(10YR3/3)ローム粒を少量含む。少量の燒土粒が混入。

10区290号ピット

1. 黒褐色土(10YR3/2)暗褐色土と焼土ブロックの混土。
2. 暗褐色土(10YR3/3)ローム粒を多く含む。
3. 黑褐色土(10YR3/1)ローム粒を微量含む。

10区292号ピット

1. 黒褐色土(10YR3/2)ローム粒・ブロックを含む。底面付近にローム粒の混入多い。

10区293号ピット

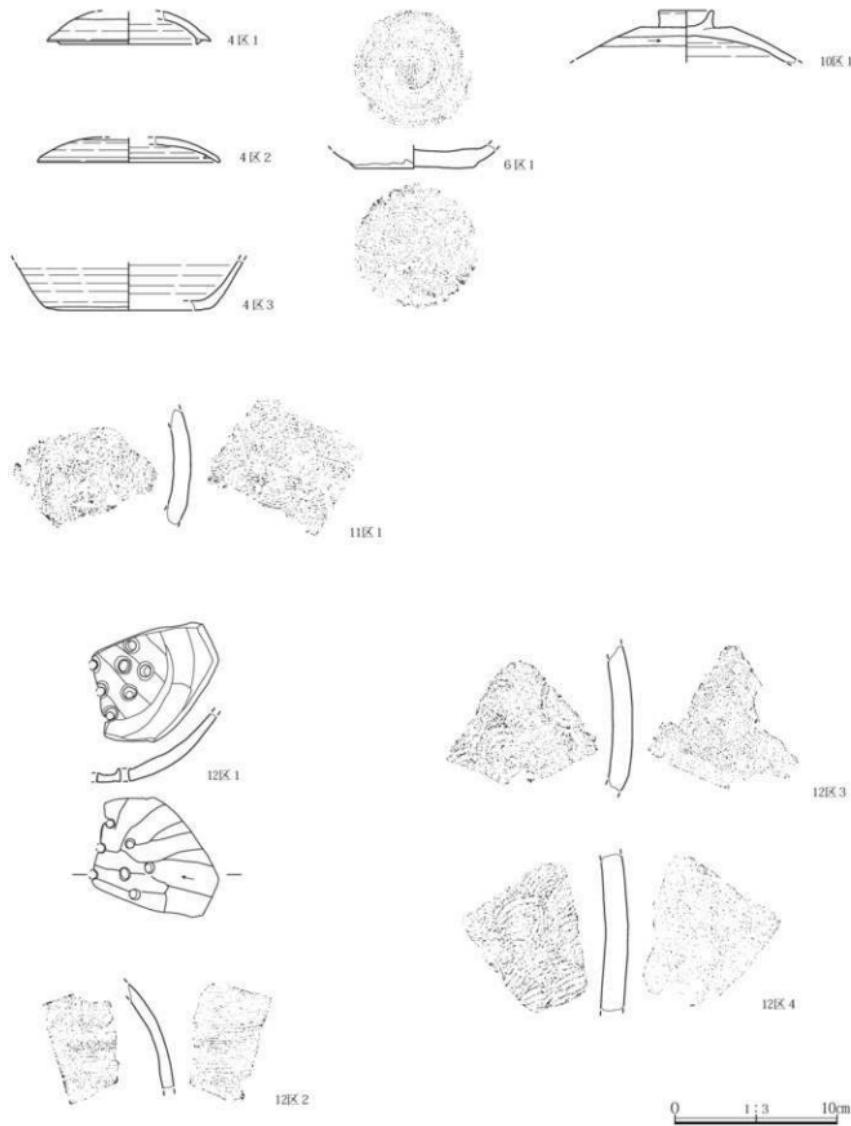
1. 黒褐色土(10YR3/2)微細なローム粒を含む。少量のロームブロックの混入あり。

10区294号ピット

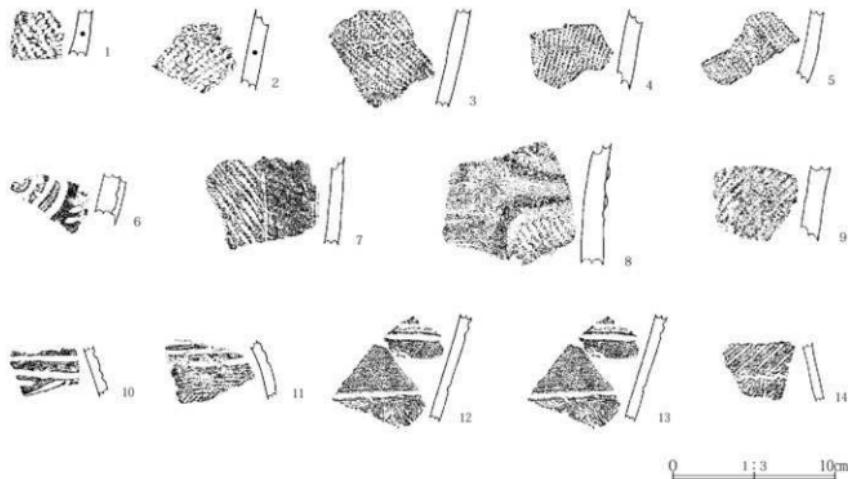
1. 暗褐色土(10YR3/3)微細なローム粒を少量含む。

0 1:40 1m

第75図 284～290・292～294号ピット



第76図 遺構外出土遺物



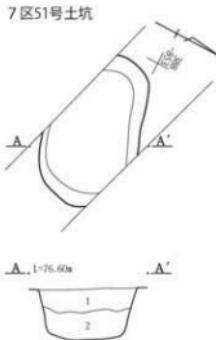
第77図 出土した縄文土器・弥生土器

第4章 中栗須光明B遺跡(22包蔵地)

7区51号土坑(第78図、PL. 36)

中栗須光明B遺跡(22包蔵地)7区に位置し、X = 29387・388、Y = -67851・852の範囲にある。調査区が狭いため全掘はできず、南北は未検出である。平面形状

は長円形を呈し、規模は長軸1.29m、短軸0.79m、深さ0.41mを測る。長軸方位はN-77°-Eを指す。出土遺物がないため時期は不明である。



中栗須光明B遺跡(22包蔵地)

7区52号土坑

1. 褐灰色土(10YR6/1)細粒白色軽石・小石を含む。

2. 黒褐色土(10R3/1)ローム粒・ブロックを多量に含む。ロームブロックは不整な堆積である。



第78図 中栗須光明B遺跡 7区52号土坑

第5章 まとめ

下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)は、藤岡市内藤岡台地の北端に所在している。この台地は篠川と鮎川の氾濫で北側の一部は削り取られ、残った北端にあたる。中栗須光明B遺跡(22包蔵地)は、7区で土坑1基のみの検出で、遺物は確認できなかつた。下栗須津島B遺跡(27包蔵地)のからは、7世紀から10世紀の竪穴建物、土坑等の遺構・遺物が検出されている。中栗須光明B遺跡(22包蔵地)から南西5km、鮎川左岸に現在緑壁の地名がある。この地には『日本書紀』安閑天皇2年(535)に屯倉が設置されたと記載されており、中栗須・下栗須周辺は古代において上野国綿野郡に含まれていた場所と考えられる。またこの地域は、8世紀前半の多胡郡の建郡にも大きくかかわっていたことが知られている。屯倉の設置とも合わせ、この地域が安閑期から中央と継続的に関係の深い地であったと考えることができる。

今回報告の2遺跡は道路拡幅工事の事前調査で、広い所で幅4.5m、狭い所では1mにも満たない調査であつた。このため竪穴建物では全容を完掘できたのは2区1号竪穴建物の1棟のみだが、遺跡全体の時期は出土遺物から7世紀から10世紀初頭である。特に1区7号竪穴建物は7世紀後半に比定され、翡翠製垂飾が確認され、須恵器高盤が共伴している。7区17号竪穴建物は8世紀後半に比定され、方形にかたどられた椎錘と考えられる石製品が出土している。

同じ22包蔵地に含まれ西隣接する中栗須邸前遺跡では6世紀から9世紀までの遺構・遺物が確認され、この周囲が6世紀から10世紀代まで集落が存在、継続したことを見している。中栗須邸前遺跡で布掘りを持つ掘立柱建物跡が確認され、2区8号竪穴建物から鉄製のにぎり鍊が出土している。さらに2区9号竪穴建物から集落遺跡では一般的ではない、鉄鉢形土器や須恵器高盤などが出土している。中栗須光明B遺跡の西約1kmにある上栗須遺跡では、7世紀から8世紀にかけての古墳、掘立柱建物群が確認され、掘立柱建物跡群の他に、1区32号竪穴建物から鉄製の釘と止め金具が出土し、III区43号竪穴

建物から鉄滓が出土している。1区6号古墳から鉄鎌が2個体、さらに共伴して7世紀後半で铸造されたとされる富本錢が出土している。上栗須・中栗須・下栗須周辺の竪穴建物の時期から、富本錢の年代を含む古墳時代後半から10世紀に至る集落が、継続して存在していたことがわかる。

このように中栗須地域周辺には6世紀から10世紀に至るまで集落が存在したことが理解できる。その中でも7世紀から10世紀代には特徴的な出土品が多いことが指摘でき、さらに共通するのは上栗須遺跡の富本錢、中栗須邸前遺跡でのにぎり鍊、鉄鉢形土器等、下栗須津島B遺跡(27包蔵地)の高盤の複数出土などから各々の集落は時期が近く、出土遺構、遺物に共通性が指摘できる遺跡群と考えられる。

これらのことから考えると、この周辺は官的な様相が強く、上栗須遺跡の掘立柱建物群や、中栗須邸前遺跡の布掘りを持つ掘立柱建物も官衙あるいは寺院の可能性も指摘できる。下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)の調査は範囲が狭く、全体的な結論を早急には出せないが、遺跡の実態は周辺遺跡の状況からも官衙、寺院等の様相が強いという指摘にとどめ、まとめてみたい。

区	番号	座標値	重複	平面形状	規模(cm)			長軸方位
					長軸	短軸	深さ	
10区	286	X = 29142 Y = -67162	287号ピットより旧	楕円形	30	(24)	9	N-28° -W
10区	287	X = 29142 Y = -67161・162	286号ピットより新	円形	45	41	17	N-76° -W
10区	288	X = 29138・139 Y = -67147		円形	43	41	33	N-83° -E
10区	289	X = 29139 Y = -67148		楕円形	26	18	11	N-58° -W
10区	290	X = 29140 Y = -67152・153		楕円形	(57)	41	30	N-8° -W
	291	欠番						
10区	292	X = 29142 Y = -67159		円形	34	32	34	N-16° -W
10区	293	X = 29139 Y = -67152・153		円形か	37	(22)	39	N-72° -W
10区	294	X = 29143・144 Y = -67164・165		円形か	(39)	37	15	N-40° -E
10区	295	X = 29144 Y = -67171・172		円形か	42	(15)	25	N-76° -W

第5表 溝計測表

区	番号	座標値	重複	走 行	長さ (m)	最大幅 (m)	最小幅 (m)	深さ (m)	方位	備考
6区	1	X = 29144～146 Y = -67138～145	15・16・18号土坑 より旧	東～西	(6.52)	0.53	0.27	0.12～0.33	N-72° -W	
6区	2	X = 29137～139 Y = -67122～124		北～南	(1.79)	(1.60)	(1.42)	0.29～0.35	N-10° -W	

第6表 中栗須光明B遺跡(22号蔵地)土坑計測表

区	番号	座標値	重複	平面形状	規模(cm)			長軸方位	備考
					長軸	短軸	深さ		
7区	51	X = 29387・388 Y = -67851・852		長円形	129	79	41	N-77° -E	

11区遺構外

種 国 PL.No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形・整 形 の 特 徴	備 考
第7646 PL.35	1 須恵器 壺	理上 底部		細砂粒/還元焰/灰 白	胴部は叩き締め成形。外面は叩き締め痕をカキメで消し、その後波状文を施す。内面は同心円状アテ貝痕が残る。	

12区遺構外

種 国 PL.No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形・整 形 の 特 徴	備 考
第7648 PL.35	1 上師器 有孔鉢	理上 底部～体部下位 片		細砂粒/良好/概 白	底部から体部はヘラ削り、内面は底部から体部へヘラナデ。底部に径5～7mmの小孔を複数穿つ。	
第7648 PL.35	2 須恵器 壺	理上 脚部片		細砂粒/還元焰/淡 黄	ロクロ成形か。外側にはカキメ。内面はロクロ痕が残る。	
第7648 PL.35	3 須恵器 壺	理上 脚部片		細砂粒/還元焰/黄 灰	胴部は叩き締め成形。外側には平行叩き痕がかすかに残る。内面は同心円状アテ貝痕が残る。	
第7648 PL.35	4 須恵器 壺	理上 脚部片		細砂粒/還元焰/黄 灰	胴部は叩き締め成形。外側には平行叩き痕が残る。内面は同心円状アテ貝痕が残る。	

遺構外縄文・弥生

種 国 PL.No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形・整 形 の 特 徴	備 考
第7746 PL.36	1 縄文土器 深鉢	9区5号土坑 脚部破片		細砂、織維/ふつ う/	RL縄文を横位施文する。	黒浜式
第7746 PL.36	2 縄文土器 深鉢	9区6号土坑 脚部破片		細砂、織維/ふつ う/	LR縄文を横位施文する。	黒浜式
第7746 PL.36	3 縄文土器 深鉢	7区 脚部破片		粗砂、輝石、片岩、 チャート/良好/	RL縄文を横位施文する。	諸磯 a 式
第7746 PL.36	4 縄文土器 深鉢	9区 脚部破片		細砂/良好/	LR縄文を横位施文する。	諸磯 a 式
第7746 PL.36	5 縄文土器 深鉢	7区19号穴建物 脚部破片		粗砂、赤色粒、輝 石/良好/	RL縄文を横位施文する。	諸磯 a 式
第7746 PL.36	6 縄文土器 深鉢	7区19号穴建物 脚部破片		粗砂、チャート/ ふつう/	刻み縄帯、沈線による弧状モチーフ、交互刺突を施す。	勝坂式
第7746 PL.36	7 縄文土器 深鉢	7区19号穴建物 脚部破片		粗砂、輝石/良好/	沈線による懸垂文を施す。LR縄文を擬位充填施文する。	加賀利E4式
第7746 PL.36	8 縄文土器 深鉢	9区 脚部破片		粗砂、輝石/良好/	隣接による対孤状モチーフを施す。LR縄文を充填施文す る。	加賀利E4式
第7746 PL.36	9 縄文土器 深鉢	7区 脚部破片		粗砂、チャート/ ふつう/	RL縄文を擬位施文する。	中期後葉
第7746 PL.36	10 弥生土器 壺	9区14・15号穴建 物 脚部破片		粗砂粒・白色粒/ ふつう/	太い沈線を2本並行して縄に入れ、上部は斜め方向の沈線 を入れる。内面へラ形状工具による擦で。	弥生中期
第7746 PL.36	11 弥生土器 壺	9区14・15号穴建 物 脚部破片		粗砂/ふつう/	沈線2本横に入れ、沈線下LR縄文。内面へラ形状工具によ る擦で。	弥生中期
第7746 PL.36	12 弥生土器 壺	4区9号穴建物 脚部破片		細砂粒・白色粒/ ふつう/	沈線2本横に入れ、その間を磨き状にヘラ状工具による擦 で。内面へラ形状工具による擦で。	弥生中期
第7746 PL.36	13 弥生土器 壺	9区14号穴建物 脚部破片		砂粒/ふつう/	斜め方向の条痕文。内面へラ形状工具による擦で。	弥生中期
第7746 PL.36	14 弥生土器 壺	7区19号穴建物 脚部破片		砂粒//	斜め方向のLR縄文。内面へラ形状工具による擦で。	弥生中期

写 真 図 版

下栗須津島 B 遺跡(27号蔵地)



1 2区1号竪穴建物 南西から



2 2区1号竪穴建物竪掘り方全景 南西から



3 2区1号竪穴建物竪掘り方全景 南西から



4 2区1・2号竪穴建物重複状態 西から



5 2区2号竪穴建物全景 南西から



1 2区2号竪穴建物貯藏穴全景 南西から



2 2区2号竪穴建物土師器杯(6)出土状態 南から



3 2区2号竪穴建物龕全景 南西から



4 1区3号竪穴建物全景 西から



5 1区3号竪穴建物砥石(6)出土状態 西から



6 4区4号竪穴建物全景 北から



7 4区5号竪穴建物全景 北東から



8 4区5号竪穴建物近接 北東から

下栗須津島 B 遺跡(27号墓地)



1 1区6号竪穴建物全景 西から



2 1区7号竪穴建物全景 東から



3 1区7号竪穴建物柱穴全景 東から



4 1区7号竪穴建物遺物出土状態 西から



5 1区7号竪穴建物遺物出土状態 西から



6 1区7号竪穴建物土師器甕(7)出土状態 西から



7 1区8号竪穴建物全景 西から



8 1区8号竪穴建物土師器杯(3)出土状態 西から



1 1区8号竪穴建物竈全景 西から



2 4区9号竪穴建物全景 西から



3 4区9号竪穴建物竈前土器(2)出土状態 南西から



4 4区9号竪穴建物竈前遺物出土状態 南西から



5 4区9号竪穴建物竈全景 西から



6 1区10号竪穴建物全景 西から



7 3区11号竪穴建物掘り方全景 北から



8 3区11号竪穴建物竈掘り方全景 北から

下栗須津島 B 遺跡(27号蔵地)



1 5区12号竪穴建物全景 南東から



2 9区13号竪穴建物全景 西から



3 9区13号竪穴建物掘り方全景 北から



4 9区13号竪穴建物土師器杯(1)出土状態 西から



5 9区14号竪穴建物全景 西から



6 9区14号竪穴建物貯藏穴全景 北から



7 9区14号竪穴建物竈天井石全景 西から



8 9区14号竪穴建物竈近接 西から



1 9区14号竪穴建物竈天井石除去後全景 西から



2 9区14号竪穴建物竈左袖石 西から



3 9区15号竪穴建物全景 南から



4 9区15号竪穴建物土師器杯(1)出土状態 南から



5 9区15号竪穴建物須恵器高盤(5)出土状態 北から



6 9区15号竪穴建物竈全景 南西から



7 7区16号竪穴建物全景 西から



8 7区16号竪穴建物P1全景 北から

下栗須津島 B 遺跡(27号墓地)



1 7区16号竪穴建物P.2 全景 北から



2 7区16号竪穴建物P.3 全景 北から



3 7区16号竪穴建物遺物出土状態 東から



4 7区16号竪穴建物台石(6)・土師器杯(1)出土状態 南から



5 7区16号竪穴建物須恵器杯(2)出土状態 西から



6 7区16号竪穴建物遺物出土状態 東から



7 7区17号竪穴建物全景 西から



8 7区17号竪穴建物遺物出土状態 西から



1 7区18号竪穴建物全景 西から



2 7区18号竪穴建物土坑 1 全景 南から



3 7区18号竪穴建物土器杯(1)出土状態 北西から



4 7区18号竪穴建物須恵器杯(4)出土状態 北から



5 7区19・20号竪穴建物全景 西から

下栗須津島 B 遺跡(27号墓地)



1 7区19号竪穴建物全景 北西から



2 7区19号竪穴建物土師器(3)出土状態 南から



3 7区19号竪穴建物土師器(8)出土状態 北から



4 7区21号竪穴建物全景 西から



5 9区22号竪穴建物全景 北西から



6 6区23号竪穴建物全景 北西から



7 6区23号竪穴建物遺物出土状態 北西から



8 6区24号竪穴建物全景 北東から



1 6区24号竪穴建物土師器甕(2)出土状態 西から



2 6区25号竪穴建物全景 西から



3 6区26号竪穴建物全景 東から



4 6区26号竪穴建物土師器甕(4)出土状態 北東から



5 6区26号竪穴建物須恵器甕(7)出土状態 西から



6 6区27号竪穴建物全景 北西から



7 7区28号竪穴建物全景 東から



8 12区29号竪穴建物全景 北東から



1 10区30号竪穴建物東部全景 南から



2 10区30号竪穴建物西部全景 東から



3 10区30号竪穴建物東部遺物出土状態 東から



4 10区30号竪穴建物西部遺物出土状態 西から



5 10区30号竪穴建物土師器杯(1)出土状態 北から



6 10区30号竪穴建物土師器甕(5)出土状態 南から



7 10区30号竪穴建物遺物出土状態 北から



8 6区1号溝全景 西から



1 1区1号土坑 北から



2 4区2号土坑 南から



3 4区3号土坑 北から



4 2区4号土坑 東から



5 5区5号土坑 北から



6 5区6号土坑 南から



7 5区7号土坑 南から



8 5区8号土坑 北東から



9 5区9号土坑 南西から



10 5区10号土坑 南西から



11 5区11号土坑 北東から



12 6区12号土坑 南から



13 6区13号土坑 北から



14 6区14号土坑 北から



15 6区15号土坑、116号ピット 北から

116号

NCP

下栗須津島 B 遺跡(27包藏地)



1 6区16号土坑 西から



2 6区17号土坑 南から



3 6区18号土坑、116号ピット 北東から



4 9区19号土坑 北から



5 9区20号土坑 西から



6 9区21号土坑 東から



7 9区22号土坑 北から



8 9区23号土坑 北から



9 9区24号土坑 北から



10 9区25号土坑 西から



11 9区26号土坑 西から



12 8区27号土坑 南から



13 8区27号土坑遺物出土状態 南から



14 8区28号土坑 南から



15 8区29号土坑 東から



1 8区30号土坑 西から



2 8区31号土坑 西から



3 9区32号土坑 北から



4 9区33号土坑 北から



5 7区34号土坑 北から



6 9区35号土坑 北から



7 4区1号ビット 北西から



8 4区2号ビット 北西から



9 4区3号ビット 北西から



10 4区4号ビット 南から



11 4区5号ビット 南から



12 4区6号ビット 北から



13 4区7号ビット 南から

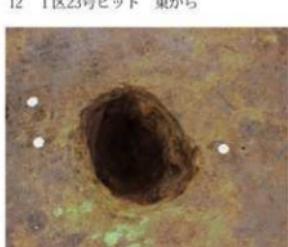
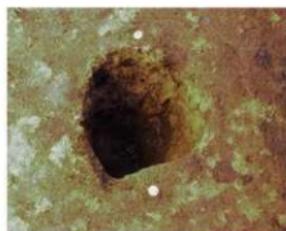


14 1区8号ビット 東から



15 1区11号ビット 東から

下栗須津島 B 遺跡(27包藏地)

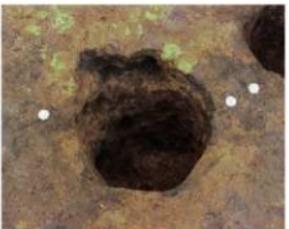




1 1区28号ピット 東から



2 1区29号ピット 南から



3 1区31号ピット 東から



4 1区32号ピット 南から



5 1区33・34号ピット 南西から



6 1区35号ピット 南から



7 1区36号ピット 南から



8 1区37号ピット 南から



9 1区38号ピット 南から



10 1区39号ピット 北から



11 1区40号ピット 北から



12 1区41号ピット 東から



13 1区42号ピット 南から



14 1区43号ピット 東から



15 1区44号ピット 東から

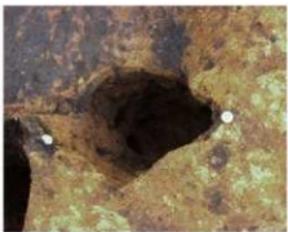
下栗須津島B遺跡(27号蔵地)



1 1区45号ピット 東から



2 1区46号ピット 北から



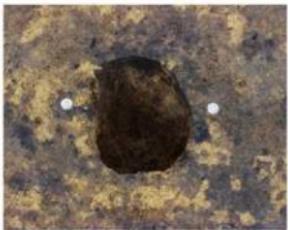
3 1区47号ピット 北から



4 1区48号ピット 北から



5 1区49号ピット 北から



6 1区50号ピット 東から



7 1区51号ピット 東から



8 1区52号ピット 東から



9 1区53号ピット 東から



10 1区54号ピット 北から



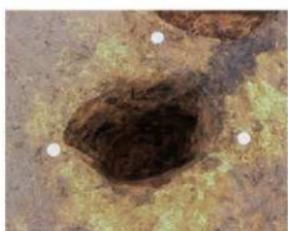
11 1区55・56号ピット 南から



12 1区57号ピット 南から



13 1区58号ピット 南から



14 1区59号ピット 西から



15 1区60号ピット 西から



下栗須津島 B 遺跡(27号墓地)



1 3区78号ピット 東から



2 3区79号ピット 東から



3 3区80号ピット 東から



4 3区81号ピット 東から



5 3区82号ピット 東から



6 3区83号ピット 北から



7 1区84号ピット 東から



8 1区85号ピット 東から



9 1区86号ピット 北から



10 1区87号ピット 東から



11 1区88号ピット 南から



12 1区89号ピット 北から



13 1区90号ピット 東から



14 1区91号ピット 東から



15 1区92号ピット 東から



1 1区93号ピット 東から



2 1区94号ピット 東から



3 1区95号ピット 南から



4 1区96号ピット 北から



5 1区97号ピット 北から



6 1区99号ピット 南から



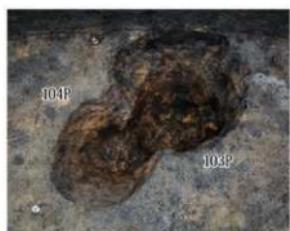
7 1区100号ピット 東から



8 5区101号ピット 南から



9 5区102号ピット 東から



10 6区103・104号ピット 南から



11 6区105号ピット 東から



12 6区106号ピット 西から



13 6区107号ピット 西から

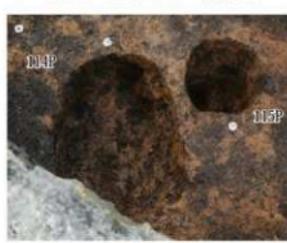


14 6区108号ピット 北から



15 6区109号ピット 西から

下栗須津島B遺跡(27号墓地)





1 9区145号ピット 北から



2 9区146・147号ピット 北から



3 9区147号ピット 北から



4 9区148号ピット 北から



5 9区149号ピット 北から



6 9区150号ピット 北から



7 9区151号ピット 北から



8 9区153号ピット 北から



9 9区155号ピット 北から



10 9区156号ピット 北から



11 9区157号ピット 北から



12 9区158号ピット 北から



13 9区159号ピット 北から



14 9区160号ピット 北から



15 9区161号ピット 北から

下栗須津島B遺跡(27包藏地)



1 9区162号ピット 北から



2 9区163号ピット 北から



3 9区164号ピット 北から



4 9区165号ピット 北から



5 9区166号ピット 北から



6 9区167号ピット 北から



7 9区168・169号ピット 北から



8 9区170号ピット 北から



9 9区171号ピット 北から



10 9区172号ピット 北から



11 9区173号ピット 東から



12 9区174号ピット 北から



13 9区175・176号ピット 北から



14 9区176号ピット 北から



15 9区177・178号ピット 北から



1 9区179号ピット 北から



2 9区180号ピット 南から



3 9区181号ピット 南から



4 9区182号ピット 東から



5 9区183・184号ピット 北から



6 9区183号ピット 東から



7 9区185号ピット 北から



8 9区187号ピット 北から



9 9区188号ピット 北から



10 9区189号ピット 北から



11 9区190号ピット 北から



12 9区191号ピット 北から



13 9区193号ピット 北から



14 9区194号ピット 北から



15 9区195号ピット 北から



1 8区196号ピット 南から



2 8区197号ピット 南から



3 8区198号ピット 南から



4 8区199号ピット 南から



5 8区200号ピット 南から



6 8区201号ピット 南から



7 8区202号ピット 南から



8 8区203号ピット 南から



9 8区204号ピット 南から



10 9区205号ピット 東から



11 8区206号ピット 北から



12 9区208号ピット 北から



13 9区212号ピット 北から



14 9区213号ピット 北から



15 9区214号ピット 北から



1 9区216号ピット 北から



2 9区217号ピット 北から



3 9区218号ピット 西から



4 9区219号ピット 西から



5 9区220号ピット 西から



6 9区222号ピット 西から



7 9区223号ピット 北から



8 9区226~228号ピット 北から



9 7区230号ピット 南から



10 7区231号ピット 南から



11 7区232号ピット 南から



12 7区233号ピット 南から



13 7区234号ピット 南から



14 6区235号ピット 西から



15 7区248号ピット 南から

下栗須津島B遺跡(27号墓地)



1 7区253号ピット 西から



2 9区254号ピット 北から



3 9区254号ピット土師器杯(1) 北から



4 7区262号ピット 北から



5 7区263号ピット 南から



6 7区279号ピット 南から



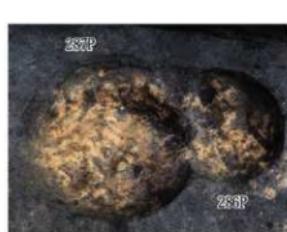
7 10区281号ピット 東から



8 10区283号ピット 東から



9 10区284号ピット 東から



10 10区286・287号ピット 北から



11 10区288号ピット 東から



12 10区289号ピット 東から



13 10区290号ピット 東から



14 10区295号ピット 北から



1 1区全景 東から



2 1区全景 西から



3 1区1号旧石器トレンチ 東から



4 1区2号旧石器トレンチ 西から



5 1区3号旧石器トレンチ 西から



6 2区全景 西から



7 3区全景 東から



8 3区5号旧石器トレンチ 南から



1 3区5号旧石器トレンチ 南から



2 4区全景 東から



3 5区中央全景 東から



4 5区西検出状況 東から



5 5区西全景 東から



6 5区東全景 西から



7 6区東全景 西から



8 6区西、東部全景 西から



1 6区基本土層西壁 東から



2 7区基本土層南壁 北から



3 7区全景 西から



4 8区基本土層西壁 東から



5 8区全景 西から



6 9区中央部全景 西から



7 9区基本土層・旧石器トレンチ 北から



8 10区全景 東から

下栗須津島 B 遺跡(27包蔵地)



1 10区基本土層・トレンチ 北から



2 11区全景 東から



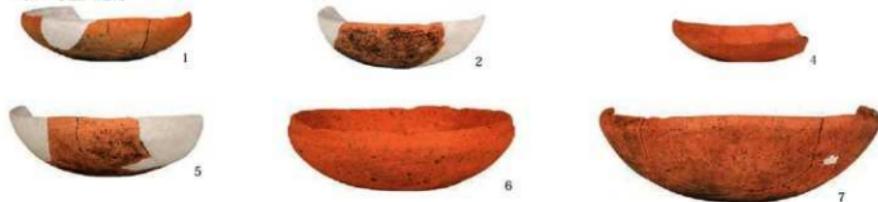
3 11区基本土層・トレンチ 南から

PL.32

2区1号竖穴建物



2区2号竖穴建物



1区3号竖穴建物



3



4



6

1~3号竖穴建物出土遗物

1区6号竖穴建物



1区8号竖穴建物



1区7号竖穴建物



4区9号竖穴建物



9区13号竖穴建物



9区15号竖穴建物

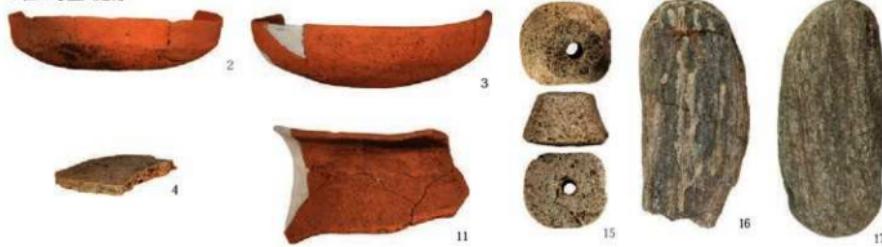


PL.34

7区16号竖穴建物



7区17号竖穴建物



7区18号竖穴建物



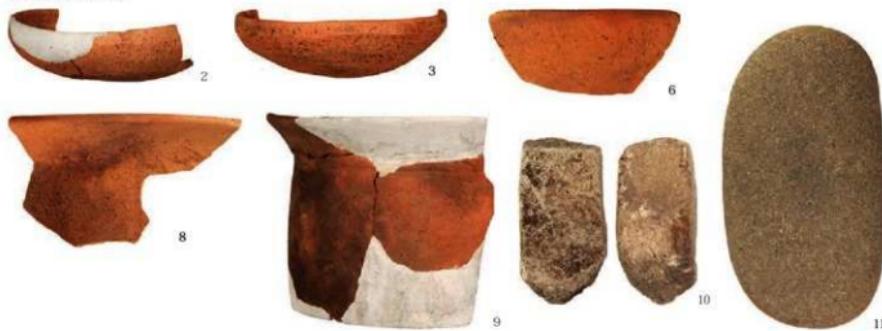
7区20号竖穴建物



6区23号竖穴建物



7区19号竖穴建物



16~20·23号竖穴建物出土遗物

6区24号竪穴建物



6区26号竪穴建物



10区30号竪穴建物



1



2



3



4



5

6区16号土坑



1



2

8区27号土坑



2

9区254号ピット



1

10区遺構外



1

11区遺構外



1

12区遺構外



1

24・26・29・30号竪穴建物、16・27号土坑、254号ピット、10～12区遺構外出土遺物



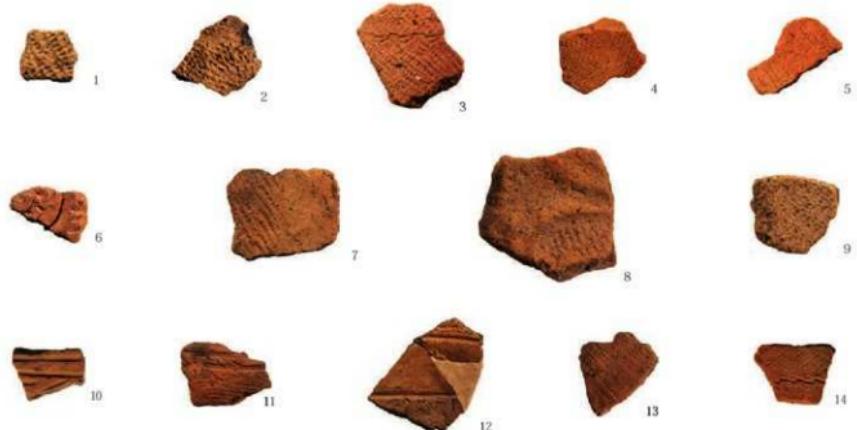
2



3



4



出土した縄文土器・弥生土器

中栗須光明B遺跡(22号地蔵)



報告書抄録

書名ふりがな	しもくりすつしまびーいせき(にじゅうななほうぞうち)・なかくりすこうみょうびーいせき(にじゅうにはうぞうち)
書名	下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)
副書名	令和5年度(一)下栗須馬庭停車場線(下栗須工区)社会資本総合整備(国土強靭化・補正)(防災・安全)(5か年加速化)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
卷次	
シリーズ名	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	第734集
編著者名	友廣哲也
編集機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20231225
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784-2

遺跡名ふりがな	しもくりすつしまびーいせき(にじゅうななほうぞうち)
遺跡名	下栗須津島B遺跡(27包蔵地)
所在地ふりがな	ぐんまけんふじおかししもくりす
遺跡所在地	群馬県藤岡市下栗須
市町村コード	102091
遺跡番号	27
北緯(世界測地系)	361538
東経(世界測地系)	-139054
調査期間	20161001-20161031 20180901-20181031 20230501-20230531
調査面積	1246.54m ²
調査原因	道路拡幅工事
種別	集落跡
主な時代	7~10世紀
遺跡概要	集落-奈良・平安/竪穴建物30+溝2+土坑36+ピット290
特記事項	高盤・翡翠製垂飾出土
要約	7世紀から10世紀の集落遺跡。竪穴建物から一般的な集落ではあまり出土しない翡翠製の垂飾、高盤が3点出土。西に隣接する中栗須前遺跡では布堀りを持つ掘立柱建物跡が検出され、時期的にも並行し、関連性が指摘できる。

遺跡名ふりがな	なかくりすこうみょうびーいせき(にじゅうにはうぞうち)
遺跡名	中栗須光明B遺跡(22包蔵地)
所在地ふりがな	ぐんまけんなかくりす
遺跡所在地	群馬県藤岡市中栗須
市町村コード	102091
遺跡番号	22
北緯(世界測地系)	361545
東経(世界測地系)	1390439
調査期間	20180901-20180901
調査面積	522.37m ²
調査原因	道路拡幅工事
種別	包蔵地・集落
主な時代	不明
遺跡概要	時期不明/土坑1
特記事項	
要約	狭い範囲の調査で土坑1基確認したが、全掘できず、遺物なし。

公益財團法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第734集

下栗須津島B遺跡(27包蔵地)
中栗須光明B遺跡(22包蔵地)

令和5年度(一)下栗須庭停車場廻(下栗須工区)社会資本総合整備(国土強靭化・補正)
(防災・安全)(5か年加速化)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

令和5(2023)年12月22日 印刷
令和5(2023)年12月25日 発行

編集・発行/公益財團法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

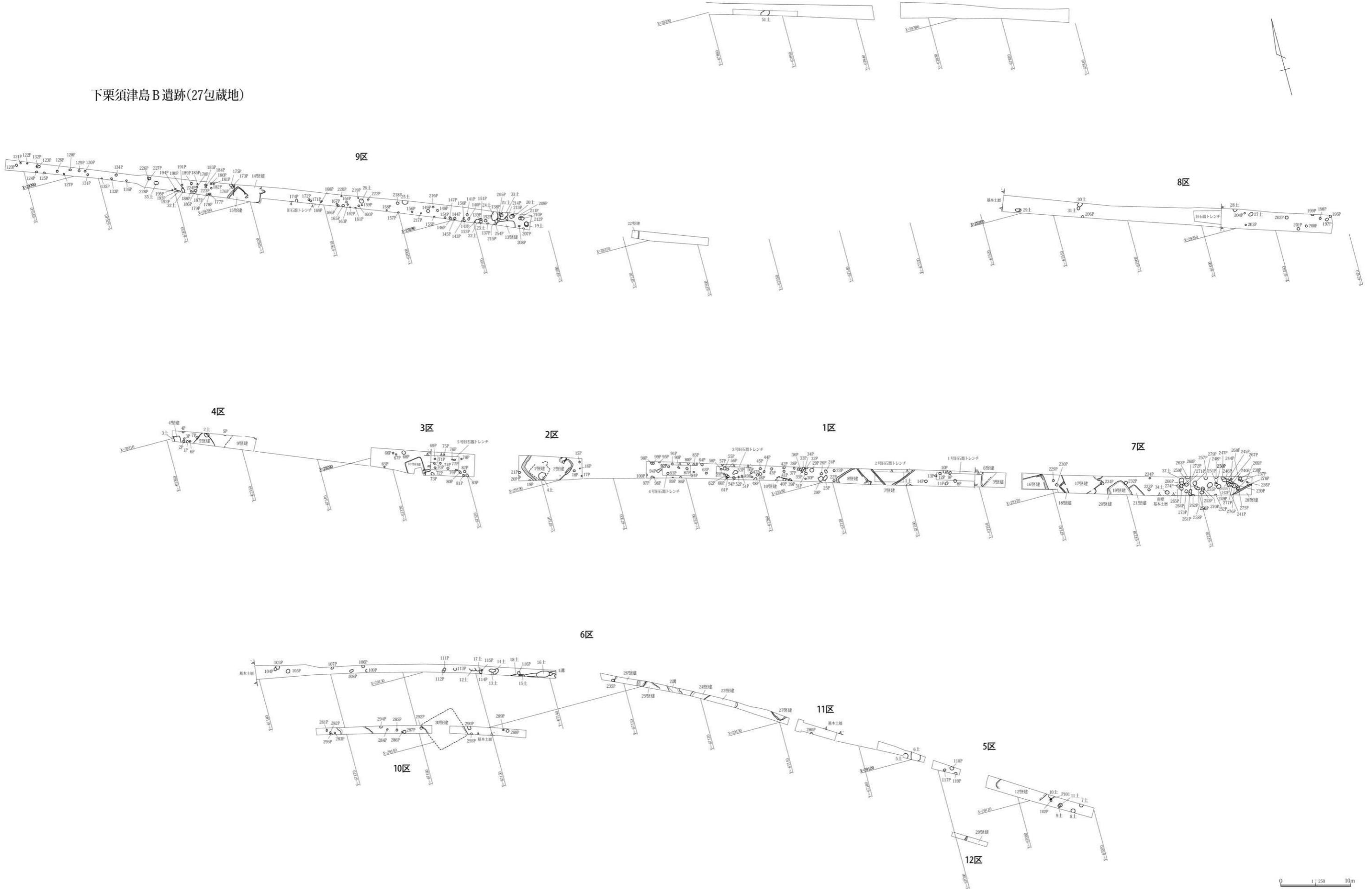
電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷/株式会社大塚カラー

付図 全体図1/250

中栗須光明B遺跡(22包蔵地)



下栗須津島B遺跡(27包蔵地)